平成24年度　農業集落排水事業（繰越）	
工　事　名	別府中処理施設機能強化対策工事

設　　計　　書

工　事　番　号	加生下工 第 201 号
河 川･路 線 名	
工　事　箇　所	加西市別府中町 地内
工　　種	機能強化対策工事

兵　庫　県　加　西　市

工　事　費			
基 準 摘 要	実 施 金 額	変 更 金 額	増　減　額
(内消費税額) 設　計　額	(　　円) 　　円	(　　円) 　　円	(　　円) 　　円
(内消費税額) 請　負　額	(　　円) 　　円	(　　円) 　　円	(　　円) 　　円
施 行 方 法	請負	施 行 日 数	平成26年2月28日限り

工　事　概　要	
本工事	
土木工事	1 式
機械設備工事	1 式
電機設備工事	1 式

加　西　市

第　　号　　設計価格

明　細　書

一金　　円也　　但

内　　訳

名　　称	細　　別	数量	単位	単価 (円)	金　　額 (円)	単価番号及びコード	摘　　要
【補助】							
土木・付帯工事価格		1.00	式			明細書 C号	
機械設備工事価格		1.00	式			明細書 M号	
電気設備工事価格		1.00	式			明細書 E号	
工事価格【補助】	計						

名　　称	細　　別	数 量	単 位	単 価 (円)	金　　額 (円)	単価番号 及びコード	摘　　要
【非 補 助】							
機 械 設 備 工 事 価 格		1.00	式			明細書 M号	
工 事 価 格【非 補 助】	計						
工 事 価 格	計						
消 費 税 相 当 額		1.00	式				
設 計 価 格	計						

第 C 号　　土木･付帯工事価格（補助）

明　細　書

一金　　円也　　但

内　　訳

名　　称	細　　別	数 量	単 位	単 価 (円)	金　　額 (円)	単価番号 及びコード	摘　　要
仮設工事		1.00	式			内訳表 C-1号	
処理施設土木工事		1.00	式			内訳表 C-2号	
直接工事費	計						

名　　称	細　　別	数量	単位	単価 (円)	金　　額 (円)	単価番号 及びコード	摘　　要
共通仮設費		1.00	式				
	計						
純工事費	計						
現場管理費		1.00	式				
工事原価	計						
一般管理費等	一般管理費	1.00	式				
	計						
一括計上価格		1.00	式				
工事価格	計						

第 M 号　　機械設備工事価格（補助）

明　細　書

一金　　円也　　但

内　　訳

名　　称	細　　別	数 量	単 位	単 価 (円)	金　　額 (円)	単価番号 及びコード	摘　　要
配管･弁類撤去費（処分品）		1.00	式			内訳表 M-1-1号	
機器撤去費（処分品）		1.00	式			内訳表 M-1-2号	
機器撤去費（再利用品）		1.00	式			内訳表 M-1-3号	
配管･弁類据付費（新規購入品）		1.00	式			内訳表 M-1-4号	
機器据付費（新規購入品）		1.00	式			内訳表 M-1-5号	
機器据付費（再利用品）		1.00	式			内訳表 M-1-6号	
機械設備製作品輸送費		1.00	式			内訳表 M-1-7号	
直 接 工 事 費	計						

名　　称	細　　別	数量	単位	単価 (円)	金　　額 (円)	単価番号 及びコード	摘　　要
共通仮設費		1.00	式				
純工事費							
現場管理費等	現場管理費	1.00	式				
	据付間接費	1.00	式				
	計						
据付工事原価	計						
機器費	機械設備機器単体費	1.00	式			内訳表 M-3号	
計							
設計技術費		1.00	式				
工事原価	計						

名　　称	細　　別	数 量	単 位	単 価 (円)	金　　額 (円)	単価番号 及びコード	摘　　要
一 般 管 理 費 等	一 般 管 理 費	1.00	式				
			式				
	計						
一 括 計 上 価 格		1.00	式			内訳表より	
工 事 価 格	計						

第 E 号　　電気設備工事価格（補助）

明　細　書

一金　　円也　　但

内　　訳

名　　称	細　　別	数 量	単 位	単 価 (円)	金　　額 (円)	単価番号 及びコード	摘　　要
改修工事費（動力設備）	処理施設	1.00	式			内訳表 E-1-1号	
機器撤去費（処分品）	処理施設	1.00	式			内訳表 E-1-2号	
機器据付費（新規購入品）	処理施設	1.00	式			内訳表 E-1-3号	
改修工事費（動力設備）	中継ポンプ施設	1.00	式			内訳表 E-2-1号	
機器撤去費（処分品）	中継ポンプ施設	1.00	式			内訳表 E-2-2号	
機器据付費（新規購入品）	中継ポンプ施設	1.00	式			内訳表 E-2-3号	
電気設備製作品輸送費	処理施設、中継ポンプ施設	1.00	式			内訳表 E-3-1号	
直 接 工 事 費	計						

名　　称	細　　別	数量	単位	単価 (円)	金　　額 (円)	単価番号 及びコード	摘　　要
共通仮設費		1.00	式				
純工事費	計						
現場管理費		1.00	式				
機器管理費		1.00	式				
据付工事原価	計						
技術者間接費		1.00	式				
一般管理費等	一般管理費	1.00	式				
	計						
据付工事価格	計						

名　　称	細　　別	数 量	単 位	単 価 (円)	金　　額 (円)	単価番号 及びコード	摘　　要
製 作 工 事 価 格	電気設備製作品機器費	1.00	式			内訳表 E-4号	
工 事 価 格	計						

第 M 号　　機械設備工事価格（非補助）

明　細　書

一金　　円也　　但

内　　訳

名　　称	細　　別	数 量	単 位	単 価 (円)	金　　額 (円)	単価番号 及びコード	摘　　要
直接工事費	計						

名　　称	細　　別	数量	単位	単価 (円)	金　　額 (円)	単価番号 及びコード	摘　　要
共通仮設費		1.00	式				
純工事費							
現場管理費等	現場管理費	1.00	式				
	据付間接費	1.00	式				
	計						
据付工事原価	計						
機器費	機械設備機器単体費	1.00	式				
計							
設計技術費		1.00	式				
工事原価	計						

名　　称	細　　別	数量	単位	単価 (円)	金　　額 (円)	単価番号 及びコード	摘　　要
一般管理費等	一般管理費	1.00	式				
	契約補償費	1.00	式				
	計						
一括計上価格						内訳表より	
工事価格	計						

土木工事

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策） 別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【土木工事】工事

工事別工事名:土木工事

工 種 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接工事費（仮設工を除く）内訳				
直接工事費（仮設工を除く）	1.000	式		
B1 C.土木工事（補助）	1.000	式		
B2・C-2.処理施設土木工事（補助）	1.000	式		

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策） 別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【土木工事】工事

工事別工事名:土木工事

工 種 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接工事費（仮設工）内訳				
直接工事費（仮設工）	1.000	式		
B1 C.仮設工事	1.000	式		
B2・C-1.仮設工事（補助）	1.000	式		

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策） 別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【土木工事】工事

工事別工事名:土木工事

名 称（規 格）	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
直接工事費（仮設工を除く）					
B1 C.土木工事（補助）	1.000	式			
B2・C-2.処理施設土木工事（補助）	1.000	式			
C-2-1.防水防食工事（補助）	1.000	式			歩A・単A B単 1号
C-2-2.土木付帯工事（補助） 電動弁盤基礎	1.000	式			歩A・単A B単 2号
合 計					

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策） 別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【土木工事】工事

工事別工事名:土木工事

名 称（規 格）	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
直接工事費（仮設工）					
B1 C.仮設工事	1.000	式			
B2・C-1.仮設工事（補助）	1.000	式			
C-1-1.仮設工事（補助）	1.000	式			歩A・単A B単 3号
合 計					

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策）　別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【土木工事】工事

工事別工事名:土木工事

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	＊＊＊　B単－ 1号　＊＊＊					
	C-2-1.防水防食工事（補助）		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	【劣化部除去工】					
	コンクリート断面劣化部除去工 床3mm　超高圧水洗浄及びはつり	38.000	㎡			T単　1号
	コンクリート断面劣化部除去工 床4mm　超高圧水洗浄及びはつり	7.000	㎡			T単　2号
	コンクリート断面劣化部除去工 壁3mm　超高圧水洗浄及びはつり	324.000	㎡			T単　3号
	コンクリート断面劣化部除去工 壁4mm　超高圧水洗浄及びはつり	86.000	㎡			T単　4号
	コンクリート断面劣化部除去工 壁6mm　超高圧水洗浄及びはつり	96.000	㎡			T単　5号
	コンクリート断面劣化部除去工 壁8mm　超高圧水洗浄及びはつり	89.000	㎡			T単　6号
	コンクリート断面劣化部除去工 壁9mm　超高圧水洗浄及びはつり	38.000	㎡			T単　7号
	コンクリート断面劣化部除去工 壁12mm　超高圧水洗浄及びはつり	27.000	㎡			T単　8号
	コンクリート断面劣化部除去工 壁25mm　超高圧水洗浄及びはつり	15.000	㎡			T単　9号
	コンクリート断面劣化部除去工 天井6mm　超高圧水洗浄及びはつり	28.000	㎡			T単　10号
	コンクリート断面劣化部除去工 天井8mm　超高圧水洗浄及びはつり	19.000	㎡			T単　11号
	コンクリート断面劣化部除去工 天井9mm　超高圧水洗浄及びはつり	31.000	㎡			T単　12号
	コンクリート断面劣化部除去工 天井12mm　超高圧水洗浄及びはつり	20.000	㎡			T単　13号
	残塊処分工（無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ） L=10.4㎞	4.700	m3			T単　14号
	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ投棄料 加西砕石	4.700	m3			
	【コンクリート断面修復工】					
	ｺﾝｸﾘｰﾄ断面修復工（耐硫酸性ﾓﾙﾀﾙ） 床　平均3㎜厚	38.000	㎡			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ断面修復工（耐硫酸性ﾓﾙﾀﾙ） 床　平均4㎜厚	7.000	㎡			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ断面修復工（耐硫酸性ﾓﾙﾀﾙ） 壁　平均3㎜厚	324.000	㎡			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ断面修復工（耐硫酸性ﾓﾙﾀﾙ） 壁　平均4㎜厚	86.000	㎡			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ断面修復工（耐硫酸性ﾓﾙﾀﾙ） 壁　平均6㎜厚	96.000	㎡			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ断面修復工（耐硫酸性ﾓﾙﾀﾙ） 壁　平均8㎜厚	89.000	㎡			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ断面修復工（耐硫酸性ﾓﾙﾀﾙ） 壁　平均9㎜厚	38.000	㎡			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ断面修復工（耐硫酸性ﾓﾙﾀﾙ） 壁　平均12㎜厚	27.000	㎡			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ断面修復工（耐硫酸性ﾓﾙﾀﾙ） 壁　平均25㎜厚	15.000	㎡			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ断面修復工（耐硫酸性ﾓﾙﾀﾙ） 天井　平均6㎜厚	28.000	㎡			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ断面修復工（耐硫酸性ﾓﾙﾀﾙ） 天井　平均8㎜厚	19.000	㎡			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ断面修復工（耐硫酸性ﾓﾙﾀﾙ） 天井　平均9㎜厚	31.000	㎡			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ断面修復工（耐硫酸性ﾓﾙﾀﾙ） 天井　平均12㎜厚	20.000	㎡			
	【防水工事】					
	ｺﾝｸﾘｰﾄ防食被覆工（前処理工程除く） １種　床　0.20㎜以上　素地調整費含	22.000	㎡			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ防食被覆工（前処理工程除く） ２種　床　0.35㎜以上　素地調整費含	22.000	㎡			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ防食被覆工（前処理工程除く） １種　壁　0.20㎜以上　素地調整費含	56.000	㎡			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ防食被覆工（前処理工程除く） ２種　壁　0.35㎜以上　素地調整費含	354.000	㎡			
	【防食工事】					
	ｺﾝｸﾘｰﾄ防食被覆工（前処理工程除く） ２種　壁　0.35㎜以上　素地調整費含	120.000	㎡			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ防食被覆工（前処理工程除く） ３種　壁　0.70㎜以上　素地調整費含	145.000	㎡			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ防食被覆工（前処理工程除く） ２種　天井　0.35㎜以上　素地調整費含	25.000	㎡			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ防食被覆工（前処理工程除く） ３種　天井　0.70㎜以上　素地調整費含	72.000	㎡			
	開口部廻りｼｰﾘﾝｸﾞ 15×15㎜程度（切込作業込み）	172.000	m			

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策）　別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【土木工事】工事

工事別工事名:土木工事

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	合　　計					
	単　　価					
	＊＊＊　B単－ 2号　＊＊＊					
	C-2-2.土木付帯工事（補助） 電動弁盤基礎		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	【更新】					
	コンクリート人力打設 18-12-25BB W/C=60%	**0.040**	m3			
	型枠工	**0.200**	㎡			
	鉄筋 D13×150L	**6.000**	本			
	あと施工アンカー（接着系） D13×500下向打（床）［比］	**6.000**	本			
	防塵塗装 ｳﾚﾀﾝ系　下地処理供	**0.500**	㎡			
	【撤去】					
	サンダー工法 既存塗装の剥離	**0.500**	㎡			
	合　　計					
	単　　価					
	＊＊＊　B単－ 3号　＊＊＊					
	C-1-1.仮設工事（補助）		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	内部仕上げ足場　H<4.0m 脚立1.8m級	**1.000**	㎡			
	足場工 手摺先行型枠組,なし	**447.000**	掛㎡			
	合　　計					
	単　　価					

機械設備工事

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策） 別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【機械設備】工事

工事別工事名:機械設備工事

工 種 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
機器費内訳				
機器費	1.000	式		
B1 機械設備製作品機器費（補助） 機器単体費	1.000	式		
B2・M-3.機械設備製作品機器費（補助）	1.000	式		
B3・・ M-3-1.機械設備製作品機器費（補助） 処理施設	1.000	式		

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策） 別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【機械設備】工事

工事別工事名:機械設備工事

工 種 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接工事費内訳				
直接工事費	1.000	式		
B1 機械設備工事（補助）	1.000	式		
B2・M-1.機械設備工事（補助） 処理施設	1.000	式		
B3・・ M-1-1.配管・弁類撤去費（補助） 処分品	1.000	式		
B3・・ M-1-2.機器撤去費（補助） 処分品	1.000	式		
B3・・ M-1-3.機器撤去費（補助） 再利用品	1.000	式		
B3・・ M-1-4.配管・弁類据付費（補助） 新規購入品	1.000	式		
B3・・ M-1-5.機器据付費（補助） 新規購入品	1.000	式		
B3・・ M-1-6.機器据付費（補助） 再利用品	1.000	式		
B3・・ M-1-7.機械設備製作品輸送費（補助） 処理施設	1.000	式		
B2・M-10.据付間接費（補助） 処理施設	1.000	式		
B3・・ M-10-1.据付間接費（補助） 経費算出表で計上	1.000	式		

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策） 別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【機械設備】工事

工事別工事名:機械設備工事

工 種 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
一括計上価格内訳				
一括計上価格	1.000	式		
B1 汚泥処分費（補助）	1.000	式		
B2・M-2.汚泥処分費（補助）	1.000	式		
B3・・ M-2-1.汚泥処分費（補助） 汚泥引抜き、運搬、処分	1.000	式		
B1 汚泥処分費（非補助）	1.000	式		
B2・M-4.汚泥処分費（非補助）	1.000	式		
B3・・ M-4-1.汚泥処分費（非補助） 汚泥引抜き、運搬、処分	1.000	式		

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策） 別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【機械設備】工事

工事別工事名:機械設備工事

名 称（規 格）	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
機器費					
B1 機械設備製作品機器費（補助） 機器単体費	1.000	式			
B2・M-3.機械設備製作品機器費（補助）	1.000	式			
B3・・ M-3-1.機械設備製作品機器費（補助） 処理施設	1.000	式			1 式当たり
ﾄﾞﾗﾑ型（ｺﾝﾄﾛｰﾙ式）破砕機 220～1440m3/日 0.2kw	1.000	基			歩A・単A
自動微細目スクリーン 目幅2mm×45m3/時 0.025kw	2.000	台			歩A・単A
流量調整ﾎﾟﾝﾌﾟ（本体のみ） 50mm 0.75kw ﾉﾝｸﾛｯｸﾞﾀｲﾌﾟ	1.000	台			歩A・単A
ばっ気ブロワ（インバーター対応） φ65×3.7kw	3.000	台			歩A・単A
汚泥引抜ポンプ 65/50×0.15m3/min×2.2kw	1.000	台			歩A・単A
局所排気ファン 4.3m3/分×0.08kw	1.000	台			歩A・単A
仮設水処理装置 123m3/日 仮設流量調整槽含む	1.000	式			歩A・単A
産業廃棄物処理費 金属くず・運搬とも	1.000	ton			歩A・単A T単 6号
合 計					

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策）　別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【機械設備】工事

工事別工事名:機械設備工事

名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
直接工事費					
B1 機械設備工事（補助）	1.000	式			
B2・M-1.機械設備工事（補助） 処理施設	1.000	式			
B3・・ M-1-1.配管・弁類撤去費（補助） 処分品	1.000	式			1 式当たり
弁類撤去 20A	12.000	個			歩A・単A T単　21号
弁類撤去 25A	2.000	個			歩A・単A T単　22号
弁類撤去 32A	17.000	個			歩A・単A T単　23号
弁類撤去 40A	24.000	個			歩A・単A T単　24号
弁類撤去 50A	9.000	個			歩A・単A T単　25号
弁類撤去 65A	4.000	個			歩A・単A T単　26号
弁類撤去 80A	1.000	個			歩A・単A T単　27号
弁類撤去 100A	1.000	個			歩A・単A T単　28号
配管工		人			歩A・単A S単　1号
合　計					
B3・・ M-1-2.機器撤去費（補助） 処分品	1.000	式			1 式当たり
普通作業員		人			歩A・単A S単　2号
設備機械工		人			歩A・単A S単　3号
合　計					
B3・・ M-1-3.機器撤去費（補助） 再利用品	1.000	式			1 式当たり
据付工		人			歩A・単A S単　4号
普通作業員		人			歩A・単A S単　2号
接触材撤去費 嫌気性ろ床槽1,2,3室、接触ばっ気槽1,2室	1.000	式			歩A・単A T単　7号
架台（接触材）撤去費 嫌気性ろ床槽1,2,3室、接触ばっ気槽1,2室	1.000	式			歩A・単A T単　8号
合　計					
B3・・ M-1-4.配管・弁類据付費（補助） 新規購入品	1.000	式			1 式当たり
ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管布設 32A 屋内 SUS304 Sch 40 付属材料含む	1.000	m			歩A・単A T単　1号
ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管布設 50A 屋内 SUS304 Sch 40 付属材料含む	104.000	m			歩A・単A T単　2号
ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管布設 65A 屋内 SUS304 Sch 20 付属材料含む	1.000	m			歩A・単A T単　3号
仕切弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ねじ込み 10K,32A [比]	2.000	個			歩A・単A
仕切弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ﾌﾗﾝｼﾞ 10K,50A [比]	6.000	個			歩A・単A
仕切弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ﾌﾗﾝｼﾞ 10K,65A [比]	3.000	個			歩A・単A
仕切弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ﾌﾗﾝｼﾞ 10K,100A [比]	1.000	個			歩A・単A
逆止弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ﾌﾗﾝｼﾞ 10K,50A [比]	2.000	個			歩A・単A
ボール弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ねじ込み 10K,20A [比]	6.000	個			歩A・単A
ボール弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ねじ込み 10K,25A [比]	1.000	個			歩A・単A
ボール弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ねじ込み 10K,32A [比]	5.000	個			歩A・単A
ボール弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ねじ込み 10K,40A [比]	24.000	個			歩A・単A
ボール弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ﾌﾗﾝｼﾞ 10K,50A [比]	2.000	個			歩A・単A
ボール弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ﾌﾗﾝｼﾞ 10K,65A [比]	1.000	個			歩A・単A
ボール弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ﾌﾗﾝｼﾞ 10K,80A [比]	1.000	個			歩A・単A

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策） 別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【機械設備】工事

工事別工事名:機械設備工事

名 称（規 格）	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
電動ボール弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ﾌﾗﾝｼﾞ 10K,50A [価]	7.000	個			歩A・単A
電動三方ボール弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ﾌﾗﾝｼﾞ 10K,50A [価]	1.000	個			歩A・単A
玉形弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ねじ込み 10K,20A [価]	4.000	個			歩A・単A
玉形弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ねじ込み 10K,25A [価]	1.000	個			歩A・単A
玉形弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ねじ込み 10K,32A [価]	11.000	個			歩A・単A
玉形弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ﾌﾗﾝｼﾞ 10K,50A [価]	1.000	個			歩A・単A
玉形弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ﾌﾗﾝｼﾞ 10K,65A [価]	1.000	個			歩A・単A
電磁弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ねじ込み 10K,20A [価]	2.000	個			歩A・単A
電磁弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ねじ込み 10K,32A [価]	1.000	個			歩A・単A
弁類設置 20A	12.000	個			歩A・単A T単 13号
弁類設置 25A	2.000	個			歩A・単A T単 14号
弁類設置 32A	17.000	個			歩A・単A T単 15号
弁類設置 40A	24.000	個			歩A・単A T単 16号
弁類設置 50A	9.000	個			歩A・単A T単 17号
弁類設置 65A	4.000	個			歩A・単A T単 18号
弁類設置 80A	1.000	個			歩A・単A T単 19号
弁類設置 100A	1.000	個			歩A・単A T単 20号
コア抜き 貫通口径100mm､ｺﾝｸﾘｰﾄ厚さ200mm	6.000	箇所			歩A・単A T単 11号
コア抜き 貫通口径100mm､ｺﾝｸﾘｰﾄ厚さ300mm	14.000	箇所			歩A・単A T単 12号
合 計					
B3・・ M-1-5.機器据付費（補助） 新規購入品	1.000	式			1 式当たり
据付工		人			歩A・単A
普通作業員		人			歩A・単A
合 計					
B3・・ M-1-6.機器据付費（補助） 再利用品	1.000	式			1 式当たり
据付工		人			歩A・単A
普通作業員		人			歩A・単A
接触材据付費 嫌気性ろ床槽1,2,3室、接触ばっ気槽1,2室	1.000	式			歩A・単A T単 9号
架台（接触材）据付費 嫌気性ろ床槽1,2,3室、接触ばっ気槽1,2室	1.000	式			歩A・単A T単 10号
合 計					
B3・・ M-1-7.機械設備製作品輸送費（補助） 処理施設	1.000	式			1 式当たり
機械設備製作品輸送費（補助） 重量0.9ton 運搬距離85.0km	1.000	式			歩A・単A T単 5号
合 計					
B2・M-10.据付間接費（補助） 処理施設	1.000	式			
B3・・ M-10-1.据付間接費（補助） 経費算出表で計上	1.000	式			1 式当たり
据付間接費（補助） 処理施設[J-Ⅲ型用]	1.000	式			歩A・単A T単 4号
合 計					

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策）　別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【機械設備】工事

工事別工事名:機械設備工事

名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
一括計上価格					
B1 汚泥処分費（補助）	1.000	式			
B2・M-2.汚泥処分費（補助）	1.000	式			
B3・・ M-2-1.汚泥処分費（補助） 汚泥引抜き、運搬、処分	1.000	式			1 式当たり
汚泥引抜運搬費 汚泥引抜き、運搬、処分	48.000	m3			歩Ａ・単Ａ Ｔ単　29号
合　計					
B1 汚泥処分費（非補助）	1.000	式			
B2・M-4.汚泥処分費（非補助）	1.000	式			
B3・・ M-4-1.汚泥処分費（非補助） 汚泥引抜き、運搬、処分	1.000	式			1 式当たり
汚泥引抜運搬費 汚泥引抜き、運搬、処分	192.000	m3			歩Ａ・単Ａ Ｔ単　29号
合　計					

電機設備工事

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策） 別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【電気設備】工事

工事別工事名:電気設備工事

工 種 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
機器単体費内訳				
機器単体費	1.000	式		
B1 電気設備製作品機器費（補助）	1.000	式		
B2・E-4.電気設備製作品機器費（補助）	1.000	式		
B3・・ E-4-1.電気設備製作品機器費（補助） 処理施設	1.000	式		
B3・・ E-4-2.電気設備製作品機器費（補助） 中継ポンプ場	1.000	式		

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策） 別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【電気設備】工事

工事別工事名:電気設備工事

工 種 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接工事費（共通仮設費対象）内訳				
直接工事費（共通仮設費対象）	1.000	式		
B1 電気設備工事（補助）	1.000	式		
B2・E-1.電気設備工事（補助） 処理施設	1.000	式		
B3・・ E-1-1.改修工事費（補助） 動力設備工事	1.000	式		
B3・・ E-1-2.機器撤去費（補助） 処分品（電線、配管類）	1.000	式		
B3・・ E-1-3.機器据付費（補助） 新規購入品	1.000	式		
B2・E-2.電気設備工事（補助） 中継ポンプ場	1.000	式		
B3・・ E-2-1.改修工事費（補助） 動力設備工事	1.000	式		
B3・・ E-2-2.機器撤去費（補助） 処分品（電線、配管類）	1.000	式		
B3・・ E-2-3.機器据付費（補助） 新規購入品	1.000	式		
B2・E-3.電気設備工事（補助） 処理施設、中継ポンプ場	1.000	式		
B3・・ E-3-1.製作品機器輸送費（補助） 新規購入品	1.000	式		

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策） 別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【電気設備】工事

工事別工事名:電気設備工事

名 称（規 格）	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
機器単体費					
B1 電気設備製作品機器費（補助）	1.000	式			
B2・E-4.電気設備製作品機器費（補助）	1.000	式			
B3・・ E-4-1.電気設備製作品機器費（補助） 処理施設	1.000	式			1 式当たり
引込開閉器盤 W500×H1100×D250	1.000	面			歩A・単A
汚水処理制御盤・計装盤 改修	1.000	式			歩A・単A
遠方監視装置 処理施	1.000	式			歩A・単A
電動弁制御盤 W700×H1750×D44	1.000	基			歩A・単A
産業廃棄物処理費 金属くず 運搬とも	0.100	ton			歩A・単A T単 11号
合 計					
B3・・ E-4-2.電気設備製作品機器費（補助） 中継ポンプ場	1.000	式			1 式当たり
中継ﾎﾟﾝﾌﾟ盤（改修） 改修改造（回路、劣化部品）	3.000	式			歩A・単A
遠方監視装置 中継ポンﾌ	3.000	式			歩A・単A
投込式水位計 圧力式 変換器共	3.000	個			歩A・単A
産業廃棄物処理費 金属くず 運搬とも	0.040	ton			歩A・単A T単 11号
合 計					

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策） 別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【電気設備】工事

工事別工事名:電気設備工事

名 称（規 格）	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
直接工事費（共通仮設費対象）					
B1 電気設備工事（補助）	1.000	式			
B2・E-1.電気設備工事（補助） 処理施設	1.000	式			
B3・・ E-1-1.改修工事費（補助） 動力設備工事	1.000	式			1 式当たり
制御ｹｰﾌﾞﾙ配線工(屋内)CVV CVV 8C-2sq （管内･ﾀﾞｸﾄ内） 付属材料含む	117.000	m			歩A・単A T単 3号
水中ﾎﾟﾝﾌﾟ専用ｹｰﾌﾞﾙ布設(屋内) CV 600V 3C以上3.5sq相当(管内･ﾀﾞｸﾄ内)	2.000	m			歩A・単A T単 4号
破砕機専用ｹｰﾌﾞﾙ布設(屋内) CV 600V 3C以上3.5sq相当(管内･ﾀﾞｸﾄ内)	1.000	m			歩A・単A T単 5号
電線管布設工(G屋内露出) G28 諸資材､付属材料含む	20.000	m			歩A・単A T単 1号
電線管布設工(G屋内露出) G70 諸資材､付属材料含む	12.000	m			歩A・単A T単 2号
PVC製ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ取付工 PVC製 300×300×300	2.000	個			歩A・単A T単 8号
PVC製ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ取付工 PVC製 600×600×300	1.000	個			歩A・単A T単 9号
コア抜き 貫通口径100㎜､ｺﾝｸﾘｰﾄ厚さ150㎜	1.000	箇所			歩A・単A T単 12号
合 計					
B3・・ E-1-2.機器撤去費（補助） 処分品（電線、配管類）	1.000	式			1 式当たり
電工		人			歩A・単A
合 計					
B3・・ E-1-3.機器据付費（補助） 新規購入品	1.000	式			1 式当たり
普通作業員		人			歩A・単A
電工		人			歩A・単A
電気通信技術者		人			歩A・単A
合 計					
B2・E-2.電気設備工事（補助） 中継ポンプ場	1.000	式			
B3・・ E-2-1.改修工事費（補助） 動力設備工事	1.000	式			1 式当たり
圧力式投込水位計専用ｹｰﾌﾞﾙ布設(地中) CVV-S 4C-2sq相当(地中管)	13.000	m			歩A・単A T単 6号
圧力式投込水位計専用ｹｰﾌﾞﾙ布設(屋外) CVV-S 4C-2sq相当(管内･ﾀﾞｸﾄ内)	3.000	m			歩A・単A T単 7号
合 計					
B3・・ E-2-2.機器撤去費（補助） 処分品（電線、配管類）	1.000	式			1 式当たり
普通作業員		人			歩A・単A
電工		人			歩A・単A
合 計					
B3・・ E-2-3.機器据付費（補助） 新規購入品	1.000	式			1 式当たり
電気通信技術者		人			歩A・単A
電気通信技術員		人			歩A・単A
合 計					
B2・E-3.電気設備工事（補助） 処理施設、中継ポンプ場	1.000	式			
B3・・ E-3-1.製作品機器輸送費（補助） 新規購入品	1.000	式			1 式当たり
電気設備製作品輸送費（補助） 重量0.3ton 運搬距離 85.0㎞	1.000	式			歩A・単A T単 10号

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策）　別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【電気設備】工事

工事別工事名:電気設備工事

名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
合　　計					

単　価　表

［土 木 工 事］

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策）　別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【土木工事】工事

工事別工事名:土木工事

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	＊＊＊　T単－ 1号　＊＊＊					
	コンクリート断面劣化部除去工		㎡		1.000 ㎡	歩A 当たり算出
	床3mm　超高圧水洗浄及びはつり					
	ｺﾝｸﾘｰﾄ断面劣化部除去工 床　超高圧水洗浄及びはつり	**1.000**	㎡			
	合　　計					算出数量 1.000 ㎡
	単　　価		㎡			
	＊＊＊　T単－ 2号　＊＊＊					
	コンクリート断面劣化部除去工		㎡		1.000 ㎡	歩A 当たり算出
	床4mm　超高圧水洗浄及びはつり					
	ｺﾝｸﾘｰﾄ断面劣化部除去工 床　超高圧水洗浄及びはつり	**1.000**	㎡			
	合　　計					算出数量 1.000 ㎡
	単　　価		㎡			
	＊＊＊　T単－ 3号　＊＊＊					
	コンクリート断面劣化部除去工		㎡		1.000 ㎡	歩A 当たり算出
	壁3mm　超高圧水洗浄及びはつり					
	ｺﾝｸﾘｰﾄ断面劣化部除去工 壁　超高圧水洗浄及びはつり	**1.000**	㎡			
	合　　計					算出数量 1.000 ㎡
	単　　価		㎡			
	＊＊＊　T単－ 4号　＊＊＊					
	コンクリート断面劣化部除去工		㎡		1.000 ㎡	歩A 当たり算出
	壁4mm　超高圧水洗浄及びはつり					
	ｺﾝｸﾘｰﾄ断面劣化部除去工 壁　超高圧水洗浄及びはつり	**1.000**	㎡			
	合　　計					算出数量 1.000 ㎡
	単　　価		㎡			
	＊＊＊　T単－ 5号　＊＊＊					
	コンクリート断面劣化部除去工		㎡		1.000 ㎡	歩A 当たり算出
	壁6mm　超高圧水洗浄及びはつり					
	ｺﾝｸﾘｰﾄ断面劣化部除去工 壁　超高圧水洗浄及びはつり	**1.000**	㎡			
	合　　計					算出数量 1.000 ㎡
	単　　価		㎡			
	＊＊＊　T単－ 6号　＊＊＊					
	コンクリート断面劣化部除去工		㎡		1.000 ㎡	歩A 当たり算出
	壁8mm　超高圧水洗浄及びはつり					
	ｺﾝｸﾘｰﾄ断面劣化部除去工 壁　超高圧水洗浄及びはつり	**1.000**	㎡			
	合　　計					算出数量 1.000 ㎡
	単　　価		㎡			
	＊＊＊　T単－ 7号　＊＊＊					

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策）　別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【土木工事】工事

工事別工事名:土木工事

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	コンクリート断面劣化部除去工		㎡		1.000 ㎡	歩A 当たり算出
	壁9mm　超高圧水洗浄及びはつり					
	ｺﾝｸﾘｰﾄ断面劣化部除去工 壁　超高圧水洗浄及びはつり	**1.000**	㎡			
	合　　計					算出数量 1.000 ㎡
	単　　価		㎡			
	＊＊＊　T単－ 8号　＊＊＊					
	コンクリート断面劣化部除去工		㎡		1.000 ㎡	歩A 当たり算出
	壁12mm　超高圧水洗浄及びはつり					
	ｺﾝｸﾘｰﾄ断面劣化部除去工 壁　超高圧水洗浄及びはつり	**1.000**	㎡			
	合　　計					算出数量 1.000 ㎡
	単　　価		㎡			
	＊＊＊　T単－ 9号　＊＊＊					
	コンクリート断面劣化部除去工		㎡		1.000 ㎡	歩A 当たり算出
	壁25mm　超高圧水洗浄及びはつり					
	ｺﾝｸﾘｰﾄ断面劣化部除去工 壁　超高圧水洗浄及びはつり	**1.000**	㎡			
	合　　計					算出数量 1.000 ㎡
	単　　価		㎡			
	＊＊＊　T単－ 10号　＊＊＊					
	コンクリート断面劣化部除去工		㎡		1.000 ㎡	歩A 当たり算出
	天井6mm　超高圧水洗浄及びはつり					
	ｺﾝｸﾘｰﾄ断面劣化部除去工 天井　超高圧水洗浄及びはつり	**1.000**	㎡			
	合　　計					算出数量 1.000 ㎡
	単　　価		㎡			
	＊＊＊　T単－ 11号　＊＊＊					
	コンクリート断面劣化部除去工		㎡		1.000 ㎡	歩A 当たり算出
	天井8mm　超高圧水洗浄及びはつり					
	ｺﾝｸﾘｰﾄ断面劣化部除去工 天井　超高圧水洗浄及びはつり	**1.000**	㎡			
	合　　計					算出数量 1.000 ㎡
	単　　価		㎡			
	＊＊＊　T単－ 12号　＊＊＊					
	コンクリート断面劣化部除去工		㎡		1.000 ㎡	歩A 当たり算出
	天井9mm　超高圧水洗浄及びはつり					
	ｺﾝｸﾘｰﾄ断面劣化部除去工 天井　超高圧水洗浄及びはつり	**1.000**	㎡			
	合　　計					算出数量 1.000 ㎡
	単　　価		㎡			
	＊＊＊　T単－ 13号　＊＊＊					
	コンクリート断面劣化部除去工		㎡		1.000 ㎡	歩A 当たり算出

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策）　別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【土木工事】工事

工事別工事名:土木工事

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	天井12mm　超高圧水洗浄及びはつり					
	ｺﾝｸﾘｰﾄ断面劣化部除去工 天井　超高圧水洗浄及びはつり	**1.000**	㎡			
	合　計					算出数量 1.000 ㎡
	単　価		㎡			
	＊＊＊　T単－ 14号　＊＊＊					
	残塊処分工（無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ）		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運搬(標準)	**1.000**	m3			
	合　計					算出数量 1.000 m3
	単　価		m3			

単　価　表

［機 械 設 備 工 事］

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策）　別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【機械設備】工事

工事別工事名:機械設備工事

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	＊＊＊　T単－ 1号　＊＊＊					
	ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管布設 32A 屋内		m		100.000 m	歩A 当たり算出
	SUS304 Sch 40 付属材料含む					
	配管用ステンレス鋼鋼管 (SUS304) Sch40 32A	**100.000**	m			
	雑品					
	雑品、					
	配管工		人			
	配管工、					
	合　計					算出数量 100.000 m
	単　価		m			
	＊＊＊　T単－ 2号　＊＊＊					
	ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管布設 50A 屋内		m		100.000 m	歩A 当たり算出
	SUS304 Sch 40 付属材料含む					
	配管用ステンレス鋼鋼管 (SUS304) Sch40 50A	**100.000**	m			
	雑品					
	雑品(					
	配管工		人			
	配管工(					
	合　計					算出数量 100.000 m
	単　価		m			
	＊＊＊　T単－ 3号　＊＊＊					
	ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管布設 65A 屋内		m		100.000 m	歩A 当たり算出
	SUS304 Sch 20 付属材料含む					
	直管 SUS304TP Sch20S 65A [比]	**100.000**	m			
	雑品					
	雑品(					
	配管工		人			
	配管工(					
	合　計					算出数量 100.000 m
	単　価		m			
	＊＊＊　T単－ 4号　＊＊＊					
	据付間接費（補助）		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	処理施設[J-Ⅲ型用]					
	据付間接費 その他,機械設備（補助）	**1.000**	式			
	接触材据付費[Ⅲ型](補助) 、架台共		式			C単　1号
	接触材撤去費[Ⅲ型]再利用品(補助) ,接触材､架台共		式			C単　3号
	合　計					算出数量 1.000 式
	単　価		式			

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策）　別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【機械設備】工事

工事別工事名:機械設備工事

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	＊＊＊　T単－ 5号　＊＊＊					
	機械設備製作品輸送費（補助）		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	重量0.9ton 運搬距離85.0km					
	輸送費 鋼製付属設備,,,	**1.000**	式			
	合　計					算出数量 1.000 式
	単　価		式			
	＊＊＊　T単－ 6号　＊＊＊					
	産業廃棄物処理費		ton		1.000 ton	歩A 当たり算出
	金属くず・運搬とも					
	運賃料金	**1.000**	台			
	産業廃棄物処理費 金属くず [比]	**1.000**	ton			
	合　計					算出数量 1.000 ton
	単　価		ton			
	＊＊＊　T単－ 7号　＊＊＊					
	接触材撤去費		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	嫌気性ろ床槽1,2,3室、接触ばっ気槽1,2室					
	撤去（再利用）					
	接触材据付費（規則的充填型） 円筒状接触ばっ気 嫌気第１室用	**26.200**	m3			
	接触材据付費（不規則的充填型） ﾎﾞｰﾙ状 小円筒状等嫌気第2・3室用	**34.300**	m3			
	接触材据付費（不規則的充填型） ﾎﾞｰﾙ状 小円筒状等嫌気第2・3室用	**34.300**	m3			
	接触材据付費（規則的充填型） 網状骨格体等接触ばっ気 嫌気第１室用	**24.900**	m3			
	接触材据付費（規則的充填型） 網状骨格体等接触ばっ気 嫌気第１室用	**12.500**	m3			
	合　計					算出数量 1.000 式
	単　価		式			
	＊＊＊　T単－ 8号　＊＊＊					
	架台（接触材）撤去費		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	嫌気性ろ床槽1,2,3室、接触ばっ気槽1,2室					
	撤去（再利用）					
	接触材架台据付費 規則的充填型接触材用嫌気第１室	**26.200**	m3			
	接触材架台据付費 不規則的充填型接触材用嫌気2・3室	**34.300**	m3			
	接触材架台据付費 不規則的充填型接触材用嫌気2・3室	**34.300**	m3			
	接触材架台据付費 規則的充填型接触材用接触ばっ気	**24.900**	m3			
	接触材架台据付費 規則的充填型接触材用接触ばっ気	**12.500**	m3			
	合　計					算出数量 1.000 式
	単　価		式			
	＊＊＊　T単－ 9号　＊＊＊					
	接触材据付費		式		1.000 式	歩A 当たり算出

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策）　別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【機械設備】工事

工事別工事名:機械設備工事

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	嫌気性ろ床槽1,2,3室、接触ばっ気槽1,2室					
	接触材据付費（規則的充填型） 円筒状接触ばっ気 嫌気第１室用	**43.700**	m3			
	接触材据付費（不規則的充填型） ﾎﾞｰﾙ状 小円筒状等嫌気第2・3室用	**57.100**	m3			
	接触材据付費（不規則的充填型） ﾎﾞｰﾙ状 小円筒状等嫌気第2・3室用	**57.100**	m3			
	接触材据付費（規則的充填型） 網状骨格体等接触ばっ気 嫌気第１室用	**41.600**	m3			
	接触材据付費（規則的充填型） 網状骨格体等接触ばっ気 嫌気第１室用	**20.800**	m3			
	合　計					算出数量 1.000 式
	単　価		式			
	＊＊＊　T単－ 10号　＊＊＊					
	架台（接触材）据付費		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	嫌気性ろ床槽1,2,3室、接触ばっ気槽1,2室					
	接触材架台据付費 規則的充填型接触材用嫌気第１室	**43.700**	m3			
	接触材架台据付費 不規則的充填型接触材用嫌気2・3室	**57.100**	m3			
	接触材架台据付費 不規則的充填型接触材用嫌気2・3室	**57.100**	m3			
	接触材架台据付費 規則的充填型接触材用接触ばっ気	**41.600**	m3			
	接触材架台据付費 規則的充填型接触材用接触ばっ気	**20.800**	m3			
	合　計					算出数量 1.000 式
	単　価		式			
	＊＊＊　T単－ 11号　＊＊＊					
	コア抜き		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	貫通口径100㎜､ｺﾝｸﾘｰﾄ厚さ200㎜					
	はつり工		人			
	合　計					算出数量 1.000 箇所
	単　価		箇所			
	＊＊＊　T単－ 12号　＊＊＊					
	コア抜き		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	貫通口径100㎜､ｺﾝｸﾘｰﾄ厚さ300㎜					
	はつり工		人			
	合　計					算出数量 1.000 箇所
	単　価		箇所			
	＊＊＊　T単－ 13号　＊＊＊					
	弁類設置		個		1.000 個	歩A 当たり算出
	20A					
	雑品					
	配管工		人			
	雑品					

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策）　別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【機械設備】工事

工事別工事名:機械設備工事

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	合　　計					算出数量 1.000 個
	単　　価		個			
	＊＊＊　T単－ 14号　＊＊＊					
	弁類設置		個		1.000 個	歩A 当たり算出
	25A					
	雑品：					
	配管工		人			
	雑品					
	合　　計					算出数量 1.000 個
	単　　価		個			
	＊＊＊　T単－ 15号　＊＊＊					
	弁類設置		個		1.000 個	歩A 当たり算出
	32A					
	雑品					
	配管工		人			
	雑品					
	合　　計					算出数量 1.000 個
	単　　価		個			
	＊＊＊　T単－ 16号　＊＊＊					
	弁類設置		個		1.000 個	歩A 当たり算出
	40A					
	雑品					
	配管工		人			
	雑品					
	合　　計					算出数量 1.000 個
	単　　価		個			
	＊＊＊　T単－ 17号　＊＊＊					
	弁類設置		個		1.000 個	歩A 当たり算出
	50A					
	雑品：					
	配管工		人			
	雑品					
	合　　計					算出数量 1.000 個
	単　　価		個			

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策）　別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【機械設備】工事

工事別工事名:機械設備工事

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	＊＊＊　T単－ 18号　＊＊＊					
	弁類設置		個		1.000 個	歩A 当たり算出
	65A					
	雑品					
	配管工		人			
	雑品					
	合　計					算出数量 1.000 個
	単　価		個			
	＊＊＊　T単－ 19号　＊＊＊					
	弁類設置		個		1.000 個	歩A 当たり算出
	80A					
	雑品					
	配管工		人			
	雑品					
	合　計					算出数量 1.000 個
	単　価		個			
	＊＊＊　T単－ 20号　＊＊＊					
	弁類設置		個		1.000 個	歩A 当たり算出
	100A					
	雑品					
	配管工		人			
	雑品					
	合　計					算出数量 1.000 個
	単　価		個			
	＊＊＊　T単－ 21号　＊＊＊					
	弁類撤去		個		1.000 個	歩A 当たり算出
	20A					
	撤去					
	雑品					
	配管工		人			
	雑品					
	合　計					算出数量 1.000 個
	単　価		個			
	＊＊＊　T単－ 22号　＊＊＊					
	弁類撤去		個		1.000 個	歩A 当たり算出

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策）　別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【機械設備】工事

工事別工事名:機械設備工事

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	25A					
	撤去					
	雑品：					
	配管工		人			
	雑品					
	合　計					算出数量 1.000 個
	単　価		個			
	＊＊＊　T単－ 23号　＊＊＊					
	弁類撤去		個		1.000 個	歩A 当たり算出
	32A					
	撤去					
	雑品					
	配管工		人			S単　1号
	雑品					
	合　計					算出数量 1.000 個
	単　価		個			
	＊＊＊　T単－ 24号　＊＊＊					
	弁類撤去		個		1.000 個	歩A 当たり算出
	40A					
	撤去					
	雑品					
	配管工		人			
	雑品					
	合　計					算出数量 1.000 個
	単　価		個			
	＊＊＊　T単－ 25号　＊＊＊					
	弁類撤去		個		1.000 個	歩A 当たり算出
	50A					
	撤去					
	雑品					
	配管工		人			
	雑品					
	合　計					算出数量 1.000 個
	単　価		個			
	＊＊＊　T単－ 26号　＊＊＊					

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策）　別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【機械設備】工事

工事別工事名:機械設備工事

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	弁類撤去		個		1.000 個	歩A 当たり算出
	65A					
	[illegible]					
	撤去 [illegible]					
	雑品 [illegible]					
	配管工		人			
	雑品	[illegible]				
	合　計					算出数量 1.000 個
	単　価		個			
	＊＊＊　T単－ 27号　＊＊＊					
	弁類撤去		個		1.000 個	歩A 当たり算出
	80A					
	[illegible]					
	撤去 [illegible]					
	雑品： [illegible]					
	配管工		人			
	雑品	[illegible]				
	合　計					算出数量 1.000 個
	単　価		個			
	＊＊＊　T単－ 28号　＊＊＊					
	弁類撤去		個		1.000 個	歩A 当たり算出
	100A					
	[illegible]					
	撤去 [illegible]					
	雑品： [illegible]					
	配管工		人			
	雑品	[illegible]				
	合　計					算出数量 1.000 個
	単　価		個			
	＊＊＊　T単－ 29号　＊＊＊					
	汚泥引抜運搬費		m3		1.020 m3	歩A 当たり算出
	汚泥引抜き、運搬、処分					
	バキューム車運転工	**0.440**	時間			[illegible]
	汚泥処分費 衛生センター使用料	**1.000**	m3			
	【汚泥補正 0.98】 算出数量1/0.98=1.02					

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策）　別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【機械設備】工事

工事別工事名:機械設備工事

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	合　　計					算出数量 1.020 m3
	単　　価		m3			

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策）　別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【機械設備】工事

工事別工事名:機械設備工事

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	＊＊＊　C単－ 1号　＊＊＊					
	接触材据付費[Ⅲ型](補助)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	[据付間接費用]接触材､架台共					
	接触材（嫌気ろ床槽1室）					
	接触材据付費（規則的充填型） 円筒状接触ばっ気 嫌気第１室用	**43.700**	m3			
	接触材（嫌気ろ床槽2・3室）					
	接触材据付費（不規則的充填型） ﾎﾞｰﾙ状 小円筒状等嫌気第2・3室用	**57.100**	m3			
	接触材据付費（不規則的充填型） ﾎﾞｰﾙ状 小円筒状等嫌気第2・3室用	**57.100**	m3			
	接触材（接触ばっ気槽1・2室）					
	接触材据付費（規則的充填型） 網状骨格体等接触ばっ気 嫌気第１室用	**41.600**	m3			
	接触材据付費（規則的充填型） 網状骨格体等接触ばっ気 嫌気第１室用	**20.800**	m3			
	接触材架台（嫌気ろ床槽1室）					
	接触材架台据付費 規則的充填型接触材用嫌気第１室	**43.700**	m3			
	接触材架台（嫌気ろ床槽2・3室）					
	接触材架台据付費 不規則的充填型接触材用嫌気2・3室	**57.100**	m3			
	接触材架台据付費 不規則的充填型接触材用嫌気2・3室	**57.100**	m3			
	接触材架台（接触ばっ気槽1・2室）					
	接触材架台据付費 規則的充填型接触材用接触ばっ気	**41.600**	m3			
	接触材架台据付費 規則的充填型接触材用接触ばっ気	**20.800**	m3			
	合　　計					算出数量 1.000 式
	単　　価		式			
	＊＊＊　C単－ 3号　＊＊＊					
	接触材撤去費[Ⅲ型]再利用品(補助)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	[据付間接費用]接触材､架台共					
	接触材（嫌気ろ床槽1室）					
	接触材据付費（規則的充填型） 円筒状接触ばっ気 嫌気第１室用	**26.200**	m3			
	接触材（嫌気ろ床槽2・3室）					
	接触材据付費（不規則的充填型） ﾎﾞｰﾙ状 小円筒状等嫌気第2・3室用	**34.300**	m3			
	接触材据付費（不規則的充填型） ﾎﾞｰﾙ状 小円筒状等嫌気第2・3室用	**34.300**	m3			
	接触材（接触ばっ気槽1・2室）					
	接触材据付費（規則的充填型） 網状骨格体等接触ばっ気 嫌気第１室用	**24.900**	m3			
	接触材据付費（規則的充填型） 網状骨格体等接触ばっ気 嫌気第１室用	**12.500**	m3			

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策）　別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【機械設備】工事

工事別工事名:機械設備工事

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	接触材架台（嫌気ろ床槽1室）					
	接触材架台据付費 規則的充填型接触材用嫌気第１室	**26.200**	m3			
	接触材架台（嫌気ろ床槽2・3室）					
	接触材架台据付費 不規則的充填型接触材用嫌気2・3室	**34.300**	m3			
	接触材架台据付費 不規則的充填型接触材用嫌気2・3室	**34.300**	m3			
	接触材架台（接触ばっ気槽1・2室）					
	接触材架台据付費 規則的充填型接触材用接触ばっ気	**24.900**	m3			
	接触材架台据付費 規則的充填型接触材用接触ばっ気	**12.500**	m3			
	合　計					算出数量 1.000 式
	単　価		式			

単　価　表

［電 気 設 備 工 事］

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策）　別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【電気設備】工事

工事別工事名:電気設備工事

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	＊＊＊　T単－ 1号　＊＊＊					
	電線管布設工(G屋内露出)		m		100.000 m	歩A 当たり算出
	G28 諸資材､付属材料含む					
	[illegible]					
	[illegible]					
	[illegible]					
	厚鋼電線管 G28　長3.66m　ねじつき		本			
	電線管布設工 ,厚鋼電線管,28,屋内(露出)	**100.000**	m			
	合　計					算出数量 100.000 m
	単　価		m			
	＊＊＊　T単－ 2号　＊＊＊					
	電線管布設工(G屋内露出)		m		100.000 m	歩A 当たり算出
	G70 諸資材､付属材料含む					
	[illegible]					
	[illegible]					
	[illegible]					
	厚鋼電線管 G70　長3.66m　ねじつき		本			
	電線管布設工 ,厚鋼電線管,70,屋内(露出)	**100.000**	m			
	合　計					算出数量 100.000 m
	単　価		m			
	＊＊＊　T単－ 3号　＊＊＊					
	制御ｹｰﾌﾞﾙ配線工(屋内)CVV		m		100.000 m	歩A 当たり算出
	CVV 8C-2sq (管内･ﾀﾞｸﾄ内) 付属材料含む					
	[illegible]					
	[illegible]					
	[illegible]					
	制御用絶縁ﾋﾞﾆﾙｼｰｽｹｰﾌﾞﾙ(CVV) 8心　断面積2.0	**100.000**	m			[1]
	雑品 付属材料費 集計対象明細：([1])					
	電工		人			[2]
	合　計					算出数量 100.000 m
	単　価		m			
	＊＊＊　T単－ 4号　＊＊＊					
	水中ﾎﾟﾝﾌﾟ専用ｹｰﾌﾞﾙ布設(屋内)		m		100.000 m	歩A 当たり算出
	CV 600V 3C以上3.5sq相当(管内･ﾀﾞｸﾄ内)					
	[illegible]					
	ｹｰﾌﾞﾙ・付属材料はﾎﾟﾝﾌﾟに含む					
	電工		人			S単　1号
	合　計					算出数量 100.000 m
	単　価		m			

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策）　別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【電気設備】工事

工事別工事名:電気設備工事

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	＊＊＊　T単－ 5号　＊＊＊					
	破砕機専用ｹｰﾌﾞﾙ布設(屋内)		m		100.000 m	歩A 当たり算出
	CV 600V 3C以上3.5sq相当(管内･ﾀﾞｸﾄ内)					
	[illegible]					
	ｹｰﾌﾞﾙ・付属材料はﾎﾟﾝﾌﾟに含む					
	電工		人			
	合　計					算出数量 100.000 m
	単　価		m			
	＊＊＊　T単－ 6号　＊＊＊					
	圧力式投込水位計専用ｹｰﾌﾞﾙ布設(地中)		m		100.000 m	歩A 当たり算出
	CVV-S 4C-2sq相当(地中管)					
	[illegible]					
	専用ｹｰﾌﾞﾙ・付属材料は計装機器に含む					
	電工		人			
	普通作業員		人			
	合　計					算出数量 100.000 m
	単　価		m			
	＊＊＊　T単－ 7号　＊＊＊					
	圧力式投込水位計専用ｹｰﾌﾞﾙ布設(屋外)		m		100.000 m	歩A 当たり算出
	CVV-S 4C-2sq相当(管内･ﾀﾞｸﾄ内)					
	[illegible]					
	専用ｹｰﾌﾞﾙ・付属材料は計装機器に含む					
	電工		人			
	合　計					算出数量 100.000 m
	単　価		m			
	＊＊＊　T単－ 8号　＊＊＊					
	PVC製ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ取付工		個		1.000 個	歩A 当たり算出
	PVC製 300×300×300					
	[illegible]					
	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ PVC製 300×300×300　標準　[比]	**1.000**	個			
	電工		人			
	合　計					算出数量 1.000 個
	単　価		個			
	＊＊＊　T単－ 9号　＊＊＊					
	PVC製ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ取付工		個		1.000 個	歩A 当たり算出
	PVC製 600×600×300					
	[illegible]					
	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ PVC製 600×600×300　標準　[比]	**1.000**	個			
	電工		人			

事業名	農業集落排水事業（機能強化対策）　別府中地区
工事名	別府中地区処理施設機能強化対策【電気設備】工事

工事別工事名:電気設備工事

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	合　　計					算出数量 1.000 個
	単　　価		個			
	＊＊＊　T単－ 10号　＊＊＊					
	電気設備製作品輸送費（補助）		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	重量0.3ton 運搬距離 85.0㎞					
	輸送費 鋼製付属設備,,,	1.000	式			
	合　　計					算出数量 1.000 式
	単　　価		式			
	＊＊＊　T単－ 11号　＊＊＊					
	産業廃棄物処理費		ton		1.000 ton	歩A 当たり算出
	金属くず　運搬とも					
	運賃料金	1.000	台			
	産業廃棄物処理費 金属くず	1.000	ton			
	合　　計					算出数量 1.000 ton
	単　　価		ton			
	＊＊＊　T単－ 12号　＊＊＊					
	コア抜き		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	貫通口径100㎜､ｺﾝｸﾘｰﾄ厚さ150㎜					
	はつり工		人			
	合　　計					算出数量 1.000 箇所
	単　　価		箇所			

平成 24 年度

農業集落排水事業(繰越)

別府中処理施設機能強化対策工事

特　記　仕　様　書

別　府　中　地　区

加　　西　　市

目　　次

第１章　総　　則 …… 2
　第１節　計画概要 …… 2
　第２節　計画主項目 …… 3
　第３節　一般事項 …… 4
第２章　細　　則 …… 13
　第１節　共通事項 …… 13
第３章　特記事項 …… 17
　第１条　土木工事 …… 17
　第１節　概　　要 …… 17
　第２節　特記事項 …… 17
　第２条　機械設備工事 …… 23
　第１節　概　　要 …… 23
　第２節　機器製造会社の指定 …… 25
　第３節　機器設備 …… 25
　第４節　配管設備 …… 37
　第５節　塗装仕様 …… 38
　第３条　電気設備工事 …… 40
　第１節　概　　要 …… 40
　第２節　工事範囲 …… 41
　第３節　機器及び主な工事材料 …… 43
　第４節　その他の特記事項 …… 54

第１章　　総　　則

本仕様書は、加西市（以下「発注者」という。）が発注する農業集落排水事業（機能強化対策）に適用する。

第１節　計画概要

１．一般概要

本施設は、別府中地区の生活排水（し尿及び雑排水の生活系排水）を管渠にて集水し、これを処理する施設の経年劣化による機能低下を回復するとともに、現在の一般的整備水準に機能変更を行うことにより、水処理性能の安定・向上をはかるものである。

２．工事名

別府中地区処理施設機能強化対策工事

３．施設規模

計画処理人口	730 人	
計画処理水量	日平均汚水量	198　m^3／日
	時間最大汚水量	23.8　m^3／時

４．建設場所

兵庫県加西市別府町字野手甲 1337

５．工　期

契約締結日の翌日から平成 25 年　　月　　日までとする。

なお、この工期には雨天・休日等を見込んでいる。（休日等には、土・日曜日、祝日、年末年始休暇を含む。）

第２節　計画主項目

１．処理能力　　198 m^3／日（日平均汚水量）

２．処理方式　　嫌気性ろ床＋接触ばっ気方式（JARUS-Ⅲ型）

３．計画水質　　流入水質　　ＢＯＤ　　200 ㎎／L
　　放流水質　　ＢＯＤ　　20 ㎎／L 以下

４．公害防止基準

(1) 騒音基準値　　環境の保全と創造に関する条例に準ずる。

(2) 振動基準値　　環境の保全と創造に関する条例に準ずる。

(3) 悪臭基準値　　環境の保全と創造に関する条例に準ずる。

５．施設の概要

本施設は、汚水を処理する農業集落排水処理施設であり、当該仕様書に示された計画内容等について十分把握するものとする。

６．立地条件

(1) 地形・土質等

建設地の位置・地形・地質等は調査の上、計画及び実施するものとする。

(2) 敷地周辺設備

① 電　気　　監督員と協議の上、決定とする。

② 電　話　　監督員と協議の上、決定とする。

③ 水　道　　監督員と協議の上、決定とする。

第３節　一般事項

１．特記仕様書の適用

本工事は請負契約書、及び第２章第１節２項の準拠規格の他、この特記仕様書により施工しなければならない。

２．提出書類

請負人は、次の書類を提出しなければならない。

	書　類　名	提出期日	備　考
契約締結時(受注時)の書類	工事着手届 工事請負契約書 契約保証金 工事施工計画書及び下請負人等通知書（当初・変更） 主任技術者等経歴書 工程表（バーチャート式）	契約時 契約後７日以内 契約締結時 〃 契約締結後速やかに 契約後７日以内	
工事中・検査時の書類	施工計画書（当初・変更） 計画工程表（当初・変更）（1000 万円以上はﾈｯﾄﾜｰｸ式） 職分担通知書 緊急連絡先通知書 工事カルテ（当初・変更・完成時） 建設業退職金共済制度掛金収納書 施工体制台帳・施工体系図 工事承諾願（使用材料・施工承諾） 検査試験成績書 事前測量結果報告書 特定建設作業の届出 その他、官公庁への手続き 段階確認書 立会願 休日作業届 週別・月別の計画工程表 工事進捗状況報告書（月毎） 承諾図 工事打合せ簿・工事日報 品質管理関係図書 工程管理成果（実施工程・月間工程） 出来形総括表・成果表 出来形図 工事完成図書	契約締結後 30 日以内 施工計画書に添付 〃 〃 契約後 10 日以内登録 契約締結後１ヶ月以内 下請負契約後速やかに その都度 〃 工事着手までに 〃 〃 検査希望日の前日まで 〃 作業予定の前日まで 週末・月末 毎月５日までに 工事施工前に その都度 竣工検査前 〃 〃 〃 〃	

	工事写真集 安全訓練等報告書 再生資源利用促進計画書 産業廃棄物管理票計量伝票 産業廃棄物管理票交付状況総括表 建設リサイクル法の完了報告 交通誘導員や発生土等の集計表・伝票・受入証明 建退共証紙受払簿・個人配布記録 完成届兼引渡書 請求書	竣工検査前 〃 〃 〃 再資源化等の完了時 〃 竣工検査前 工事完成日まで 〃	
その他	事故発生報告書 指示書 請求される図書	速やかに 監督員から請負人へ その都度	

（提出図書の部数は監督員の指示に従うこと。）

3．施工承諾申請図書

請負人は、発注図書にもとづき工事をすすめるものとする。なお、工事施工に際しては、事前に承諾申請図書により監督員の承諾を得てから着工するものとする。

尚、発注図書に疑義あるときは、発注者と打合せ確認後、承諾図作成のこと。

図書は、つぎの内容のものを提出すること。

(1) 施工詳細図

〔土木・機械・電気等の各工事の施工及び製作に必要な図面 〕

(2) 施工計画書

〔 工事概要,現場組織,工程,仮設計画,各種調査,施工方法,安全管理,その他 〕

(3) 検査要領書

(4) 計算書、検討書

(5) その他必要な図書及び提出部数は監督員の指示に従うこと。

4．技術管理担当者等

1）請負人は本工事に対する主任技術者、及び現場代理人を定め、その氏名・連絡先等を書面により発注者に通知しなければならない。

２）主任技術者（管理技術者）及び現場代理人は兼ねる事ができる。

５．技術管理

主任技術者は、次に掲げる技術管理を実施しなければならない。

但し、工事の進捗に伴い、必要な事項が生じた場合には次の各号に追加する事がある。

(1) 品質管理

(2) 写真・展開図による出来形管理

(3) 工程表による工程管理

６．品質管理

主任技術者は、それぞれ基準に定めるところにより測定又は試験を行い、管理図又は結果表を作成し、監督員に提出しなければならない。

７．測定・試験値による措置

主任技術者は、前条の管理図又は結果表の測定又は試験値が著しく偏重している場合、又はバラツキが大きい場合、若しくは所定の範囲に適合しない場合には、その原因を究明・解析し、施工計画の見直し等の措置を講ずると共に、その結果を監督員に報告し、工事の手直し、補強等の必要がある場合には監督員の指示に従わなければならない。

８．出来形管理

主任技術者は、工事の施工の順序に従い、工事写真及び出来形確認図を作成し、監督員に提出しなければならない。

９．工事写真

前項の工事写真は、原則としてサービス版以上とし、工事着手前・工事中（品質管理写真を含む）及び完成の状況を撮影し、完成時に他の提出書類と同時に提出する。

提出部数は１部とし、ネガ又は電子データと共に提出のこと。

10. 施工後明視出来ない箇所の測定・撮影

水中又は地下に埋設する工事、その他完成後外面から明視する事ができない工事の施工箇所等については、主任技術者は原則として監督員の立会いを求め、測定及び工事写真の撮影を行うものとする。

11. 工程管理

1）主任技術者は、バーチャート式又はネットワーク式その他による実施工程表を作成し、監督員に提出すると共に、工程の完全な遂行を図らねばならない。

なお、実施工程に変更が生じた場合には、変更実施工程表を提出しなければならない。

2）災害その他の事情により工事が遅延した時は、主任技術者は直ちにその理由・原因を監督員に報告し、工程計画の修正を行うと共に、進捗度の回復に努めなければならない。

3）主任技術者は、工事工程表・工事日誌・材料受払書・工事写真・点検簿・材料検査表・性能テスト表等を備えて、毎日記載すると共に、監督員が必要と認めた時は遅滞なく提出又は閲覧に供さなければならない。

4）請負人は工事完了後、出来形による竣工図を提出しなければならない。

12. 安全管理等

1）請負人は、工事現場に工事名、工期、事業主体及び工事施工者の住所・氏名等の標示板を建てなければならない。（工事に係る所定の標示板が定められている場合はその基準による。）

2）請負人は、当該工事において工種及び規模による関係法令等に基づいた所定の安全管理に関する手続きをし、工事用資材等の輸送、工事箇所及び周辺部に対する安全計画又は防災計画を立てて、監督員に提出し、該当箇所については適切な措置を講

じなければならない。

3）請負人は、隣接して、又は同一場所において別途工事と競合する場合は、相互に協議して紛争を起こさない様措置しなければならない。

4）請負人は、既設工作物等に支障をおよぼさない様、必要な保護又は安全策を講じなければならない。

もし、既設工作物等に損傷を与えるか、又は止むを得ず除去する等の必要が生じた場合は、監督員に報告のうえ承諾を受けて適切な措置を講じなければならない。

5）請負人は工事箇所への一般人及び労務者の出入監視、風紀衛生の取締り、並びに火災、盗難その他の事故防止について責任をもって充分管理しなければならない。

13. 指示・承諾

1）請負人は、施工上明確でない箇所又は疑義が生じた場合、監督員の指示に従わなければならない。

2）機械機器及び構造等により変更の指示があった場合、又は変更しなければならない場合は監督員と協議し承諾を受けて施工しなければならない。

14. 請負人の負担

請負人は、当該施設の目的・機能・性能上欠く事のできない全ての費用、保安・防災等関係法令により必要な諸手続きの費用、各種試験、検査の費用、工事施工に伴う関係監督官庁等の手続きの費用、軽易な障害で請負人の責めに帰すべきものの賠償等に要する費用、工事完了に伴う各施設の出来形と竣工図の作成費用等の工事施工に必要な全ての費用を負担するものとする。

また、本工事の施工に当り、特許・意匠等の実施権行使については、請負人が一切の責任を負うものとする。

15. 官公庁の手続き

請負人は、工事施工に当たって関係監督官庁等と十分協調し、必要な諸手続きを監督員の確認の上手続きし、工事の円満な進捗を図らねばならない。なお、関係監督官

庁から指示等があった場合は、遅滞なく監督員に報告し、指示を受け措置しなければならない。

16. 設計変更

請負人は、本工事の内容に変更を生じた場合、又は監督員から変更の指示があった場合は、これに従わなければならない。

17. 工事の中止

請負人が発注者の指示に従わない場合、又は不正な行為のあった場合は、当該工事を中止させる事がある。

18. 不用材料処分

請負人は、工事が終了した時は速やかに不用材料の処分及び仮設備等を撤去し、監督員の指示に従わなければならない。

19. 撤去機器処分

請負人は、工事期間中に発生する廃機材について、関係法令に基づき適切に処分を行うこと。また、処分を証明できる書類の整理を必ず行うこと。

20. 再使用品の取り扱い

請負人は、取り外し後再使用となる機器について、以下の通り取り扱うこと。

(1) 取り外し前に状態・性能・機能の確認を行い、機器に損傷を与えないように取り外すこと。

(2) 取り外し後、機器の清掃又は洗浄等を実施した後、再取付けを行い、機能の確認を行うこと。なお、特別な清掃を行う場合は、別途特記によるものとする。

(3) 機器取り外し後、再取付けまでの間は適切に養生を行い、保管するものとする。

21. 工事着手時の汚泥処分

汚泥濃縮貯留槽、汚泥貯留槽については、浄化槽管理者にて処分を行うので、請負

人は監督員と打合せを行い、引抜時期を決定すること。

22. 工事期間中の施設管理

工事期間中は、浄化槽管理者の指示に基づき、請負人の責任において、法令に基づいた施設管理を実施すること。主な管理事項は下記のとおりである。

(1) 良質な水質が継続して得られるよう、施設の管理を行う。

(2) 放流水質を厳守すること。

(3) 処理水を計量事業所にて計測し証明書を浄化槽管理者へ報告する。

23. 監督員による段階確認

１）請負人は、『施設機械工事等共通仕様書 1-15-1（農林水産省農村振興局整備部設計課）監督員による検査（確認を含む）及び立会等』に従って、監督員による段階確認を受けなければならない。ただし、発注図書による、種別、細別等については監督員の判断によることができるものとする。

２）段階確認の工種については、別途監督員と協議を行うこと。

３）請負人は、種別ごとの確認時期を監督員に報告しなければならない。また、監督員より、確認時期に基づいて、段階確認の実施について連絡があった場合には、速やかに段階確認を受けなければならない。

24. 排出ガス対策建設機械の使用について

本工事において下表に示す建設機械を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。

なお、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、「建設技術評価制度」又は「民間開発建設技術の審査証明事業」により評価された「排出ガス浄化装置」を装着した建設機械を使用することで同等とみなす。

ただし、請負人の都合による場合を除き、これにより難い場合は、監督員と協議するものとする。

上記において、「これにより難い場合」とは、供給側に問題があり、排出ガス対策

型建設機械を調達することができない場合であり、請負人の都合で調達できない場合は認めないものとする。

なお、使用する建設機械が排出ガス対策型建設機械であることを確認できる写真を撮影し、完成書類として提出するものとする。

機　　種	備　　考
・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ ・発動発電機（可搬式、溶接兼用機含） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット （以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシーンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの：油圧ハンマ、バイブロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入・引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリス、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機） ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力 7.5kW 以上、260kW 以下）を搭載した建設機械

25. 完成構造築物の引き渡し

請負人は、完成検査等（性能試験が必要なものについては所定の試験合格確認後）で検査合格確認後速やかに発注者に対し引き渡すものとする。

26. 完成図書

請負人は、工事竣工に際して、完成図書として次のものを提出する。

(1) 竣工原図　　１式

(2) 金文字製本（竣工図、取扱説明書等）…… ３部

なお、運転に当たって、機器の調整が必要なものは、試運転後に説明書を再整備するものとする。

(3) 試運転報告書 …… ２部

(4) 単体機器試験成績書 …… ２部

(5) そ　の　他

○　承諾図、工事日誌、工事写真、官公庁届出書類、各種試験成績表、および保証書、施工計画書、議事録および指示書、材料検査簿、出来高工程管理等

尚、上記図書類の提出形態等は監督員の指示によるものとする。

第２章　　細　　則

第１節　共通事項

１．設計図書の優先順位

(1) 現場説明書（質疑応答書を含む）

(2) 特記仕様書

(3) 実施設計図

(4) 標　準　図

２．準拠規格

請負人は施工に際して材料・工法等を選定する場合、次の法令仕様及び規格等の最新版に準拠しなければならない。

	準　　拠　　規　　格
1	農業集落排水処理施設　設計指針
2	浄化槽法
3	土木工事共通仕様書・施設機械工事等共通仕様書【農林水産省農村振興局整備部設計課】
4	兵庫県土木工事共通仕様書
5	公共建築工事標準仕様書（建築工事編）【国土交通省大臣官房庁営繕部監修】
6	公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）【国土交通省大臣官房庁営繕部監修】
7	公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）【国土交通省大臣官房庁営繕部監修】
8	公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）【国土交通省大臣官房庁営繕部監修】
9	公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）【国土交通省大臣官房庁営繕部監修】
10	公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）【国土交通省大臣官房庁営繕部監修】
11	日本工業規格【ＪＩＳ】
12	日本電機工業会標準規格【ＪEM】
13	コンクリート標準示方書【土木学会】
14	鉄筋コンクリート構造計算基準・同解説【日本建築学会】
15	建築基礎構造設計基準・同解説【日本建築学会】
16	その他関係法規・規格

３．資材置場、仮設現場事務所等

請負人は資材置場、仮設現場事務所等を必要とする時、建設敷地内であれば監督員の指示により設置するものとし、敷地外の場合は監督員の承諾を受け請負人の責任において設置するものとする。

（必要のある場合は、監督員の現場管理用事務所を設置するものとする。）

なお、資材置場、仮設現場事務所内での保安等は充分配慮して設置するものとする。

４．各工事との調整

本工事の各工事が関連する場合には、監督員の指示に従い、工事進捗に支障のないように調整を密に行い、相互に協力して施工しなければならない。

また、別途発注工事と現場及び工期が重なる場合についても、上記同様の調整を密に行うこと。

項　　目		土木	建築	機械	電気	備　　考
(1) 仮設	①工事用水道使用料金	○		○	○	
	②工事用電気使用料金	○		○	○	
	③工事用事務所	○		○	○	
(2) 本工事	①処理槽改修工事	○				
	②蓋類					
	③同上蓋掛り					
	④機械基礎	○				
	⑤箱穴抜、スリーブ穴抜			○	○	
	⑥同上穴埋工事			○	○	
	⑦機器の製作・据付			○	○	
	⑧同上塗装			○	○	
	⑨配管の製作・据付			○		躯体に埋め込む配管工事を含む。
	⑩同上塗装					
	⑪電源引込設備工事				○	
	⑫動力設備工事				○	
	⑬電気配管配線工事				○	躯体に埋め込む配管工事を含む。

項　　目		土木	建築	機械	電気	備　　考
(2) 本工事	⑭跡片付及び清掃	○		○	○	
(3) 試運転	①水張り試験	○		○		
	②試運転用電力			○		
	③試運転用水			○		流入汚水とする

5．試運転

1）試運転

試運転は流入汚水を用い、処理工程にそって以下の試験を行い、各施設の状況を確認する。

(1) 作動

(2) 液漏れ・空気漏れ

(3) 水流・水位

(4) 振動・騒音

2）運転の実施

(1) 試運転は、請負人が発注者と予め協議の上作成した試運転要領書に基づき、実施するものとする。

6．検査及び試験

1）立会検査

資材・主要機器等の検査及び試験は、監督員立会の上実施するものとする。

但し、監督員が特に認めた場合は、請負人が提出する検査、又は、試験成績表に代える事が出来る。

2）検査及び試験方法

検査及び試験は、予め監督員の承認を受けた検査（試験）要領書に基づき実施するものとする。

３）検査及び試験の省略

公的、又はこれに準ずる機関の発行した証明書等で成績が確認できる資材・機器については、検査及び試験を省略する事ができる。

７．保　証

１）保証期間

本施設の保証期間は、正式引き渡しの日より２年間とする。

但し、監督員と請負人が協議の上、別に定める消耗品についてはこの限りではない。

保証期間中に生じた設計、施工、材質及び構造上の欠陥による全ての破損並びに故障等は請負人の負担で速やかに補修、改造又は取替等を行わなければならない。

但し、監督員の誤操作及び天災等の不測の事故に起因する場合はこの限りではない。

２）性能試験及び保証事項

本施設の処理能力及び性能は、全て請負人の責任施工により、基準以上としなければならない。

又、請負人は設計図書に明示されていない事項であっても、工事の性質上当然必要なものは監督員の指示に従い請負人の責任負担で施工しなければならない。

又、本処理施設の処理能力及び性能に関する処理調整を、監督員と協議の上、引き渡し日より１年間行うものとする。

第３章　　特 記 事 項

第１条　　土木工事

第１節　概　要

本工事は、汚水処理施設の機能強化工事に必要な土木工事である。

施工に当たっては、発注者が作成する一般仕様書を遵守するものとするが、特に注意すべき事項について、本章に規定する。

第２節　特記事項

第１項　一般事項

１）他工事との調整

本工事と他工事が関連する場合には、監督員の指示に従い工事進捗に支障のないように調整を密に行い、相互に協力して施工しなければならない。

２）監督員詰所

請負人は監督員詰所を監督員の承諾する位置に設け、戸締り及び採光を十分にし、かつ、必要な設備及び器具を備えなければならない。

ただし、監督員が必要でないと認めた場合はこの限りではない。

第２項　仮設・土工

１）残塊処分

本工事により発生する残塊は、下記の処理業者にて処理をする。また、事前に処分計画を提出し、監督員の承諾を得るものとする。なお、請負人にて処理業者を変更する場合は、事前に処分計画を作成し監督員と協議を行い、承諾を得るものとする。

(1) 無筋コンクリート残塊処分

処分先社名　　：加西砕石㈱

処分先社名住所　：加西市山下町字ギボシ 2354-12 他 2 筆

(1) については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、請負人の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、請負人の責によるのでない事項についてはこの限りではない。

第３項　躯体工

１．コンクリート工

本工事に使用するレディミクストコンクリートのセメントは JIS A 5308 の高炉セメント（B種）とする。

レディミクストコンクリートの配合は下記を標準とする。

	呼び強度	スランプ	粗骨材の最大寸法
無筋構造物	18 N/㎟	8㎝又は 12 ㎝	20 ㎜（25 ㎜）又は 40 ㎜
鉄筋構造物	24 N/㎟	8㎝又は 12 ㎝	20 ㎜（25 ㎜）

１）材料は、生コンクリートを使用し、その配合等については、本市制定の「土木工事一般仕様書」によること。但し、鉄筋コンクリートについては、水密性及び耐食性を考慮し、監督員の承諾を得ること。

２）土木コンクリート構造物の耐久性を向上させるため、当該工事に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては 55%以下、無筋コンクリートについては 60%以下とすること。

３）打放しコンクリート天端は、左官による金こて仕上げとしなければならない。

４）コンクリート打設に際しては、鉄筋間隔、かぶり、継手位置等を考慮し、かつ、連続的にコンクリートを打設することにより材料分離、コールドジョイント等の有害な欠点を生じないよう施工しなければならない。

５）コンクリート打設時には、必ず型枠工及び鉄筋工を待機させておかなければならない。

６）コンクリートの打設時には、必ず請負人の責任技術者が最低１名立会わなけれ

ばならない。

7）コンクリート打継部のレイタンスの除去は、硬化遅延剤を塗布、又は打継目のみが未硬化の状態である時期に圧力水を噴射させて除去するか、又はジェットチゼル、スーパーケレン等による除去を原則とする。

この場合、旧コンクリートの骨材を浮かせたり、微細なクラックを発生させることのないよう慎重に施工しなければならない。

2．コンクリートの耐久性確保に係わる措置

1）適用範囲

本工事の土木構造物に使用するコンクリートについて適用する。

但し、仮設構造物のように長期の耐久性を期待しなくてもよい場合は除く。

2）塩化物総量規制値

(1) フレッシュコンクリート中の塩化物量については次の通りとする。

ア）鉄筋コンクリート部材及び用心鉄筋を有する無筋コンクリート部材における許容塩化物量は 0.30kg/m^3（Ｃｌ－ 重量）以下とする。

イ）コンクリート工場製品は許容塩化物を 0.30kg/m^3（Ｃｌ－ 重量）以下とする。

また、オートクレープ養生を行う製品における許容塩化物量は、0.30kg/m^3（Ｃｌ－ 重量）以下とする。

(2) 測　定

塩化物量の測定は、１日につき２回以上（午前・午後）を原則としてコンクリートの打設前に行うものとし、実施方法等については、監督員と打ち合わせのうえ実施すること。

3）アルカリ骨材反応対策

(1) アルカリ骨材反応対策は、次のア）に掲げる骨材の反応性の確認又はイ）からエ）までに掲げるアルカリ骨材反応の抑制策のいずれかとする。

ア）アルカリ骨材反応に関して無害と判定される骨材を使用する。

イ）日本工業規格（以下「JIS」という。）R 5210「ポルトランドセメント」に規定された低アルカリ形のポルトランドセメントを使用する。

ウ）JIS R 5210「ポルトランドセメント」に規定された通常のポルトランドセメントを使用する場合においては、コンクリート１立方メートル中に含まれるアルカリ量（酸化ナトリウム換算）の総量を 3.0 キログラム以下とする。

エ）JIS R 5211「高炉セメント」に規定された高炉セメントＢ種若しくはＣ種又は JIS R 5213「フライアッシュセメント」に規定されたフライアッシュセメントＢ種若しくはＣ種で、アルカリ骨材反応の抑制効果の確認されたものを使用する。

(2) 骨材のアルカリ骨材反応性の対策

骨材のアルカリ骨材反応性の対策は、公的試験機関等において行う。

３．型枠及び支保工

１）セパレーターは、すべてコーン付とし、水密コンクリートにおいては止水板付としなければならない。

２）コンクリートの天端、出隅には必ず面木を入れなければならない。また、伸縮継手部も面木を入れるものとする。

３）セパレーターは、コンクリート仕上げ天端から少なくとも 10 ㎝以上間隔をとらなければならない。

４）化粧打放し用型枠は、セパレーターの縦・横の通りをそろえるほか、割付けピッチも等間隔となるように施工しなければならない。

４．鉄筋工

１）異形棒鋼については、JIS G 3112 に適合する SD 345 を用いること。

２）配筋要領については、配筋標準図に準ずる。

３）鉄筋のかぶりを確保するため、スペーサーを構造物の側面については原則として１m^2につき２個以上、構造物の底面については原則として１m^2につき４個以上設置すること。

５．既設断面除去工

１）施工及び検査は『農業集落排水施設のコンクリート劣化点検・診断・補修の手引き（案)』(一般社団法人　地域環境資源センター　平成 14 年 7 月版）に基づく。

２）除去厚及び表面硬度の検査が行なえるよう、壁 1 面につき数ヶ所程度、検査準備を用意すること。

３）中性化検査を行なうため、フェノールフタレイン溶液を用意すること。

４）素地コンクリートの引張強さ試験を実施すること。

６．除去断面修復工

１）除去を行った断面の修復には、各種強度及び既設コンクリート面との付着性、防水性や作業性を考慮し、使用材料を選定すること。

２）断面修復完了後、素地調整を行い、接着力試験を実施すること。

第４項　防水防食工

１）仕様、施工及び検査は『農業集落排水施設のコンクリート防食設計・施工の手引き（設計編・施工編)』(一般社団法人　地域環境資源センター　平成 17 年 9 月　版　）　に　基　づ　く　。

２）防水・防食に使用する材料は、監督員の承諾を得ること。

３）防水・防食工は専門業者による責任施工とし、保証書を提出すること。

また、事前に施工計画書（防水防食仕様、仕様材料、下地処理工法、施工図、施工手順、養生方法、安全管理方法、検査要領等）作成し、監督員の承諾を受けなければならない。

４）工法種別及び施工範囲は、図面特記による。

５）防食の引っ張り試験は、発注者の立会いのもと行うこと。

また、この引張試験で引き抜いた試験片は、工場にて膜厚検査を行うこと。

６）蓋開口部シーリング工

防食工の蓋取り合い部においては、防食仕様標準図を参考に、15×15 の目地幅

でシーリング(弾性エポキシ系)の打替えを行うこと。

第５項　承諾図書の提出

　請負人は指定期間内に使用材料及び施工承諾書を提出し、監督員の承諾を受けた後、製作・発注又は施工しなければならない。

第２条　機械設備工事

第１節　概　要

本設備工事は、機能強化工事に伴う機器の撤去、再利用設置及び更新機器の新設等、及びそれらにより生ずる手直しまでの一切を行うもので、その概要は下記の通りである。

第１項　処分機器

本設備機器は、既設撤去後処分するものである。なお、それぞれの機器は清掃を行い処分形態に合わせて処分すること。

【処分機器一覧表】

1	破砕機			
2	自動微細目スクリーン			
3	流量調整ポンプ（本体のみ）			
4	ばっ気ブロワ（常用）			
5	ばっ気ブロワ（予備）			
6	汚泥引抜ポンプ			
7	局所排気ファン			

第２項　再利用機器

本設備機器は、既設撤去後再利用するものである。なお、それぞれの機器は清掃を行い処分機器と分けて保管すること。（８ページ２０項参照）

【再利用機器一覧表】

番号	既設名称	新　名　称	変更内容
1	自動荒目スクリーン	同　　左	変更なし
2	沈砂排出ポンプ	同　　左	変更なし
3	ばっ気沈砂槽散気装置	同　　左	変更なし
4	細目スクリーン	同　　左	変更なし
5	流量調整ポンプ	同　　左	変更なし
6	流量調整ポンプ（本体以外）	同　　左	変更なし
7	調整槽水中撹拌ポンプ	同　　左	変更なし
8	嫌気性ろ床槽（第１室）接触材	同　　左	変更なし
9	嫌気性ろ床槽（第２室）接触材	同　　左	変更なし

10	嫌気性ろ床槽（第３室）接触材	同　　左	変更なし
11	嫌気性ろ床槽（第１室）接触材架台	同　　左	変更なし
12	嫌気性ろ床槽（第２室）接触材架台	同　　左	変更なし
13	嫌気性ろ床槽（第３室）接触材架台	同　　左	変更なし
14	嫌気性ろ床槽（第１室）バッフル板	同　　左	変更なし
15	嫌気性ろ床槽（第２室）バッフル板	同　　左	変更なし
16	嫌気性ろ床槽（第３室）バッフル板	同　　左	変更なし
17	嫌気性ろ床槽（第１室）撹拌装置	同　　左	変更なし
18	嫌気性ろ床槽（第２室）撹拌装置	同　　左	変更なし
19	嫌気性ろ床槽（第３室）撹拌装置	同　　左	変更なし
20	接触ばっ気槽（第１室)接触材	同　　左	変更なし
21	接触ばっ気槽（第２室)接触材	同　　左	変更なし
22	接触ばっ気槽（第１室)接触材架台	同　　左	変更なし
23	接触ばっ気槽（第２室)接触材架台	同　　左	変更なし
24	接触ばっ気槽（第１室)散気装置	同　　左	変更なし
25	接触ばっ気槽（第２室)散気装置	同　　左	変更なし
26	接触ばっ気槽（第１室)逆洗装置	同　　左	変更なし
27	接触ばっ気槽（第２室)逆洗装置	同　　左	変更なし
28	汚泥濃縮貯留槽散気装置	同　　左	変更なし
29	汚泥貯留槽散気装置	同　　左	変更なし

第３項　新設機器

本設備機器は、新たに設置するものである。

【新設機器一覧表】

1	破砕機			
2	自動微細目スクリーン			
3	流量調整ポンプ（本体のみ）			
4	ばっ気ブロワ（インバーター対応）			
5	汚泥引抜ポンプ			
6	局所排気ファン			

第４項　仮設機器

本設備機器は、施工期間中に仮設設置・撤去を行うものである。

【仮設機器一覧表】

1	仮設水処理装置			

第２節　機器製造会社の指定

機器・工事材料の選定にあたっては、下記製造会社の製作する製品、又は同等品以上の製品とし、製作に当たって事前に、監督員と協議の上、承諾図を受けるものとする。

機器名称	製造会社名		
破砕機	ｺﾐﾆｭｰﾀｰｻｰﾋﾞｽ㈱		
スクリーン	ｺﾐﾆｭｰﾀｰｻｰﾋﾞｽ㈱	新明和工業㈱	㈱鶴見製作所
ポンプ	新明和工業㈱	㈱アンレット	
ブロワ	㈱アンレット	新明和工業㈱	㈱鶴見製作所
ファン	㈱荏原製作所	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸｴｺｼｽﾃﾑｽﾞ㈱	三菱電機㈱
仮設水処理装置	㈱アクリ	㈱双葉	㈱ニチジョー

第３節　機器設備

本設備の主要機器は、下記仕様の製品とする。（次ページ以降）

第 1 項 破砕機

【使用目的】

本機は、流入汚水中の夾雑物を破砕するものである。

1. 形　　式	ドラム型（コントロール式）破砕機	
2. 数　　量	1基	
3. 要　　項	(1) 処理量	220～1,440m3／日以上
	(2) 電動機出力	0.2kW以下
	(3) 電動機電圧	200V（60Hz）
	(4) 電動機極数	メーカー標準
	(5) 電動機起動方式	直入
4. 材　　質	(1) シャフト	SCM415　又は同等品以上
	(2) ケーシング	FC250　又は同等品以上
	(3) ドラム	SUS303　又は同等品以上
	(4) その他	メーカー標準
5. 塗　　装	(1) 外面	メーカー標準
	(2) 内面	メーカー標準
6. 付 属 品	破砕機1基につき下記のものを取り付ける。	
	(1) 分解工具	1式
	(2) グリスガン	1式
	(3) コーム･掘削歯	1式
	(4) キャプタイヤケーブル	10m以上
	(5) 流出用短管	不要（既設流用）
	(6) アンカーボルト･ナット	不要（既設流用）
	(7) メーカー標準付属品	1式
7. 特記事項	・ 流入管部躯体はつり及び復旧を行うこと。	

第 2 項 自動微細目スクリーン

【使用目的】

本機は流入汚水中の夾雑物を除去するものである。

1. 形　　式	自動掻き上げ式バースクリーン	
2. 数　　量	2台	
3. 要　　項	(1) 処理能力	45m3／時以上
	(2) 目幅	2.0mm
	(3) 機長	870mm (参考)
	(4) 取付角度	50
	(5) 電動機出力	0.025kW、冠水型
	(6) 電動機電圧	200V (60Hz)
	(7) 電動機極数	メーカー標準
	(8) 電動機起動方式	直入
4. 材　　質	(1) 本体	SUS304
5. 付 属 品	(1) キャプタイヤケーブル	5m以上
	(2) 固定用資材	1式
	(3) メーカー標準品	1式
6. 特記事項		

第 3 項 流量調整ポンプ(本体のみ)

【使用目的】

本機は、流量調整槽に設置し、汚水を移送するものである。

1. 形　　式	水中汚水汚物ポンプ(ノンクロッグタイプ)	
2. 数　　量	1台	
3. 要　　項	(1) 口径	50A
	(2) 揚水量	0.14m3／分以上
	(3) 全揚程	9m以上
	(4) 取扱液	汚水
	(5) フランジ規格	ねじ込み
	(6) 電動機出力	0.75kW以下
	(7) 電動機電圧	200V(60Hz)
	(8) 電動機極数	メーカー標準
	(9) 電動機起動方式	直入
4. 材　　質	(1) ケーシング	FC200　又は同等品以上
	(2) シャフト	SUS420J2　又は同等品以上
	(3) インペラ	FC200　又は同等品以上
5. 塗　　装	(1) 外面	メーカー標準
	(2) 内面	メーカー標準

6. 付 属 品	ポンプ1台につき下記のものを取り付ける。	
	(1) 着脱装置	不要 (既設流用)
	(2) 吊揚用チエーン	8.0m以上 (SUS304)
	(3) キャプタイヤケーブル	12 m以上
	(4) ﾁｪｰﾝ用ﾌｯｸ、ﾁｪｰﾝ止め	不要 (既設流用)
	(5) ガイドパイプ	不要 (既設流用)
	(6) アンカーボルﾄ・ナットﾞ	不要 (既設流用)
7. 予 備 品	・ 予備銘板 (SUS 304) ×1枚／台 (取付ビス付)	
8. 特記事項	・ 電動機は水中使用の構造とする。	
	・ No.1流量調整ポンプ (本体のみ) の更新を行う。	

第 4 項 ばっ気ブロワ（インバーター対応）

【使用目的】

本機は、ばっ気槽散気装置・他に空気を送るものである。

1. 形　　式	ルーツブロワ	
2. 数　　量	3台	
3. 要　　項	(1) 口径	65A
	(2) 風量	1.7m3／分以上
	(3) 吐出圧力	46.1kPa以上
	(4) 取扱ガス	空気
	(5) フランジ規格	JIS　10K
	(6) 電動機出力	3.7kW以下
	(7) 電動機電圧	200V（60Hz）
	(8) 電動機極数	メーカー標準
	(9) 電動機起動方式	直入
4. 材　　質	(1) ケーシング	FC200　又は同等品以上
	(2) シャフト	FCD500　又は同等品以上
	(3) ロータ	FCD500　又は同等品以上
5. 塗　　装	(1) 外面	メーカー標準
	(2) 内面	メーカー標準

6. 付 属 品	ブロワ1台につき下記のものを取り付ける。	
	(1) 共通ベース	1式
	(2) 防振架台（防振ゴム付）	1式
	(3) ベルトカバー	1式
	(4) 吸込サイレンサ	1式
	(5) 吐出サイレンサ	1式
	(6) 安全弁	1式
	(7) 逆止弁	1式
	(8) 伸縮継手	1式
	(9) 圧力計	1式
	(10) 圧力計スタンド	1式
	(11) アンカーボルト・ナット	1台要 2台不要（既設流用）
7. 予 備 品	・ エアフィルタ×1式／台（吸込・吐出共）	
8. 特記事項	・ 低騒音形とすること。	
	・ オイルドレン用コックを設けること。	
	・ 本機は、周波数変換器により回転数を可変できる構造とすること。	

第 5 項 汚泥引抜ポンプ

【使用目的】

本機は、汚泥の引抜に使用する。

1. 形　　式	横型自給式汚泥ポンプ(ルーツ式)	
2. 数　　量	1台	
3. 要　　項	(1) 口径	65／50A
	(2) 吐出量	0.15m3／分以上
	(3) 全揚程	10m以上
	(4) 取扱液	汚泥
	(5) フランジ規格	JIS　10K
	(6) 電動機出力	2.2kW以下
	(7) 電動機電圧	200V (60Hz)
	(8) 電動機極数	メーカー標準
	(9) 電動機起動方式	直入
4. 材　　質	(1) ケーシング	FC200　又は同等品以上
	(2) シャフト	SCM435　又は同等品以上
	(3) ロータ	SCM435　又は同等品以上
5. 塗　　装	(1) 外面	メーカー標準
	(2) 内面	メーカー標準

6. 付 属 品	ポンプ1台につき下記のものを取り付ける。	
	(1) ベルトカバー	1式
	(2) 共通床盤	1式
	(3) 伸縮継手	1式 (吸込・吐出)
	(4) アンカーボルト・ナット	不要 (既設流用)
7. 特記事項		

第 6 項 局所排気ファン

【使用目的】

本機は、前処理室に設置し、局所排気を行うものである。

1. 形　　式	消音ボックス付ラインファン	
2. 数　　量	1台	
3. 要　　項	(1) 形状	φ250(参考値)
	(2) 風量	4.3m3／分以上
	(3) 静圧	177Pa以上
	(4) 電動機出力	0.08kW以下
	(5) 電動機電圧	100V (60Hz)
	(6) 電動機起動方式	直入
4. 材　　質	(1) 本体	メーカー標準
5. 塗　　装	(1) 外面	メーカー標準
	(2) 内面	メーカー標準
6. 付 属 品	(1) メーカー標準付属品	1式
7. 特記事項	・ 既設ファンと形状が異なる場合は伸縮継手の取替えを行うこと。	

第 7 項 仮設水処理装置

【使用目的】

本機は、既設処理槽の改修を行う際に仮設設置し、水処理を行うものである。

1. 形　　式	仮設膜ユニット	
2. 数　　量	1 式	
3. 要　　項	(1) 日平均汚水量	123m3／日（実日流入水量）
	(2) 人口	730人
	(3) リース期間	3.0ヵ月
	(4) 処理水質	流入汚水 BOD 200mg／L
		放流水質 BOD 20mg／L以下
4. 範　　囲	(1) 仮設膜ユニット	
	膜処理槽	1式（FRP製）
	液中膜	1式
	処理水槽	1式（FRP製）
	ばっ気ブロワ	1式
	処理水ポンプ	1式
	流量調整ポンプ	1式
	制御盤･通報装置	1式
	スクリーンユニット	1式
	汚水計量槽	1式
	点検足場	1式
	その他備品（配管等）	1式
	(2) 上記装置運搬、引取費	
	(3) 仮設水処理装置、仮設流量調整槽据付及び撤去工事、仮設配管（流入水路から仮設流量調整槽までの配管を含む）、設備に伴う電気配管･配線工事	

4. 範　　囲	(4) 汚泥調整（シーディング）	
	(5) 運転管理（夜間、緊急対応含む）	
	(6) 運転期間中の汚泥管理費	
5. 付 属 品	(1) 仮設流量調整槽	51.25m3以上（実日流入水量の10時間以上）
6. 特記事項		

第８－１項　補用品・予備品

供用開始後に必要な薬品・オイル等を納入すること。納入に先立って補用品及び予備品リストを作成し、監督員の承認を得ること。

数量は100%とする。但し、消耗品（オイル類）については協議による。

- ポンプ・ブロワ類の予備品

  ベルト・その他必要なもの。

- オイル類

  ポンプ・ブロワ等に必要なオイル及びグリース（グリースガン共）

その他必要と思われるものについても補用品・予備品を納入する。

第８－２項　その他特記事項

１．機器付属専用ケーブル

機器付属専用ケーブル長さについては、事前に現地確認を行い十分な延長を考慮し製作を行うこと。

第４節　配管設備

１．一般仕様書によるほか、設計図に従って配管するものとする。

２．配管材料は、原則として次の材料で行うこと。

空気配管　・・・・・・　配管用ステンレス鋼鋼管（ JIS G 3459 ）
50Ａ以下　SUS 304 TP, Sch 40
65Ａ以上　SUS 304 TP, Sch 20s

その他 ・・・・・・・・・　配管用ステンレス鋼鋼管　及び　硬質塩化ビニル管

〈VP,VU,VW〉

ステンレス管の継手は原則として、

① 50Ａ以下はネジコミ継手とし、65Ａ以上はフランジ継手とする。

② フランジは JIS 10 kg/㎠Gとする。

3．管支持材は、原則として次の材料で行うこと。

配管材	ＶＰ	→	支持材	ＳＵＳ ３０４
〃	ＳＵＳ ３０４	→	〃	ＳＵＳ ３０４

尚、図面に明記が無くとも必要な場所には管支持を施すこと。

4．弁仕様〔原則として下記による〕

- 空気配管

ブロワ廻り　10K外ネジ仕切弁（ JIS B 2031 ）

調整部　10K玉形弁　（ JIS B 2031 及び 2011 ）

その他　10Kボール弁

- 汚水・汚泥配管

ボール弁・仕切弁　JIS B 2031（10K 外ネジ）ステンレス製　or　ＰＶＣ製

逆止弁　JIS B 2031　ステンレス製　or　ＰＶＣ製

5．配管完了後、通気・通水試験を実施すること。

6．配管サポートを含め、槽内防水部に設備を据付ける場合、防水部を貫通する個所は、止水を考慮した方法とすること。

7．弁類には、名称を記入した札（アクリル製）を取り付けるものとする。

第５節　塗装仕様

1．機械設備は、全て塗装を行うものとするが、ステンレス製品および樹脂製品は、この限りではない。また、塗装を行なわないものについては、溶接部、仕上げ、汚れ等を除去し、見栄えよくすること。

塗装要領は、下記のとおりとする。

ただし、電動機、ブロワ等の汎用製品については、監督員と協議の上、塗装仕様を変更することができる。

（塗装要領）

（1）各機器（配管、盤関係を除く。）の塗装は、工場における試運転終了後、下

地の錆落しを十分に行って工場塗装２回塗（錆び１回、中塗装１回）現場塗装２回（仕上塗装２回）計４回塗装を行うことを標準とする。

（２）指定色（仕上色）、及び塗装の品質については、あらかじめ資料および見本を監督員に提出、承諾を得てから使用するものとする。

（３）上記（１）、（２）については、メーカー標準の場合は除外する。但し、承認図に塗装仕様明記のこと。

（４）配管塗装の色別（行う場合）、流れ方向および管、機器名称等については、監督員と十分打合せの上指示されたとおり実施するものとすること。

第３条　電気設備工事

第１節　概　要

第１項　工事内容

本設備工事は、機能強化工事に必要な電気設備を施工するもので、その内容は下記の通り。

(1) 低圧引込工事

(2) 処理施設動力運転制御・計装設備工事

(3) 試運転調整

本設備工事の施工範囲は、上記の設計・製作・搬入・据付・配管・配線及び塗装工事並びに試運転調整及びそれにより生ずる手直しまでの一切を行うものとする。

第２項　製造業者の指定

機器・工事材料の選定にあたっては、下記製造会社の製作する製品、又は同等品以上の製品とし、製作に当たって事前に、監督員と協議の上、承諾図を受けるものとする。

(1) 機　器

① 配電盤類、遠方監視装置

関西機電工業㈱、新納電機㈱、㈱下平電機製作所、小松電機産業㈱

② 投込式水位計

㈱荏原製作所、㈱ジェイテクト、新明和工業㈱

(2) 工事材料

① 電線・ケーブル

三菱電線工業㈱、㈱フジクラ、住電日立ケーブル㈱、古河電気工業㈱

昭和電線ケーブルシステムズ㈱、矢崎総業㈱、西日本電線㈱

② 電線管類

パナソニック電工ＳＰＴ㈱、日鉄鋼管㈱、丸一鋼管㈱

第３項　施工業者

本工事は現状の水処理機能全てを維持しながら施工を行うため、処理工程を理解し、各種機器や制御盤類の動作状況の把握を確実に行う必要がある。よって、水処理に対する専門知識を有し、処理施設の運転操作に精通した業者において施工を行うこと。

第２節　工事範囲

第１項　低圧引込工事

本工事は、既設低圧引込関係の改修工事を行うもので、内容は下記の通りである。

(1) 引込開閉器盤

(2) その他上記に伴う諸工事

第２項　処理施設動力制御・計装設備工事

本工事は、既設動力制御・計装設備関係の改修工事を行うもので、内容は下記の通りである。

(1) 汚水処理制御盤・計装盤（改修）

(2) 電動弁制御盤

(3) 遠方監視装置（処理場）

(4) 中継ポンプ盤（改修）

(5) 遠方監視装置（中継ポンプ場）

(6) 投込式水位計（中継ポンプ場）

(7) その他上記に伴う諸工事

第３項　試運転調整

本工事は上記工事完了後行うもので、内容は下記の通りである。

(1) 汚水処理プラント試運転

(2) タイマー・レベルスイッチ等の調整

(3) 絶縁抵抗試験

(4) 非常時模擬試験（停電試験）

(5) その他必要な試験

第 3 節　機器及び主な工事材料

第 1 項 低圧引込工事

⑴ 引込開閉器盤

本盤は、引込柱に設置し、処理施設の運転制御に必要な動力及び照明用の電源引込用器具及び電力会社取引用計器を収納するものである。

① 形式	屋外装柱閉鎖形		
② 数量	1面		
③ 仕様	寸法　設計図参照		
④ 材質	ステンレス製		
⑤ 塗装	指定色仕上		
⑥ 収納機器（盤内）	配線用遮断器　MCB　3P　225AF		1台
	配線用遮断器　MCB　3P　100AF		1台
	配線用遮断器　MCB　3P　50AF		1台
	避雷器		1台
	端子台		1台
	その他必要なもの		1式
⑦ 付属品	計器取付用木板ベース		1枚
⑧ 使用条件	屋外電柱取付		
⑨ 特記事項	・ 既設引込開閉器盤の撤去を行う。		

⑵ その他

電力会社への手続きは請負人の責任において行うこととする。

第 2 項 処理施設動力制御･計装設備工事

(1) 汚水処理制御盤･計装盤（改修）

本盤は、管理室に設置し、処理施設の運転操作及び監視に必要な制御機器類を収納するためのものである。

① 形式	屋内自立閉鎖形	
② 数量	1式	
③ 仕様	寸法 設計図参照	
④ 材質	鋼板製	

改修内容

1）経年劣化部品の交換

汚水処理制御盤･計装盤の経年劣化部品の交換を行う。

① 収納機器（盤内）	配線用遮断器 MCB 3P 225AF	1台
	配線用遮断器 MCB 3P 50AF	1台
	配線用遮断器 MCB 2P 30AF	19台
	漏電遮断器 ELB 3P 50AF（AL付）	1台
	漏電遮断器 ELB 3P 30AF（AL付）	20台
	漏電ﾘﾚｰ 3φ.1φ	2台
	電磁開閉器 MS 2.2kW以下	20台
	サーマルﾘﾚｰ	4ケ
	進相コンデンサ 40μF	3ケ
	進相コンデンサ 30μF以下	7ケ
	24時間ﾀｲﾏｰ	8ケ
	マルチﾀｲﾏｰ	10ケ
	補助ﾘﾚｰ	70ケ
	アナンシェーターﾘﾚｰ	47ケ
	液面ﾘﾚｰ	9ケ
	交互ﾘﾚｰ	2ケ
	カドニカ電池 DC24V	1ケ
	直流電源装置 DC24V	2ケ

		避雷器（電源用）	1台
		蛍光灯球　FL-10W	3本
		ヒューズ	1式
		その他必要なもの	1式
②	収納機器（盤面）	積算時間計	16ケ
		その他必要なもの	1式
③	特記事項	・ 必要であれば仮設設備の検討を行う。	
		・ 試運転調整を行う。	

2）ばっ気ブロワ回路改造

既設ばっ気ブロワ4台を3台に変更し、インバーター対応への変更に伴う改造を行う。

①	収納機器（盤内）	インバーター（3φ220V　3.7kW）	3台
		ノイズフィルター	3ケ
		DCリアクトル	3台
		計装用変流器	3ケ
		換気扇カセット（フィルター付）	1台
		その他必要なもの	1式
②	収納機器（盤面）	周波数計・ボリューム	3組
		電流計	3ケ
		リセット釦	3ケ
		給気フィルターカセット	1ケ
		化粧板	1式
		その他必要なもの	1式
③	特記事項	・ 水中ポンプA、水中ポンプB、水中ポンプCの回路の撤去を行う。	
		・ 試運転調整を行う。	

3）遠方監視装置（処理場）新設による盤面改造

遠方監視装置（処理場）の新設に伴い部品の撤去を行い、化粧板の取付を行う。

①	収納機器（盤面）	化粧板	1式
②	特記事項	・ 既設積算プリンタの撤去を行う。	
		・ 既設電話機の撤去を行う。	

(2) 電動弁制御盤

本盤は、管理室に設置し、電動弁の運転操作及び監視に必要な制御機器類を収納するためのものである。

①	形式	屋内自立閉鎖形	
②	数量	1面	
③	仕様	寸法　設計図参照	
④	材質	鋼板製	
⑤	塗装	指定色仕上	
⑥	収納機器（盤内）	配線用遮断器	1式
		ノイズフィルター	1式
		シーケンサ	1式
		補助リレー	1式
		タイマー	1式
		ヒューズ	1式
		端子台	1式
		その他必要なもの	1式
⑦	収納機器（盤面）	名称銘板	1式
		切替スイッチ	1式
		操作スイッチ	1式
		押釦スイッチ	1式
		各種表示灯	1式
		その他必要なもの	1式
⑧	予備品	ヒューズ	取付数の100%
		ランプ類	取付数の20%
		補助リレー	取付数の10%
⑨	特記事項	・ 1次側電源は、汚水処理制御盤より分岐し供給する。	

(3) 遠方監視装置（処理場）

本装置は、管理室（計装盤内）に設置し、処理施設の監視をWebにて行い、携帯電話メール通報機能を整備するものである。

① 数量	1組		
② 監視項目数	・	デジタル信号	約78点
	・	アナログ信号	約1点
	・	パルス信号	約1点
③ 通信方式	携帯パケット方式		
④ データ保存	2拠点サーバ方式 データセンターはセキュリティ・停電・火災・地震（M7クラス）・雷対策が施された施設とする。		
⑤ 状況確認方法	インターネットを利用したパソコン携帯電話（メール受信機能付き）での遠隔端末による監視とする。 監視には、専用アプリケーションでパソコン・スマートフォン・タブレット端末により監視できるものとする。		
⑥ 使用温度範囲	0℃ ～ 50℃		
⑦ 端末配置	計装盤内（パネルコンピュータタイプ）		
⑧ 地図表示機能	監視画面には処理場・中継ポンプ場の地図を表示する機能を有すること。		
⑨ 状態表示機能	・	フローシート 設備フロー図をグラフィック表示する。またアナログ瞬時値、積算パルス、運転／停止、イベント発生／復旧を表示する。	
	・	計測値一覧 アナログ瞬時値をバーグラフにて一覧表示する。またアナログ瞬時値の上下限警報設定をWebにて行う。	
⑩ 履歴表示機能	・	運行履歴 機器の運転／停止をリスト表示する。 またデータはダウンロードが可能とする。	

・ 警報履歴

警報内容とともに発生日時、復旧日時をﾘｽﾄ表示する。現在発生中の警報は赤色表示する。

またデータはダウンロードが可能とする。

⑪ 帳票機能

・ 日報

毎時の積算値を表示する。1日の計測値の最大、最小、平均を表示する。1日の各機器の運転時間、稼働率、総計を表示する。

またデータはダウンロードが可能とする。

・ 月報

日毎の積算値を表示する。1カ月の各機器の運転時間、稼働率、総計を表示する。

またデータはダウンロードが可能とする。

・ 年報

月毎の積算値を表示する。1カ年の各機器の運転時間、稼働率、総計を表示する。

またデータはダウンロードが可能とする。

⑫ ﾄﾚﾝﾄﾞｸﾞﾗﾌ　1分間隔でサンプﾘﾝｸﾞした計測値を表示する。

表示形式は指定日より1～7日間の表示スパンとして、時間軸は6H、12H、24Hのスパンで表示変更が可能とする。

⑬ メンテナンス記録　メンテナンスの記録を日付･文字にて登録可能とする。

⑭ 付属品

・ FOMAアダプタ

・ FOMAアンテナ（ケーブル長：5m）

・ シーケンサ

・ コネクタ端子台

・ スイッチング電源

・ 無停電電源装置

⑮ 特記事項
- 装置の取付及び盤内配線を行う。
- 既設非常通報装置の撤去を行う。
- 監視接点の取出を行う。
  - デジタル信号　約78点
  - アナログ信号　約1点
  - パルス信号　約1点
- 装置の試運転調整を行う。

(4) 中継ポンプ盤（改修）

本盤は、中継ポンプ場に設置し、中継ポンプ場の運転操作及び監視に必要な制御機器類を収納するためのものである。

① 形式　屋外装柱形
② 数量　3式
- No.1中継ポンプ場
- No.2中継ポンプ場
- No.3中継ポンプ場

③ 仕様　寸法　W600×H1200×D600
④ 材質　ステンレス製
⑤ 特記事項
- 中板交換方式とする場合は監督員と協議のうえ決定すること。

改修内容

1）経年劣化部品の交換

中継ポンプ盤の経年劣化部品の交換を行う。

① 収納機器（盤内）	配線用遮断器　MCB　3P　30AF	2台
	配線用遮断器　MCB　2P　30AF	1台
	漏電遮断器　ELB　3P　30AF（AL付）	3台
	電磁開閉器　MS	2台
	進相コンデンサ	2ケ
	マルチタイマー	1ケ
	補助リレー	9ケ

		液面ﾘﾚｰ	1ｹ
		交互ﾘﾚｰ	1ｹ
		積算時間計	2ｹ
		ﾋｭｰｽﾞ	1式
		その他必要なもの	1式
②	特記事項	・ 試運転調整を行う。	
		・ 中継ポンプ盤更新時も中継ポンプ場に汚水の入流があるため必要であれば仮設設備の検討を行う。	

2）水位計回路改造

中継ポンプ場のレベル制御をフロート式水位計から投込式水位計への変更に伴う改造を行う。

①	収納機器（盤内）	ｻｰｷｯﾄﾌﾟﾛﾃｸﾀ	1ｹ
		補助ﾘﾚｰ	3ｹ
		その他必要なもの	1式
②	特記事項	・ 試運転調整を行う。	

3）遠方監視装置（中継ポンプ場）新設による盤改造

遠方監視装置（中継ポンプ場）の新設に伴い換気扇の取付を行う。

①	収納機器（盤内）	ｻｰｷｯﾄﾌﾟﾛﾃｸﾀ	1ｹ
		ｻｰﾓｽｲｯﾁ	1ｹ
②	収納機器（盤面）	換気扇	1台
③	特記事項	・ 試運転調整を行う。	

(5) 遠方監視装置(中継ポンプ場)

本装置は、中継ポンプ盤内に設置し、中継ポンプ場の監視をWebにて行い、携帯電話メール通報機能を整備するものである。

① 数量	3組 ・ No.1中継ポンプ場 ・ No.2中継ポンプ場 ・ No.3中継ポンプ場	
② 監視項目数	・ デジタル信号	約20点
	・ アナログ信号	約2点
③ 通信方式	携帯パケット方式	
④ データ保存	2拠点サーバ方式 データセンターはセキュリティ・停電・火災・地震(M7クラス)・雷対策が施された施設とする。	
⑤ 状況確認方法	インターネットを利用したパソコン携帯電話(メール受信機能付き)での遠隔端末による監視とする。 監視には、専用アプリケーションでパソコン・スマートフォン・タブレット端末により監視できるものとする。	
⑥ 使用温度範囲	0℃ ～ 50℃	
⑦ 端末配置	中継ポンプ盤内	
⑧ 地図表示機能	監視画面には処理場・中継ポンプ場の地図を表示する機能を有すること。	
⑨ 状態表示機能	・ マンホール設備をグラフィック表示する。 またアナログ瞬時値、積算パルス、運転／停止、イベント発生／復旧を表示する。	
⑩ 履歴表示機能	・ 運行履歴 機器の運転／停止をリスト表示する。 ・ 警報履歴 警報内容とともに発生日時、復旧日時をリスト表示する。現在発生中の警報は赤色表示する。またデータはダウンロードが可能とする。	

⑪ 帳票機能

・ 日報

毎時の積算値を表示する。1日の計測値の最大、最小、平均を表示する。1日の各機器の運転時間、稼働率、総計を表示する。

またデータはダウンロードが可能とする。

・ 月報

日毎の積算値を表示する。1カ月の各機器の運転時間、稼働率、総計を表示する。

またデータはダウンロードが可能とする。

・ 年報

月毎の積算値を表示する。1カ年の各機器の運転時間、稼働率、総計を表示する。

またデータはダウンロードが可能とする。

⑫ トレンドグラフ　1分間隔でサンプリングした計測値を表示する。表示形式は指定日より1～7日間の表示スパンとして、時間軸は6H、12H、24Hのスパンで表示変更が可能とする。

⑬ 運転電流トレンド　運転電流専用のトレンドグラフとする。基準値ならびに参考値を記録し、記録した運転電流と過去5回の運転電流を比較することが可能とする。

⑭ メンテナンス記録　メンテナンスの記録を日付･文字にて登録可能とする。

⑮ 付属品

・ FOMAユビキタスモジュール

・ FOMAアンテナ（ケーブル長：5m）

⑯ 特記事項

・ 既設非常通報装置及び収納箱の撤去を行う。

・ 装置の試運転調整を行う。

(6) 投込式水位計(中継ポンプ場)

本計測装置は、ポンプの自動運転を目的とする。

① 数量	3組	
	・ No.1中継ポンプ場	
	・ No.2中継ポンプ場	
	・ No.3中継ポンプ場	
② 形式	投込圧力式	
③ 出力	4～20mA	
④ 構成	圧力検出器	1台
	変換器	1台
	専用ケーブル(20m以上)	1式
	吊上げ用チェーン(SUS)	1式
	その他必要なもの	1式
⑤ 特記事項	・ 既設フロート式水位計(3点)の撤去を行う。	
	・ 満水警報用のフロート式水位計(1点)は撤去しないこと。	

第４節　その他の特記事項

(1) 処理施設動力制御設・計装備工事

① 動力ケーブルと機械付属ケーブルとの接続は、ボルトとナットにて行い、自己融着テープにて処理した後ビニールテープで完成させること。

② 金属製の露出配管・プルボックス・サポート類及び監督員の特に必要と認めた箇所は下地処理（プライマー等）後、中塗（白）・上塗（仕上色）塗装後に取付け、施工後タッチアップ補修すること。（但し、ステンレス・アルミ・特殊ライニング製品は除く）

(2) 総合試運転

① 機械設備工事との組合せ試験を総合的に行い、当初の処理水質と同等程度を確保するまで責任をもつこと。

平 成 24 年 度
農業集落排水事業(繰越)

別府中処理施設機能強化対策工事

一　般　仕　様　書

別　府　中　地　区

加　西　市

目　　次

第１章　総　　則 …… 2

第２章　一 般 施 工 …… 7

第３章　機械設備工事 …… 8

第４章　電気設備工事 …… １５

第１章　　総　則

第１項　基本事項

１．　本仕様書は、別府中地区における農業集落排水処理施設機能強化対策工事にかかる一般事項を定めるものである。

２．　本工事の仕様書については、本書に示すものの他、「土木工事等共通仕様書（農林水産省農村振興局整備部設計課）」並びに監督員の指示によらなければならない。

但し、本仕様書と共通仕様書が重複する条項で内容が一致しない時は、本仕様書が優先する。

３．　施設の製作、施工不良による事故については、無償で修理又は取替えを行うものとし、その期間は正式引き渡しの日より１年間とする。

第２項　諸法規の遵守

請負人は工事施工に当たり、次に掲げる諸法規及び工事に関する諸法規を遵守し、工事の円滑な遂行を図ると共に、諸法令の運営適用は請負人の負担と責任において行わなければならない。

① 労働基準法
② 労働安全衛生法
③ 道路交通法
④ 港則法
⑤ 消防法
⑥ 火薬類取締法
⑦ 騒音規制法
⑧ 振動規制法
⑨ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
⑩ 兵庫県公害防止条例
⑪ 河川法
⑫ 砂防法
⑬ 道路法
⑭ 下水道法
⑮ 水道法
⑯ その他工事施工上必要な法規

第３項　施工範囲

本工事の施工範囲は、設計図に示した施設の築造工事並びに完成検査により生ずる手直しまでの一切を行うものである。また、下記の事項については請負人が行うものとする。

(a) 設計図書に記載されていなくても、工事の性質上当然必要と思われるもの。

(b) 工事中の検査に要する諸設備及びその費用。

(c) 関係官庁より要求される臨機の軽微な処理。

(d) 施工に先立って必要な関係官庁の許可手続等。

(e) 施工計画書及び図面等監督職員の要求する書類等の作成。

第４項　電力及び用水

現場施工用の電力及び用水は請負人において調達するものとする。

第５項　特許権等

本工事の全部又は一部についての方法・機構・意匠等について特許権・実用新案権の登録がなされている権利の実施権行使については請負人が一切の責任を負うものとする。

第６項　損害賠償

現場施工中において、既設の構造物・道路・機器等を損傷した場合は監督員の指示に従い、請負人の負担で速やかに復旧しなければならない。

第７項　現場就業規則

１．　請負人は現場施工を始めるに当り、監督員と全体実施工程表に基づいて搬入方法施工順序・その他注意等の詳細な打ち合せを行なわなければならない。

２．　工事施工の都合上請負人が就業時間の伸縮又は夜間・休日に作業する必要がある場合は、あらかじめ監督員の承認を得なければならない。また都合により就業時間の伸縮または夜間作業を命ずることがある。この場合は、監督員の指示に従い夜間作業に必要な設備等の経費は請負人の負担とする。

第８項　事故防止

請負人は、現場施工中工事関係者及び第三者の安全管理に留意しなければならない。また請負人の不注意・その他の原因により人身事故が発生した場合、その責任及び賠償は一切請負人が負うものとする。

第９項　工事日報の提出

請負人は、工事の作業内容・職種別人員数・搬入材料・天候等を記入した報告書を毎日作成し監督員の指示に従い提出する。

第 10 項　工場検査

本工事に使用の主要機器は工場で製作完了後、監督員立会いの上、工場検査を受け合格しなければならない。

本検査では、外観・寸法・組立加工等の構造検査及び各種性能試験を行う。

工場検査終了後、直ちに試験成績を提出すると共に、本設備の完成時に各機器の試験成績書をまとめて提出しなければならない。な

お、上記の工場検査に要する費用はすべて請負人の負担とする。

第 11 項　完成検査

一切の工事が終了した時、完成届を提出し完成検査を受け合格しなければならない。

検査を受ける時は、現場代理人及び各担当責任者は必ず立会い、検査に必要な器具及び人員を整え、検査が迅速かつ円滑に実施できるよう留意しなければならない。検査不合格の場合は完成期間内に手直しを行い再検査を受けなければならい。

第 12 項　写真撮影

請負人は、請負人の費用をもって施工前・施工中及び完成の状況を写真撮影し、本設備の完成時に他の提出書類と同時に提出する。

第 13 項　その他

１．　工事施工に当り、他の占用物件・構造物並びに地下埋設物に接近して掘削する時は、事前に監督員に立会いを求め相当の防護を施すこと。

もし損傷を与えたり、又便宜上監督員の承認を得て一時取り壊した場合も、請負人の費用で原形に復旧し監督員の検査を受けなければならない。

２．　工事場所に於ては道交法に基づく道路標識制札危険防止柵仮道板並びに警戒灯を設け、夜間は赤色灯を点じて交通事故を防止すること。

３．　工事現場より発生する材料・その他有価物で監督員の指示するものは請負者の費用で指定場所に運搬する。

4．　工事施工で道路又は私有地を使用する場合は、道路管理者又は地主にその使用に関する手続を行い、仮設備・標識・夜間点灯・用地補償等、全て請負人の負担で処理しなければならない。

5．　工事用動力及び工事用水の全ては請負人の負担とする。

6．　請負人は工事に支障を及ぼす天災事故、その他についてその責に帰することが出来ない理由により工期内に工事を完成すること出来ない時は、管理者に遅滞なく、その理を付し工期の延長を求めることが出来る。

但し、その延長日数は双方協議して定める。

7．　本仕様書及び特記仕様書に規定していない事項は、下記の仕様書・示方書基準に準拠して施工する事。

(a) 日本工業規格　（ＪＩＳ）
(b) 下水道施設設計指針と解説　（日本下水道協会）
(c) 下水道維持管理指針　（　〃　）
(d) コンクリート標準示方書　（土木学会）
(e) 建築工事共通仕様書　（公共建築協会）
(f) セメントコンクリート舗装要綱　（日本道路協会）
(g) アスファルト舗装要綱　（　〃　）
(h) アスファルト舗装工事共通仕様書　（　〃　）
(I) 土木工事等共通仕様書　（農林水産省農村振興局）

第２章　　一般施工

第１項　通　則

１）一　般

１．　工種により監督員が指示した場合は、設計図・承諾図・説明書等を提出して承諾をうけなければならない。

２．　既存の構造物、その他で撤去取り壊し等をするものの内、監督員が記録保有の必要を認めた場合は、現況を写真撮影・測量等をなした後、監督員の承認を受けて工事を施工しなければならない。

３．　構造物は全て、基礎工又は下部工が終了した後、監督員の検査を受け、写真撮影をした上でなければ築造してはならない。

４．　構造物は必ずやり形及び定規を設け、監督員の検査を受けた後、施工しなければならない。

第２項　仮 設 工

１）仮設一般

１．　仮設工の設置及び構造はあらかじめ図示して監督員の承認を受けなければならない。

２．　監督員が仮設の必要箇所・構造・体裁等について指示した場合は、その施工を迅速にしなければならない。

３．　仮設構造物は、工事施工中の各段階に作用する応力に十分耐えられるものとし、特に接続部・交差部・支承部は弱点とならないよう入念に施工しなければならない。

第３章　　機械設備

第１項　承諾図の提出

請負人は、指定期間内に製作施工承諾図を提出し監督員の承諾を受けた後、製作又は施工しなければならない。

承諾図の提出種類は下記による他、必要に応じて監督員が指示する。

①　設備一般配置図（平面図・断面図）
②　機械一覧表（名称・形式・仕様・メーカー名・台数等）
③　機器外形図
④　機器構造断面図
⑤　動作機構説明図
⑥　架台及び基礎図
⑦　配管系統及び布設図
⑧　想定特性曲線図（ポンプ・送風機等）
⑨　塗装仕様書
⑩　附属品・予備品リスト（保守用器具を含む）

第２項　関連工事との取合

請負人は重要な箇所の実測を行うものとし、関連工事との取合工事部分については充分協議の上、施工にかかるものとする。

第３項　準拠法令

本設備に含まれる機器及び装置で、下記の法令の規制を受けるものは全てこれを遵守し、監督官庁に対して必要な申請手続等は全て

請負人が遅滞なく代行しなければならない。尚、申請手続及び検査に必要な経費は全て請負人の負担とする。

① 労働基準法及び関係法規
② 消防法及び関係法規
③ 公害対策基本法及び関係法規
④ 水道条令及び同施工規定
⑤ その他関係法規

第４項　準拠規格

① 日本工業規格
② 日本水道協会規格
③ その他現行国内規格

第５項　機　器

(1) 各機械装置の形式・性能・その他の詳細は特記仕様によるが、何れも耐環境性に優れ、構造が堅牢で合理的な機構を有し、長期にわたる苛酷な使用条件に対しても高度の機能と信頼性を保持し、総合運転効率の高いものでなければならない。
(2) 機械装置の細部構造については、原則として請負人の創意工夫を認めるが、運転保守の便宜上既設機器と同一機種のものを納入する様、指示する場合がある。
(3) 同種の要素部品は極力互換性を有する様考慮し、かつ分解組立の容易な構造とする。ボルト締結部は適正締付力及び止めについて充分留意しなければならない。

第６項　工　作

(1) 溶接継手は下記の事項に留意して施工しなければならない。

イ．　突合せ溶接は、原則として片面突合せ溶接を行なうものとする。

ロ．　すみ肉溶接は、原則として連続溶接とし又継手の両側を溶接しなければならない。

ハ．　溶接部には、孔・ビードの不整・ひずみ・アンダカット及びオーバーラップ等の有害な欠陥があってはならない。

又、スケール等は必ず落しておくものとする。

（2）　鋳造品は下記の事項に留意したものでなければならない。

イ．　均一な肉厚・こう配のある肉厚であること。

ロ．　鋳巣・き裂・鋳ばり・残留応力等の有害な欠陥がなく、鋳肌が滑らかであること。

第７項　圧力計・真空計

（1）　目盛板外径 100φで平等目盛を標準とし、必要なものには設定点使用範囲を目盛板に色別する。

（2）　圧力計真空計及び連成計は、原則として JIS B 7507「ブルドン管式圧力計」の 1.5 倍級とし、コックには大気開放の孔を設けたものとする。

（3）　圧力計の最大目盛は使用点圧力の３倍以下、正常運転において成りうる最大圧力の 1.5 倍以下とする。

第８項　附属品

各機械装置には特に指定のない場合でも、その機能上当然と思われる附属品の他、運転保守上及び保守上必要な附属品を具備しなければならない。

第９項　予備品

予備品は設計書に指定されているものを納入する他、特に指定のないものであっても正規の運転状態において１カ年以内に消耗すると思われるもの１カ年分を供給し、その請負人において運転管理上必要と認めるものは全て納入しなければならない。予備品は長期の保守に適する様厳重に包装し、内容品の種類及び数量を明示する他、必要なものは保管上注意事項を記載しなければならない。

第 10 項　配　管

(1)　鋼管は JISG 3452「配管用炭素鋼鋼管（ガス管）」〔 SGP（　白　）〕及び JISG 3459「配管用ステンレス鋼鋼管」〔SUS 304〕を使用するものとする。

(2)　塩ビ管は JISK 6741「硬質塩化ビニール管（一般管）」（VP）及び JWWAK 1118「耐衝撃性硬化塩化ビニール管（HI）」を使用するものとする。

(3)　鋼管継手は下記のものを使用する。

イ.　ガス管のネジ継手は JISB 2301「ねじ込み式可鍛鋳鉄製管継手(白）」とする。

ロ.　ガス管の溶接継手は JISB 2304「一般配管用鋼製突合せ溶接式管継手(白）」とする。

ハ.　溶接フランジは JISB 2221～2224「鋼管さし込み溶接式フランジ」の並形フランジとする。

ニ.　ネジ込み式フランジは JISB 2211～2222「鉄鋼管式フランジの基準寸法」に基いた並形フランジとする。

(4)　塩ビ管継手は、JISK 6743 （TS 継手）及び JWWA K 1119（H

Ｉ継手）とする。

(5)　鋼管加工法は下記によるものとする。

溶接フランジは内外共溶接すること。

エルボ・チーズなどの異径管に溶接フランジを取付ける場合は、原則として管径の 60%相当長さの首管を溶接すること。

(6) フランジ締付用ボルトナット

ボルトナット類は、原則としてフランジ材質に合せるものとする。

(7) パッキン材

イ．　パッキン材は流体の種類・圧力・温度等、それぞれ使用目的に適した材料及び形状を選定使用すること。

ロ．　ゴムパッキンを使う場合は、クロロブレンゴム厚さ３㎜を標準とする。

(8) 弁　類

弁類は、特に指定のない場合は次の仕様による。

イ．下水用・処理水用・汚泥用……外ネジ式仕切弁（FC 製・要部 SUS 製）

ロ．空気用……外ネジ式仕切弁（FC 製又は BC 製）

(9) 配管支持金具

露出配管は管列整然と布設し、支持金具を介して造営物に堅固に取付ける。支持金具は流体の遠心力や衝撃力により管路が振動しない様、強固に支持しなければならない。

第 11 項　据付工事

(1) コンクリート斫り

イ．　据付に伴なう駆体コンクリートの補設・斫り及び復旧は、

特に指定のない限り請負人の負担で行ない、コンクリートの斫りかすは場外の処分地まで搬出しなければならない。尚、復旧は原形復旧を原則とする。

ロ．　壁面・その他斫りケ所の状況により上記の方法によりがたい場合は補修・モルタル・塗料の色合せを厳密に行ない、在来壁面とつらいち仕上げ又は額縁仕上げにより体裁よく施工しなければならない。

(2) コンクリート基礎

イ．　機器基礎用のコンクリートには生コンクリート(σ28＝21 N/mm^2)又は手練りコンクリート(ポルトランドセメント 340kg 使用)を用いること。

ロ．　シンダーコンクリート上に設置する機器の基礎は、シンダーコンクリートを斫り取り躯体コンクリート上に打設する。

ハ．　基礎表面にはモルタル仕上げ（配合 1：2 厚さ 20mm）を施す。

(3) 据　付

イ．　機器の据付に当っては、水平垂直に芯出し調整を行ない、セメントモルタルを硬練りにして充分突き固めて固定する。

基礎ボルトの完全締め付けは、モルタルが完全に硬化してから締め付ける。

ロ．　機器の据付に使用するライナーは全て機械切りした、かえり・さび等のない良質の新品を使用しなければならない。

芯出しに使用した金くさびは、全て最終的に取替えて固定する。

ハ．　ライナーと直接接触するコンクリート面は、平滑に仕上げて接触面の当りを良くしておく。

ニ．　コンクリート基礎に機器を据付ける場合は、コンクリー

ト打設後７日以上経過した後でなければならない。

第 12 項　塗　装

（1）一般事項

イ．　工場製作の機器で現場塗装できるものは、原則として工場検査合格後工場では下塗り２回のみを行い、以後の塗装は現場で据付完了後に行なう。

ロ．　工場で下塗り塗装を行なっている機器の現場塗装にあたっては、据付期間中に付着したゴミ・油等を清掃除去し、損傷部発錆部の補修塗りを行なう他、下塗り後、規定期日以上経過しているものについては全面にわたりペーパーがけ等による素地調整を行なってから塗装しなければならない。

ハ．　現場塗装にあたっては、塗装ケ所の周囲の防護を行ない、周囲を汚損してはならない。

ニ．　塗装には、ハケ目・流れ・シワ・ムラ・フクレ・ワレ・ピンホール等の有害な欠陥があってはならない。

（2）塗装色別時の事項

イ．　バルブのハンドルの色は、原則として配管色に合せる。

ロ．　塗装色は、監督員に色見本を提出し決定する。

第４章　　電気設備

第１節　総　則

第１項　法令及び準拠基準等

本設備の施工に当たっては、本一般仕様書の他、下記の法令・基準及び仕様書に従い、誠実にして、かつ、完全に施工すること。

（1）電気事業法
（2）電気設備技術基準
（3）内線規程
（4）電気通信事業法
（5）電気通信事業法施工令
（6）電力会社供給規程
（7）建築基準法
（8）消防法並びに労働安全衛生法
（9）日本工業規格（ＪＩＳ）
（10）電気規格調査会標準規格（ＪＥＣ）
（11）日本電機工業会標準規格（ＪＥＭ）
（12）農業集落排水施設設計指針
（13）その他関連法令・条例及び規格

第２項　申請及び手続き

工事施工に必要な関係諸官公庁・その他電力会社等に対する申請及び諸手続きは、 監督員の承諾を得てから請負者の負担において迅速に行わなければならない。

関係諸官公庁・その他電力会社等に交渉を要する時又は交渉を受けた時は、遅延なくその旨を監督員に申し出て協議するものとする。

第３項　公害の防止

請負人は、工事の施工に当たって付近の居住者に迷惑のかからぬよう公害の防止に努めなければならない。

第４項　安全衛生

１．　請負者は、工事の施工に当たって常に細心の注意を払い、労働安全衛生法等を遵守し、公衆及び従業員の安全を図らなければならない。

２．　工事中は所用の人員を配置し、現場内の整理・整頓及び保安に努めなければならない。

３．　重要な工作物に近接して工事を施工する場合は、あらかじめ保安上必要な措置・緊急時の応急措置及び連絡方法等について監督員と協議し、これを厳守しなければならない。

４．　火薬・ガソリン等の危険物を使用する場合には、保管及び取り扱いについて関係法令の定めるところに従い、万全の方策を講じなければならない。

５．　工事現場に工事関係者以外の立ち入りを禁止するため、監督員と協議の上、その区域に適当な柵を設けると共に、立ち入り禁止の標示をしなければならない。

６．　豪雨及び台風等出水の恐れのある場合は、請負者は昼夜の別なく所用の人員を現場に待機させると共に、応急措置に対する準備をしておかなければならない。

７．　工事現場の秩序を保つと共に、火災・盗難等の事故防止に

必要な措置を講じなければならない。

第５項　資　格

資格を必要とする作業は、それぞれの資格を有する者が施工しなければならない。

第６項　施設の保全

施設を汚染又は損傷した時は速やかに監督員に報告し、請負者の責任で復旧しなければならない。

第７項　工事対象物の管理

工事が完了し引渡し完了まで、工事対象物の管理責任は請負者とする。

第８項　工事終了後の処理

工事が完成した時、請負者は速やかに不用材料及び仮設物を処分もしくは撤去し、清掃しなければならない。

第２節　機　器

第１項　共通事項

１．配電方法

配電方法は、図面及び特記仕様書に示す通りとする。

２．付属品

（1）　各機器の付属品は、この仕様書及び特記仕様書に記載さ

れているものの他、請負者において運転上必要と認めるものは全て付属すること。

(2) 付属品は、長期間の保存に適するよう厳重に包装し、付属品リストには内容品の種類及び数量を注記する他、保管上の注意事項を明記すること。

(3) 特記仕様書に記載していない部品であって１ケ年以内に消耗すると思われるものは、１ケ年分を納入すること。

３．塗　装

(1) 機器の塗装は鉄部分を十分下地処理した後、下塗り２回、中塗り１回、仕上げ塗り２回を施す事。

(2) 塗装色は、特記仕様書に指定するものの他は下記を基準とする。

屋内機器外面	５Ｙ 7／1
屋外機器外面	５Ｙ 7／1
配電盤内面	５Ｙ 7／1
取り付け計器枠	Ｎ　１．５
スイッチのハンドル類	Ｎ　１．５
工業用計器	メーカー標準

第２項　取引用計器盤

１．　盤は鋼板製閉鎖形を原則とし、取り付け機器の配置は読み取り、保守に便なるよう合理的に配置をすること

２．　盤構成部の板厚は次の通り。

構　成　部	鋼 板 の 厚 さ	
	低　圧	高　圧
側　面　板	2.3㎜以上	同　左

底　　板	2.3mm 以上	同　左
屋　根　板	2.3mm 以上	同　左
天　井　板	2.3mm 以上	同　左
仕　切　板	1.6mm 以上	同　左
扉　　板	2.3mm 以上	同　左

3．　充電部には容易に触れる恐れのない構造とすること。

4．　盤の表面に出る各銘板は、合成樹脂製コチック裏彫刻とし、その取り付けはステンレス又はプラスチックのボルトによる取り付けとする。

第３項　低圧配電盤

1．　盤は鋼板製閉鎖形を原則とし、取り付け機器の配置は運転操作・点検保守に便なるよう合理的に配置をすること。

2．　盤構成部の板厚は次の通り。

構　成　部	鋼 板 の 厚 さ
側　面　板	2.3mm 以上
底　　板	2.3mm 以上
屋　根　板	2.3mm 以上
天　井　板	2.3mm 以上
仕　切　板	1.6mm 以上
扉　　板	2.3mm 以上

3．　盤に取り付ける機器については予め使用メーカーリストを作成し、承認図と共に提出し承認を受けなければならない。

4．　内部取り付け機器には、分かり易い位置に図面と一致した名称又は記号を記入すること。

５．　各端子への接続線は、マークバンドによりその接続先を確認できること。

６．　盤内には、点検用図面を適当なホールダーに入れて取り付けること。

７．　ケーブルサポートを必要に応じて設けること。

８．　充電部には、容易に触れる恐れのない構造とすること。

９．　盤内照明を設けること。器具は 20Wの蛍光灯とし、列盤の場合は各盤毎に設けること。点滅は盤扉につけたドアースイッチによること。

10.　盤の表面にでる各銘板は合成樹脂製コチック裏彫刻とし、その取り付けは両面テープによる張り付けとする。

11.　動力電線はＩＶ２sq 以上で動力容量に見合ったものとし、制御用電線はＩＶ1.25sq 以上とする。

第４項　照明器具

１．白熱灯

（1）形　　状　　図面による。

（2）電　　圧　　100Ｖ

２．蛍光灯

（1）形　　状　　図面による。

（2）電　　圧　　100Ｖ

（3）形　　式　　高力率形とし 40W以上は瞬時点灯式とする。

３．水銀灯

（1）形　　状　　図面による。

（2）電　　圧　　100Ｖ

（3）形　　式　　高力率形とする。

第５項　計測設備機器

１．一般事項

（1）電　　源　　ＡＣ100Ｖ　60Hz
ＡＣ 24Ｖ　60Hz
ＤＣ 24Ｖ
を標準とする。

（2）信　　号　　ＤＣ４～20ｍＡ
ＤＣ１～５Ｖ
を標準とする。

（3）避　　雷　　屋外に設置する計装の統一信号ライン及び電源ラインには、誘導雷防止装置を設けること。

（4）防　　食　　腐食が予想される場所に設置する機器には、耐酸性・耐アルカリ性の塗装を施したものを使用すること。

（5）付 属 品　　図面又は特記仕様書による。

２．電磁流量計

仕　　様　　発信器変換器一体型
材　　質　　管内面　テフロンライニング
電　　極　　SUS316
取付方法　　挟み込み式
精　　度　　±１％ＦＳ

３．フロート式液位計

出力信号　　１Ｃ接点出力
材　　質　　ＰＶＣ
付 属 品　　専用リレー
そ の 他　　動作点・測定対象条件は特記仕様書による

４．ＰＨ計

型　　式　　浸漬型（ガラス電極）

材　　質　　接続部　SUS316

洗浄方法　　機械式ブラシ洗浄

そ の 他　　測定対象条件は特記仕様書による

5．溶存酸素計

形　　式　　ガルバニックセル方式

測定範囲　　特記仕様書による

付 属 品　　アンプユニット

そ の 他　　測定対象条件は特記仕様書による

6．ＣＯＤ計

形　　式　　紫外線吸光度方式

測定範囲　　０～1.0Ａbs

付 属 品　　アンプユニット

そ の 他　　測定対象条件は特記仕様書による

7．指示計

形　　式　　可動コイル式

形　　状　　広角度型

精　　度　　±1.5%

取付方法　　パネル取り付け

8．記録計

形　　式　　ハイブリッド型

精　　度　　±0.5%

記録方式　　熱転写式

チャート　　折り畳み式

取付方法　　パネル取り付け

9．自動警報通信装置

特記仕様書による

第３節　材　料

第１項　電線及びケーブル類

特に指定ない限り下記を使用の事。

１．電力ケーブル

架橋ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル

ＣＶケーブル　　－２□以上

ＣＶＴケーブル　　－２□以上

２．制御用ケーブル

制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル

ＣＶＶ　　－２□以上

３．接地用電線

ビニル絶縁電線

ＩＶ　　－1.6㎜以上

４．計装用信号線

静電遮へい制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル

ＣＶＶＳ　　－２□以上

５．照明回路用電線

ＩＶ　　－1.6㎜以上

６．コンセント回路用電線

ビニル絶縁電線

ＩＶ　　２㎜以上

第２項　電線管

特に指定ない限り下記を使用の事。

１．コンクリート床打ち込み

厚鋼電線管

耐衝撃性硬質ビニル電線管

２．地中埋設

波付硬質ポリエチレン管

３．その他

薄鋼電線管

硬質ビニル電線管

４．機器取り付け部分

二種金属製可とうビニル被覆電線管

５．電柱立ち上がり・構造物立ち上がり

ポリエチレンライニング厚鋼電線管

第３項　プルボックス

１．構　造

(1)　プルボックスは、鋼板製又はビニル製とする。

(2)　鋼板製プルボックスは、溶融亜鉛メッキ又は金属面の汚れ付着物及び油類を除去し、錆止め塗料調合塗料で仕上げること。

(3)　プルボックスプレートの止めネジは、鋼板製にあってはＳＵＳ製、ビニル製にあってはビニル製とする。

(4)　鋼板製プルボックスには、接地端子を設けること。

第４項　ケーブルラック

１．　ケーブルラックはケーブルの重量に十分耐えるものとし、たわみ等が生じない構造とする。

２．　ケーブルラックの本体は、十分な強度を有するアルミ合金

製又は鋼製とすること。

3．　ケーブルラックの子桁の間隔は、アルミ合金製は 250㎜ 以下、鋼製は 300㎜ 以下とすること。

4．　ケーブルラックを構成する親桁と子桁の接合は、ボルト・リベット又は溶接等により行うこと。

5．　ケーブルラックの屈曲部及び分岐部の寸法は、収容ケーブルの屈曲半径が外径の 10 倍以上となるように選定すること。

6．　ケーブルラックの終端部及び自在屈曲部には接地端子を設けること。

第５項　ケーブルダクト

1．構　造

(1)　金属ダクトは、全て 2.3㎜ 以上の鋼板又は 2.0㎜ 以上のアルミニウム合金板を使用すること。

(2)　本体断面の長辺が 400㎜ を超えるものは補強材を設けること。

(3)　本体内部にはケーブルを損傷するような突起物を設けないこと。

(4)　金属ダクトには、ステンレス製又はアルミ製のビス止めふた付き点検口を必要に応じて設けること。

(5)　ダクトの屈曲部の大きさは、収容ケーブルの屈曲半径が外径の 10 倍以上となるように選定すること。

(6)　ダクト内部に電線・ケーブルを支持する金具を取り付けること。

2．　金属ダクトの大きさは、ケーブルの断面積の総和がダクト断面積の

20%以下、制御回路等の配線のみを収める場合は 50%以下となるよう選定する。

3．　金属ダクトの製作にあたっては製作承諾図を提出し、監督員の承諾を受けた後製作すること。

第４節　施　工

第１項　概　要

工事は関係法規に準拠し、電気的・機械的に安全かつ美麗にして耐久性に富み、保守点検が容易なように施工すること。

第２項　位置の決定

機器の据え付け及び配線経路の詳細な位置の決定については、施工設計図の承認申請書を提出の上、監督員の指示を受けること。

第３項　防湿・防食・防爆

湿気・水気の多い場所、腐食性ガス、可燃性ガスの発生する場所等に施工する機器並びに配線は、その特殊性に適合する電気的接続・絶縁及び接地工事を行った上、所定の防湿・防食及び防爆処理を施さねばならない。

第４項　機器の据付

１．自立型配電盤の据付

(1)　コンクリート基礎に据え付ける機器盤類は、コンクリートの養生を十分に行った後堅固に据え付けるものとする。尚、監視室以外に使用するアンカーボルトはＳＵＳ製とする。

(2)　屋外地上に機器・盤類を据え付ける場合は地盤に応じた基礎構造とし、コンクリート部分は地上から 20㎝ 以上の基礎とすること。

(3)　コンクリート床面に機器・盤類を据え付ける場合は 10㎝

以上の基礎とすること。

(4) 監視室に据え付ける場合

① 列盤になるものは、各盤の前面の扉が一直線に揃う様ライナーで、調整の上アンカーボルトでチャンネルベースを固定すること。

② ①のライナーは、床仕上げ後外面から見えないようにすること。

③ 盤内収納機器を引き出す場合、引出用台車のレールと盤内レールが一致するよう据付けること。

④ チャンネルベースと盤本体は、ボルトにより堅固に固定すること。

(5) 現場機器付近のコンクリートスラブ上に据付ける場合

① 前号（3）による他、基礎の横巾及び奥行寸法は、盤のそれぞれ左右・前後に 10cm づつとすること。

② コンクリートを打つ場合は、スラブ面の目荒しを行うこと。

(6) 屋外地上に据付ける場合の基礎は、前号（3）による他、図面又は特記仕様書によること。

2．現場操作盤（スタンド形）の据付

(1) コンクリートスラブ上に据付ける場合は、前項（3）によるコンクリート基礎を設け、基礎の寸法は 40cm 以上 70cm 角未満を標準とする。

(2) 屋外地上に据付ける場合の基礎は、前項（2）による他、図面又は特記仕様書によること。

3．その他

(1) 分電盤・操作盤等で長さ１m以下のものは床上 1.1mを盤の下端とし、盤の長さ１m以上のものは床 1.5mを盤の中

心とし、壁面と盤本体が直接触れないように取り付けることを原則とする。

(2) 配電箱・カバー付きナイフスィッチ・電磁開閉器・操作箱等の小形器具類は、床上1.5mを器具の中心とすること。

(3) 地下及び水気の多い場所のコンセントは、床上約１ｍを器具の中心とする。

(4) 器具の取付けに際し、構造物にはつり及び溶接を行う場合は、監督職員の指示を受けた後施工し、速やかに補修すること。

第５項　計装機器の据付

１．　据付けの位置・据付け方法は図面及び特記仕様書による他、次の事項に留意して機器の機能が十分発揮できるよう据付けのこと。

（1）　検出端と発信器・変換器相互の接続は極力短い距離で行うこと。

（2）　機器は、機械的振動を受ける場所に据付けてはならない。やむを得ず据付ける場合は、防振処置を行うこと。

（3）　機器を高温の雰囲気や放射熱を受ける場所に取付ける場合は、しゃ熱板や断熱材等を用いて防護すること。

（4）　寒冷地区に設ける機器で、凍結等により機能に支障をきたす恐れのある場合は、電熱ヒータ・保温材等を用いて防護すること。

（5）　検出端と発信器は、機器に応じた正しい位置関係を保ち据付けること。

（6）　据付けに際しては、機器本体に溶接・切断等の加工を行ってはならない。

（7）　電磁流量計等、配管途中に挿入する機器は、配管の応力がかからないよう据付けること。

（8）　電磁流量計の直管上流長は５Ｄ以上、下流長は５Ｄ以上確保すること。

第６項　配線工事

１．端末処理等

（1）　高圧ケーブル及び公称面積 14 ㎟以上の低圧ケーブルの

端末処理は、ＪＣＡＡ又はＪＣＭＳ規格の材料を用いて行うこと。

また 14 ㎜^{2}未満の低圧ケーブルは、テーピングによる端末処理を行うこと。

尚、機器類側の接続端子等の条件からＪＣＡＡ規格の端末処理材を使用することが困難な低圧ケーブルは、監督職員の承諾の上、他の方法で端末処理することができる。

(2) 制御ケーブルの端末処理はテーピングにて行うこと。

(3) 機器類の各端子へのつなぎ込みは圧着端子で行うと共に、ケーブルにはケーブル記号を記したバンド又は札をシースに取りつけること。

(4) 動力ケーブルの各心線は相色別を行うこと。

(5) 制御ケーブルの各心線には、端子記号と同じマークを刻印したマークバンドを取付けること。

２．直線接続

ケーブルの直線接続は行ってはならない。但し、施工上困難な箇所については、監督職員の指示により行うこと。

３．ケーブルと機器の接続

(1) 配電盤に引込むケーブルは適切な支持物に堅固に固定し、接続部に過大な応力がかからないようにすること。

(2) 閉鎖形配電盤はケーブル引込み後、開口部をクリート・パテ等でふさぎ防湿・防虫処理を行うこと。

４．電路とその他のものとの離隔

(1) 低圧ケーブル又は低圧ケーブルを収納した電路は、弱電流電線等と接触しないように施工すること。

(2) 低圧ケーブルと弱電流電線を同一金属ダクト・ケーブルラック・ケーブルピットに収納して配線する時は、隔壁を設

けること。

５．その他

建造物の伸縮部分を渡って設置する電線管・ケーブルラック・金属ダクト等は、伸縮を考慮すること。

第７項　金属管工事

１．隠ぺい配管の布設は下記によること。

(1)　予備配管には 1.2 ㎜以上のビニル被覆鉄線を入れておくこと。

(2)　通線する場合には潤滑材として、絶縁被覆をおかすものを使用してはならない。

(3)　通線は通線直前に管内を十分清掃し、なるべく天井・壁の仕上塗りが乾燥してから行う。又、通線に際して電線が破損又は汚れないように十分養生しながら通線すること。

(4)　管の埋込み又は貫通は、監督職員の指示に従い建造物の構造及強度に支障のないように行うこと。

(5)　管の曲げ半径は管内径の６倍以上とし、曲げ角度は 90 度を超えてはならない。

又、１区間の屈曲箇所は４箇所以内とし、曲げ角度の合計は 270 度を超えてはならない。

(6)　管を造営材に取付けるにはサドル又はハンガなどを使用し、取付け間隔は２m以下とする。但し、管端・管相互の接続点及び管とボックスとの接続点では、接続点に近い箇所で固定すること。

(7)　コンクリート埋込みとなる管路は管を鉄線で鉄筋に結束し、コンクリート打込み時に容易に移動しないようにする。ボックス・分電盤の外箱等は型枠に堅固に取付ける。尚、ボ

ックス・分電盤の外箱等に適合する仮枠を使用する場合は、ボックス・分電盤の外箱等を取付けた後、その周囲にモルタルを充てんすること。

（8） 管の１区間が 30mを超える場合又は技術上必要とする箇所には、プルボックスを設けること。

（9） ボックス類は、造営材・その他に堅固に取付ける。尚、点検できない箇所に施設してはならない。

（10） 管の切り口は、リーマ等を使用して平滑にすること。

２．露出配管の布設は下記による。

（1） 露出配管は天井又は壁面に沿って布設し、立上げ又は引下げる場合はパイプシャフト・その他壁面に沿って布設すること。

（2） 管を支持する金物は鋼製で、管数・管の配列及びこれを支持する箇所の状況に応じたものとする。

（3） プルボックスは原則として、スラブ・その他の構造体から吊り下げて取付けること。

（4） 管を支持する金物は、スラブ・その他の構造体に堅固に取付けること。

（5） 管を施設する場合は原則として、サドル又はハンガ等で堅固に支持し、かつ、その間隔は２m以下とする。

（6） その他は前項に準ずる。

３．管の接続は下記によること。

（1） 管相互の接続はカップリングを使用し、ねじ込み・突合せ及び締付けは十分に行う。

（2） 管とボックス等の接続がねじ込みによらないものには、内外面にロックナットを使用して接続部分を締付け、管端には絶縁ブッシング又はブッシングを設けること。

(3)　管を送り接続とする場合は、カップリング及びロックナットを使用する。

(4)　接地を施す配管（ケーブル収納の場合を含む）は、管とボックス間にボンディングを行う。但し、ねじ込み接続となる箇所及びねじなし丸形露出ボックス・ねじなし露出スイッチボックス等に接続される箇所には省略してよい。

(5)　ボンディングに用いる接続線は 2.0 ㎜以上の軟銅線を使用する。

　その接続は監督職員の承諾を得た場合を除き、無はんだ接続とすること。

(6)　湿気の多い場所又は水気のある場所に施設する配管は、監督職員の指示により防湿又は防水処置を施すこと。

４．配管の養生及び清掃は下記による。

(1)　管に水気・じんあい等が浸入し難いようにし、コンクリート打ちの場合は、管端にパイプキャップ又はプッシュキャップ等を用いて十分養生すること。

(2)　管及びボックスは、コンクリート打ちの場合は型枠取はずし後、速やかに管路の清掃・導通調べを行うこと。

第８項　合成樹脂管工事

１．　いんぺい配管の布設は、前項１．の(1)・(2)、(7)～(10)による他、下記によること。

(1)　管を造営材に取付けるにはサドル又はハンガ等を使用し、その取付間隔は 1.5m以下とする。但し、管端・管相互の接続点及び管とボックスとの接続点では、それらに近い箇所で管を固定する。

　尚、温度変化による伸縮等の影響を受ける場所に取付ける場合は、監督職員の指示によること。

(2)　管を加熱する場合は過度にならないようにし、焼けこげを生じないように注意すること。

２．　露出配管の布設は前１．及び前項２．の(1)～(5)による他、下記によること。

　管を支持する金物の取付け間隔は 1.5m以下とする。但し、プルボックスと管との接続点に近い箇所では管を固定すること。

３．管の接続は下記による。

(1)　管及び付属品は機械的に完全に連結する。但し、伸縮カップリング部分はルーズ接続とすること。

(2)　管相互の接続は原則としてＴＳカップリングによって行う。

　尚、この場合はＴＳカップリング用の接着剤をむらなく塗布して完全に接続すること。

(3)　管とボックスとの接続は原則としてハブ付ボックスによるか又はコネクタを使用し上記に準じて行うこと。

(4)　コンクリート埋込み以外の管路は、必要な箇所に伸縮カ

ップリングを使用して接続すること。

(5) 湿気の多い場所及び水気のある場所における接続は、接着剤を用いて特に防湿・防水に注意すること。

(6) 配管の養生及び清掃は前項４．による。

第９項　可とう電線管工事

１．管の布設は下記によること。

(1) 可とう電線管及び付属品相互は、機械的・電気的に完全に連結し、かつ、造営材に堅固に取付けること。

(2) 管の曲げ半径は管内径の６倍以上とし、管内の電線が容易に引き替えることができるように布設すること。但し、やむを得ない場合は、監督職員の承諾を受けて管内径の３倍以上とすることができる。

(3) 管を造営材に取付けるには一般にサドル又はハンガ等を使用し、取付け間隔は１m以下とすること。尚、管端・管相互の接続点及び管とボックスの接続点では、それらから 0.3m以下で管を固定する。但し、垂直に布設し人の触れる恐れのない場合及びやむを得ない場合は、２m以下とすることができる。

(4) ボックスとの接続には、適当なコネクタを使用し堅固に取付けること。

(5) 可とう電線管を他の金属管等と接続する場合は、適当なコネクタにより機械的・電気的に完全に連絡すること。

(6) 管の端口には、電線の被覆を損傷しないようにブッシング又はコネクタ等を使用すること。

第 10 項　金属ダクト工事

１．ダクトの布設は次によること。

(1)　ダクトは、内部にじんあい及び水分が浸入し難いようにすること。

(2)　ダクトの支持間隔は下表によること。

金属ダクトの支持間隔

本体断面の長辺の長さ〔㎜〕	支持点間の最大距離〔㎜〕
３００以下	２，４００
３００～６００	２，０００
６００以上	１，８００

２．ダクトの接続は下記によること。

(1)　ダクト相互及びダクトと配分電盤等の接続は、つき合わせを完全にし、ボルト等により機械的に堅固に接続する。又、ダクト相互間を除く他の部分は、軟銅線により電気的に完全に接続する。

その接続は、無はんだ接続とすること。

(2)　ダクト内から電線を外部に引出す部分は、金属管配線又は可とう電線管配線によること。

(3)　ダクトが床又は壁を貫通する場合は、貫通部分でダクト相互又はダクトとプルボックス等の接続を行ってはならない。

(3)　ダクトのふたに電線の重量がかからないようにすること。

(4)　ダクト内の電線は各回線ごとに一まとめし、電線支持物の上に整然と並べ、ほう縛材料で堅固にとめつけること。

なお、監督職員が指示する箇所には、各回線ごとにその回線の太さ・番号・用途・所属配分電盤等を明記したプラスチック製・ファイバ製等の名札を取付けること。

第 11 項　ケーブルラック工事

1．　原則としてケーブルラックの水平支持間隔は、鋼製で 1.8ｍ以下、アルミ製で 1.5m以下とする。又垂直支持間隔は３ｍ以下とする。

但し、直線部と直線部以外との接続点では、接続点に近い箇所で支持すること。

2．　ケーブルラックの支持金物は原則として亜鉛メッキを施したもので、ラック及びケーブルの自重・その他の荷重に十分耐え、かつ、横振れ防止等を考慮し堅固に施設すること。又、アルミ製ケーブルラックと支持物との間に電食を起こさないよう取付けること。

3．　ケーブルラックの吊りボルト及び支持金物取付用ボルト等はＳＵＳ製とすること。

4．　ケーブルラックの終端部にはケーブルラックエンドを設け、ラック本体相互間のジョイント及びエキスパンション等を考慮し、ボルト等により堅固に、かつ、電気的に接続すること。

尚、エキスパンションは原則として鋼製 30m、アルミ製で 15m間隔に設けること。

5．　ケーブルラックの終端部及びジョイント部又伸縮自在部並びに自在屈曲部には、ボンディグを行い電気的に接続すること。但し、アルミ製ケーブルラックのジョイント部は除く。

尚、ボンディグに用いる接続線の太さは 5.5 ㎜以上とする。

6．　ケーブルをラック上に配線する場合は整然と布設し、原則として水平部で２ｍ以下、垂直部で１ｍ以下の間隔毎支持する他、特定の子げたに重量が集中しないよう布設すること。

7．　ケーブルラック上に配線したケーブルの要所には、プラスチック製・ファイバ製等の名札を取付け、回路の種別・行先

等を表示すること。

8．　原則として高圧及び低圧ケーブルを同一ラックに布設してはならない。

9．　ケーブルラックにケーブル配線の種別表示をすること。

第 12 項　地中電線路工事

図面又は特記仕様書に記載のない場合は、監督職員の承諾を受けて適切な場所を選定すること。

1．　掘さくに際しては地下埋設物についてあらかじめ調査を行い、地下埋設物に損傷を与えてはならない。

2．　掘さくに際しては、土砂が崩壊する恐れがある時は土留めを行うこと。

3．　底面は、ガレキ等埋設管路に損傷を与えるものを取り除き、均一にすること。

4．　埋戻しは適当な水分を含んだ良質土により行い、均一に締固めること。

5．　マンホール・ハンドホールの位置・形状は図面又は特記仕様書によること。

6．　マンホール・ハンドホールは、たまり水を排除できるような構造であること。

7．　マンホールの壁には、ケーブル及び接続部を支える支持金物を堅固に取付け、支持金物には木製・陶製などの枕を設けること。

8．　深さ 1.4mを超えるマンホールを施設した時には、原則として昇降用タラップを設けること。

9．　トラフ及び管路等との接続部はモルタル等を用いて滑らかに仕上げ、ケーブルに損傷を与えない構造とすること。

10.　ハンドホール及びマンホールの首部で地表にでる部分は、モルタル仕上げを行うこと。

11. 地中ケーブル相互の離隔

（1）　下記の地中ケーブル相互間は相互に堅ろうな耐火質の隔壁がある場合を除き 30 ㎝以下に接近させてはならない。但し、マンホール・ハンドホールなどの内部ではこの限りではない。

ア．低圧ケーブル

イ．高圧ケーブル

ウ．特別高圧ケーブル

（2）　地中ケーブルと地中弱電流電線とは、相互に堅ろうな耐火質の隔壁がある場合を除き、低圧及び高圧ケーブルでは 30 ㎝以下に接近させてはならない。

12.　ハンドホール及びマンホール内では、ケーブル余裕をもたせること。

13.　監督職員の指示するハンドホール及びマンホール内の主ケーブルには、回路種別を明記したプラスチック製の名札を取付けること。

14.　ケーブルを建物屋外側又は電柱に沿って立上げる場合は、地下部分及び地表上 2.5mの高さまで適当な太さの電線管（厚鋼ＰＥ）などに収めること。

15.　地中電線路の要所には、その位置を表示するコンクリート標柱を設けること。

16.　地中配線には、標識シート等を２倍長以上重ね合わせて管頂と地表面のほぼ中間に設ける。尚、標識シートは使用目的に適合した表示の標準市販品で可とする。

第 13 項　建柱工事

図面又は特記仕様書に記載のない場合は、監督職員の承諾を受けて適切な場所を選定すること。

１．　電柱の根入れは、全長 15m以下の場合は根入れを全長の 1/6 以上、15mを超える場合は根入れを 2.5m以上とする。

２．　根かせは電柱１本に１本以上使用し、その埋設深さは地表下 30 ㎝以上とする。

但し地盤が軟弱な場合には、必要に応じ抱き根かせ・抱きねはじきを取付ける。

腕金取付け穴加工は防食処理前に行う。防食処理後に穴あけをしてはならない。

第５節　試験及び検査

第１項　共通事項

請負者は、第２節にかかげる試験及び検査並びに第３節にかかげる検査等に必要な材料・人員・その他必要とする仮設材料等を整え、試験及び検査が迅速、かつ、円滑に実施出来るように必要な体制を整えなければならない。本章にかかげる試験及び検査に要する費用は、請負者の負担を原則とする。

第２項　工場検査

１．　下記に示す機器類及びその他必要と認める機器類は、製作が完了した時、製作工場にて監督職員により製品（工場）検査（以下製品検査という）を受けなければならない。

製 品 等 名	検 査 基 準
閉鎖配電盤（低圧）	ＪＥＭ－1265，1321，1377
現場操作盤	ＪＥＭ－1265，1321，1377
監視制御盤、計装盤	ＪＥＭ－1318，1337，1377 ＪＥＣ－146，ＪＥＣ－114， ＪＥＭ－1377
電磁流量計	特記仕様書による

２．　事前に製品（工場）検査申請書（社内試験成績書等を添付すること）及び同検査方案書各３部を提出し、検査方案書については監督員の承諾を受けなければならない。

又、必要なものは公立又は権威ある試験所・その他の機関で実施した材料試験成績書及び検査合格書を提出しなければならない。

３．　工場検査終了後、遅滞なく製品検査報告書及び試験成績書２部を監督職員に提出すると共に、本設備工事完成時に各機器の試験成績書を完成図書にまとめて提出するものとする。

第３項　材料機器搬入検査

工事箇所に搬入する機器・材料については、機器材料搬入検査申請書を提出し、監督職員の指示による検査を受けるものとする。

第４項　現場試験

現場試験は、主として現場において施工される据付・組立・加工・調台等の部分について行う試験・検査であって、次の項目について行う。

１．　電気設備に関する技術基準を定める省令・内線規定その他

関係法令・規格等に抵触する箇所の有無。

2．　設計図書との相違の有無。

3．　材料及び機器の取付数・取付位置及び取付方法等の良否。

4．　保安上支障を生ずる恐れのある箇所の有無。

5．導通試験

監督職員の指示に従い、電線の断線及び誤接続の有無を調査する為、導通試験を行う。

6．接地抵抗

各接地箇所ごとに接地抵抗を測定すること。

7．絶縁試験

配線完了後、監督職員の指示に従い次の絶縁試験を工事箇所・工事種別毎に行うこと。

(1)　各配線に対する絶縁試験

電線相互間・電線と大地間の絶縁抵抗試験

開閉器で区分回路ごとに測定して 10MΩ以上、機器接続後の絶縁抵抗は２MΩ以上とする。

8．動作試験

前項の各試験終了後、次の試験を行うこと。

(1)　電圧の適否

(2)　電動機の回転方向・操作装置の良否・必要に応じて負荷試験

(3)　各機器の機能の良否

(4)　配線・分電盤・各機器等の過熱・漏電の有無

(5)　その他通電により不都合を生ずる恐れの有無

9．その他必要とする項目

組合せ試験及び総合試運転は特記仕様書により実施すること。

第５項　官庁検査

１．　工事対象物が電気事業法・その他関係法例に基づき監督官庁の使用前検査を要するものは、請負者の責において受検に協力する義務を負うものとする。

２．　受検にあたっては事前に必要な資料を準備すると共に、その順序・方法・人員配置及び分担等について十分打合せを行うこと。

　尚、受検当日の予定については、予め監督職員の指示によること。

平 成 24 年 度

農業集落排水事業(繰越)

別 府 中 処 理 施 設 機 能 強 化 対 策 工 事

積算数量の参考となる数量計算書

別　府　中　地　区

加　　西　　市

目　　次

1. 土　木　工　事（補助）

2. 機　械　設　備　工　事（補助）

3. 電　気　設　備　工　事（補助）

1. 土　木　工　事（補助）

処理槽改修工事　　数量集計表　　1／3

名　称	規格・区分	数量	単位	備考
（撤去・修復工事）				
劣化部除去工+断面修復工	(t=3)　床	37.65	m2	
劣化部除去工+断面修復工	(t=4)　床	6.56	m2	
劣化部除去工+断面修復工	(t=3)　壁	324.40	m2	
劣化部除去工+断面修復工	(t=4)　壁	85.94	m2	
劣化部除去工+断面修復工	(t=6)　壁	96.47	m2	
劣化部除去工+断面修復工	(t=8)　壁	88.78	m2	
劣化部除去工+断面修復工	(t=9)　壁	37.60	m2	
劣化部除去工+断面修復工	(t=12)　壁	26.54	m2	
劣化部除去工+断面修復工	(t=25)　壁	15.40	m2	
劣化部除去工+断面修復工	(t=6)　天井	27.60	m2	
劣化部除去工+断面修復工	(t=8)　天井	18.74	m2	
劣化部除去工+断面修復工	(t=9)　天井	30.84	m2	
劣化部除去工+断面修復工	(t=12)　天井	20.10	m2	
残塊処分工	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	4.63	m3	
残塊処分工（機械設備）	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	0.04	m3	
残塊処分工（電気設備）	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	0.01	m3	

（ 別府中地区 ）

処理槽改修工事　　数量集計表　2／3

名　称	規格・区分	数量	単位	備考
（防水工事）				
防水　ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗装	(1種)　床 下地処理なし	22.45	m2	
防水　ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗装	(2種)　床　下地処理なし	21.76	m2	
防水　ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗装	(1種)　壁 下地処理なし	55.94	m2	
防水　ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗装	(2種)　壁 下地処理なし	354.40	m2	
（防食工事）				
防食　ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗装	(2種)　壁　　下地処理なし	119.57	m2	
防食　ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗装	(3種)　壁　　下地処理なし	145.22	m2	
防食　ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗装	(2種)　天井　　下地処理なし	25.10	m2	
防食　ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗装	(3種)　天井　　下地処理なし	72.18	m2	
開口部廻りｼｰﾘﾝｸﾞ	切込み作業込み　15×15 蓋	171.50	m	

（ 別府中地区 ）

処理槽改修工事　　数量集計表　　3／3

名　称	規格・区分	数量	単位	備考
（仮設工事）				
内部足場工	枠組足場　H ＜ 4.0	1.00	床m2	
	枠組足場　H ≧ 4.0	447.16	掛m2	

（ 別府中地区 ）

土木付帯工事		数量集計表		1／2
名　称	規格・区分	数量	単位	計算書Ｎｏ
（更新）				
電動弁制御盤基礎				S-1
無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	18-12-25、生ｺﾝｸﾘｰﾄ(高炉B)、小型構造物	0.04	m3	
型枠工	小型構造物	0.15	m2	
鉄筋	D13×150L	6.00	本	
ｹﾐｶﾙｱﾝｶｰ	M12	6.00	本	
防塵塗装	ｳﾚﾀﾝ系　下地処理共	0.50	m2	

（ 別府中地区 ）

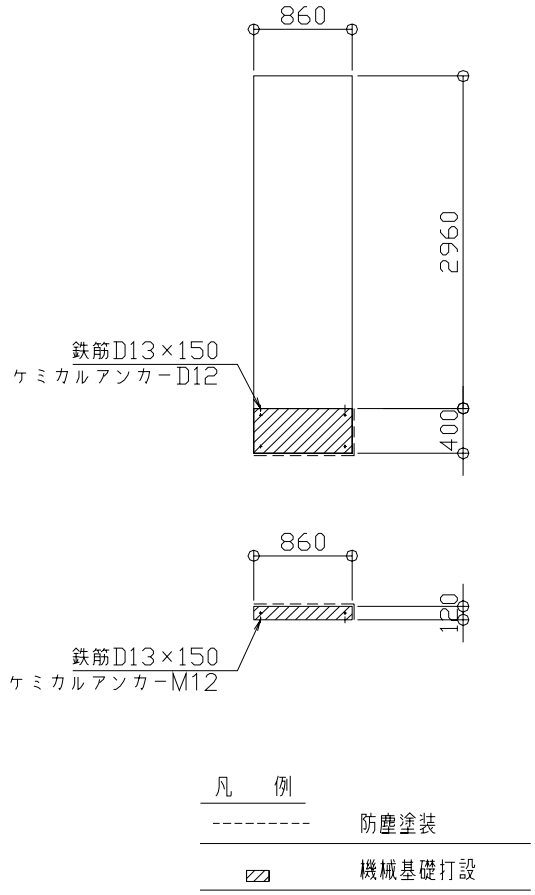
土木付帯工事		数量集計表		2／2
名　称	規格・区分	数量	単位	計算書Ｎｏ
（撤去）				
電動弁制御盤基礎				S-2
防塵塗装剥離		0.45	m2	

複合工計算書

加西市　別府中地区（更新）補助

No. S-1

項　　目	電動弁制御盤基礎	数量	1



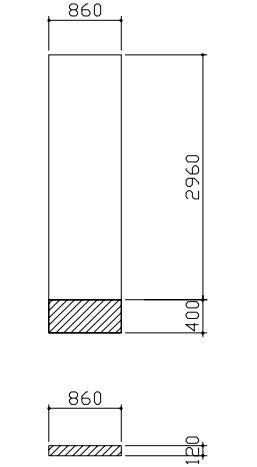
名　　称	規格	数量	計　　算	単位	計
無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	18-12-25	1	0.86×0.4×0.12	m3	0.04
型枠工	小型構造物	1	(0.86＋0.4)×0.12	m2	0.15
鉄筋	D13×150L	6	1×6	本	6
ｹﾐｶﾙｱﾝｶｰ	M12	6	1×6	本	6
防塵塗装	ｳﾚﾀﾝ系	1	(0.86×0.4)＋(0.86+0.4)×0.12	m2	0.50

複合工計算書

加西市　別府中地区（撤去）補助

No. S-2

項　目	電動弁制御盤基礎	数量	1



名　称	規格	数量	計　算	単位	計
防塵塗装剥離		1	(0.4×0.86)+(0.86×0.12)	㎡	0.45

別府中地区（改修）

数　量　集　計　表

※防水・防食工事	防水工事						防食工事												
		床	床		壁	壁	壁	壁		天井	天井								
		液相部	液相部		液相部	液相部	気相部	気相部		気相部	気相部								
処理槽名		防水1種 下地処理なし	防水2種 下地処理なし		防水1種 下地処理なし	防水2種 下地処理なし	防食2種 下地処理なし	防食3種 下地処理なし		防食2種 下地処理なし	防食3種 下地処理なし								
1 流入水路		0.91					3.32												
2 ばっ気沈砂槽		0.09			6.61		4.44												
3 砂溜槽		1.12					4.17												
4 破砕機移行水路		0.05					1.06												
5 バイパス水路		0.54					2.41												
6 流量調整槽		13.44					88.78			18.74									
7 嫌気性ろ床（第1室）			0.80			85.94		19.16			15.42								
8 嫌気性ろ床（第2室）			0.80			85.94		18.44			15.42								
9 嫌気性ろ床（第3室）			0.80			85.94		18.44			15.42								
10 接触ばっ気槽（第1室）			12.60			61.41		18.90			13.32								
11 接触ばっ気槽（第2室）		6.30			49.33		15.39			6.36									
12 汚泥濃縮貯留槽			1.00			35.17		8.10			4.68								
13 汚泥貯留槽			5.76					62.18			7.92								
計		22.45	21.76		55.94	354.40	119.57	145.22		25.10	72.18								

別府中地区（改修）

数　量　集　計　表

※除去・修復工事		床 液相部 床 劣化除去	床 液相部 床 断面修復		壁 液相部 壁 劣化除去	壁 液相部 壁 断面修復	壁 気相部 壁 劣化除去	壁 気相部 壁 断面修復	壁 気相部 壁 劣化除去	壁 気相部 壁 断面修復	壁 気相部 壁 劣化除去	壁 気相部 壁 断面修復		天井 気相部 天井 劣化除去	天井 気相部 天井 断面修復	天井 気相部 天井 劣化除去	天井 気相部 天井 断面修復		残塊処分 無筋コン
処理槽名		t=3㎜	t=4㎜		t=3㎜	t=4㎜	t=6㎜	t=8㎜	t=9㎜	t=12㎜	t=25㎜			t=6㎜	t=8㎜	t=9㎜	t=12㎜		
1 流入水路		0.91									3.32								0.09
2 ばっ気沈砂槽		0.09			6.61						4.44								0.13
3 砂溜槽		1.12									4.17								0.11
4 破砕機移行水路		0.05									1.06								0.03
5 バイパス水路		0.54									2.41								0.06
6 流量調整槽		13.44						88.78							18.74				0.90
7 嫌気性ろ床（第1室）		0.80			85.94				19.16							15.42			0.57
8 嫌気性ろ床（第2室）		0.80			85.94				18.44							15.42			0.57
9 嫌気性ろ床（第3室）			0.80			85.94				18.44							15.42		0.75
10 接触ばっ気槽（第1室）		12.60			61.41		18.90							13.32					0.42
11 接触ばっ気槽（第2室）		6.30			49.33		15.39							6.36					0.30
12 汚泥濃縮貯留槽		1.00			35.17					8.10							4.68		0.26
13 汚泥貯留槽			5.76				62.18							7.92					0.44
計		37.65	6.56		324.40	85.94	96.47	88.78	37.60	26.54	15.40			27.60	18.74	30.84	20.10		4.63

名　称	部　位	算　式	小　計	計
劣化部除去工	【液相部】			
+断面修復工	床	0.20 × 0.27 × 1	0.05	
t=3㎜		√ (0.10 ^2 + 0.50 ^2) × 0.45 × 1	0.23	
		√ (1.40 ^2 + 0.05 ^2) × 0.45 × 1	0.63	
			合計	0.91 ㎡
残塊処分工	【液相部】			
	無筋Co	0.91 × 0.003	0.003	

名　称	部　位	算　式	小　計	計
劣化部除去工	【気相部】			
+断面修復工	壁	0.45 × 0.45 × 1	0.20	
t=25㎜		0.50 × 0.45 × 2	0.45	
		(0.55 + 0.45) × 0.5 ÷ 2 × 2	0.50	
		(0.80 + 0.70) × 1.4 ÷ 2 × 2	2.10	
		0.45 × 0.15 × 1	0.07	
			合計	3.32 ㎡
残塊処分工	【気相部】			
	無筋Co	3.32 × 0.025	0.083	
残塊処分工	無筋Co		合計	0.09 ㎥

名　称	部　位	算　式	小　計	計
防水1種	【液相部】			
下地処理なし	床	0.20 × 0.27 × 1	0.05	
		√ (0.10 ^2 + 0.50 ^2) × 0.45 × 1	0.23	
		√ (1.40 ^2 + 0.05 ^2) × 0.45 × 1	0.63	
			合計	0.91 ㎡

名　称	部　位	算　式	小　計	計
防食2種	【気相部】			
下地処理なし	壁	0.45 × 0.45 × 1	0.20	
		0.50 × 0.45 × 2	0.45	
		(0.55 + 0.45) × 0.5 ÷ 2 × 2	0.50	
		(0.80 + 0.70) × 1.4 ÷ 2 × 2	2.10	
		0.45 × 0.15 × 1	0.07	
			合計	3.32 ㎡

名　称	部　位	算　式	小　計	計
劣化部除去工	【液相部】			
+断面修復工	床	0.30 × 0.30 × 1	0.09	
t=3㎜				
			合計	0.09 m2
劣化部除去工	【液相部】			
+断面修復工	壁	1.00 × 1.20 × 4	4.80	
t=3㎜		(1.00 + 0.30) × √ (0.35 ^2 + 0.60 ^2) ÷ 2 × 4	1.81	
			合計	6.61 m2
残塊処分工	【液相部】			
	無筋Co	(0.09 + 6.61) × 0.003	0.02	

名　称	部　位	算　式	小　計	計
劣化部除去工	【気相部】			
+断面修復工	壁	1.00 × 1.15 × 4	4.60	
t=25㎜	開口控除	- (0.45 × 0.80) × 1	-0.36	
		- (0.30 × 0.30) × 2	-0.18	
		- (0.45 × 0.75) × 1	-0.34	
	開口壁	(0.30 + 0.30) × 2 × 0.15 × 2	0.36	
		(0.45 + 0.75) × 2 × 0.15 × 1	0.36	
			合計	4.44 m2
残塊処分工	【気相部】			
	無筋Co	4.44 × 0.025	0.111	
残塊処分工	無筋Co		合計	0.13 m3

名　称	部　位	算　式	小　計	計
防水1種	【液相部】			
下地処理なし	床	0.30 × 0.30 × 1	0.09	
			合計	0.09 m2
防水1種	【液相部】			
下地処理なし	壁	1.00 × 1.20 × 4	4.80	
		(1.00 + 0.30) × √ (0.35 ^2 + 0.60 ^2) ÷ 2 × 4	1.81	
			合計	6.61 m2

名　称	部　位	算　式	小　計	計
防食2種	【気相部】			
下地処理なし	壁	1.00 × 1.15 × 4	4.60	
	開口控除	- (0.45 × 0.80) × 1	-0.36	
		- (0.30 × 0.30) × 2	-0.18	
		- (0.45 × 0.75) × 1	-0.34	
	開口壁	(0.30 + 0.30) × 2 × 0.15 × 2	0.36	
		(0.45 + 0.75) × 2 × 0.15 × 1	0.36	
			合計	4.44 m2

名　称	部　位	算　式	小　計	計
劣化部除去工	【液相部】			
+断面修復工	床	√ (0.80 ^2 + 0.05 ^2) × 0.45 × 2	0.72	
t=3㎜		0.40 × 1.00 × 1	0.40	
			合計	1.12 ㎡
残塊処分工	【液相部】			
	無筋Co	1.12 × 0.003	0.003	

名　称	部　位	算　式	小　計	計
劣化部除去工	【気相部】			
+断面修復工	壁	(0.75 + 0.80) × 0.8 ÷ 2 × 2	1.24	
t=25㎜		(0.70 + 0.75) × 0.8 ÷ 2 × 2	1.16	
		0.45 × 0.70 × 1	0.32	
		0.45 × 0.05 × 1	0.02	
		0.40 × 0.75 × 2	0.60	
		1.00 × 0.75 × 1	0.75	
		0.10 × 0.75 × 1	0.08	
			合計	4.17 ㎡
残塊処分工	【気相部】			
	無筋Co	4.17 × 0.025	0.104	
残塊処分工	無筋Co		合計	0.11 ㎥

名　称	部　位	算　式	小　計	計
防水1種	【液相部】			
下地処理なし	床	√ (0.80 ^2 + 0.05 ^2) × 0.45 × 2	0.72	
		0.40 × 1.00 × 1	0.40	
			合計	1.12 m2

名　称	部　位	算　式	小　計	計
防食2種	【気相部】			
下地処理なし	壁	(0.75 + 0.80) × 0.8 ÷ 2 × 2	1.24	
		(0.70 + 0.75) × 0.8 ÷ 2 × 2	1.16	
		0.45 × 0.70 × 1	0.32	
		0.45 × 0.05 × 1	0.02	
		0.40 × 0.75 × 2	0.60	
		1.00 × 0.75 × 1	0.75	
		0.10 × 0.75 × 1	0.08	
			合計	4.17 m2

名　称	部　位	算　式	小　計	計
劣化部除去工	【液相部】			
+断面修復工	床	0.15 × 0.30 × 1	0.05	
t=3㎜				
			合計	0.05 ㎡
残塊処分工	【液相部】			
	無筋Co	0.05 × 0.003	0.000	

名　称	部　位	算　式	小　計	計
劣化部除去工	【気相部】			
+断面修復工	壁	((0.55 + 0.30) × 0.2 ÷ 2 + 0.55 × 0.45) × 1	0.33	
t=25㎜		((0.15 + 0.30) × 0.2 ÷ 2 + 0.30 × 0.45) × 1	0.18	
		0.30 × 0.45 × 1	0.14	
		0.55 × 0.45 × 1	0.25	
		(0.30 + 0.15) × √ (0.25 ^2 + 0.20 ^2) ÷ 2 × 1	0.07	
		(0.55 + 0.20) × √ (0.15 ^2 + 0.20 ^2) ÷ 2 × 1	0.09	
	開口壁	(0.20 + 0.25) × 2 × 0.15 × 1	0.14	
	開口控除	- (0.25 × 0.20) × 1	-0.05	
		- (0.30 × 0.30) × 1	-0.09	
			合計	1.06 ㎡
残塊処分工	【気相部】			
	無筋Co	1.06 × 0.025	0.027	
残塊処分工	無筋Co		合計	0.03 ㎥

名　称	部　位	算　式	小　計	計
防水1種	【液相部】			
下地処理なし	床	0.15 × 0.30 × 1	0.05	
			合計	0.05 m2

名　称	部　位	算　式	小　計	計
防食2種	【気相部】			
下地処理なし	壁	((0.55 + 0.30) × 0.2 ÷ 2 + 0.55 × 0.45) × 1	0.33	
		((0.15 + 0.30) × 0.2 ÷ 2 + 0.30 × 0.45) × 1	0.18	
		0.30 × 0.45 × 1	0.14	
		0.55 × 0.45 × 1	0.25	
		(0.30 + 0.15) × √ (0.25 ^2 + 0.20 ^2) ÷ 2 × 1	0.07	
		(0.55 + 0.20) × √ (0.15 ^2 + 0.20 ^2) ÷ 2 × 1	0.09	
	開口壁	(0.20 + 0.25) × 2 × 0.15 × 1	0.14	
	開口控除	- (0.25 × 0.20) × 1	-0.05	
		- (0.30 × 0.30) × 1	-0.09	
			合計	1.06 m2

名　称	部　位	算　式	小　計	計
劣化部除去工	【液相部】			
+断面修復工	床	√ (1.35 ^2 + 0.15 ^2) × 0.4 × 1	0.54	
t=3㎜				
			合計	0.54 ㎡
残塊処分工	【液相部】			
	無筋Co	0.54 × 0.003	0.002	

名　称	部　位	算　式	小　計	計
劣化部除去工	【気相部】			
+断面修復工	壁	(0.45 + 0.65) × 0.2 ÷ 2 × 2	0.22	
t=25㎜		(0.65 + 0.78) × 1.15 ÷ 2 × 2	1.64	
		0.40 × 0.45 × 1	0.18	
		0.40 × 0.78 × 1	0.31	
		√ (0.20 ^2 + 0.20 ^2) × 0.4 × 1	0.11	
	開口控除	- (0.30 × 0.30) × 1	-0.09	
		- (0.25 × 0.20) × 1	-0.05	
		- (0.40 × 0.28) × 1	-0.11	
	開口壁	0.40 × 0.20 × 1	0.08	
		(0.30 + 0.28) × 0.2 ÷ 2 × 2	0.12	
			合計	2.41 ㎡
残塊処分工	【気相部】			
	無筋Co	2.41 × 0.025	0.06	
残塊処分工	無筋Co		合計	0.06 ㎥

名　称	部　位	算　式	小　計	計
防水1種	【液相部】			
下地処理なし	床	√ (1.35 ^2 + 0.15 ^2) × 0.4 × 1	0.54	
			合計	0.54 m2

名　称	部　位	算　式	小　計	計
防食2種	【気相部】			
下地処理なし	壁	(0.45 + 0.65) × 0.2 ÷ 2 × 2	0.22	
		(0.65 + 0.78) × 1.15 ÷ 2 × 2	1.64	
		0.40 × 0.45 × 1	0.18	
		0.40 × 0.78 × 1	0.31	
		√ (0.20 ^2 + 0.20 ^2) × 0.4 × 1	0.11	
	開口控除	- (0.30 × 0.30) × 1	-0.09	
		- (0.25 × 0.20) × 1	-0.05	
		- (0.40 × 0.28) × 1	-0.11	
	開口壁	0.40 × 0.20 × 1	0.08	
		(0.30 + 0.28) × 0.2 ÷ 2 × 2	0.12	
			合計	2.41 m2

名　称	部　位	算　式	小　計	計
劣化部除去工	【液相部】			
+断面修復工	床	3.20　× 4.20　× 1	13.44	
t=3㎜				
			合計	13.44　㎡
残塊処分工	【液相部】			
	無筋Co	13.44　× 0.003	0.040	

名　称	部　位	算　式	小　計	計
劣化部除去工	【気相部】			
+断面修復工	壁	(3.80　+ 3.20　) × √ (0.30　^2 + 0.30　^2) ÷ 2 × 2	2.97	
t=8㎜		(4.80　+ 4.20　) × √ (0.30　^2 + 0.30　^2) ÷ 2 × 2	3.82	
		3.80　× 4.80　× 2	36.48	
		4.80　× 4.80　× 2	46.08	
	開口控除	- (1.50　× 0.30　) × 1	-0.45	
		- (0.40　× 0.30　) × 1	-0.12	
			合計	88.78　㎡
劣化部除去工	【気相部】			
+断面修復工	天井	3.80　× 4.80　× 1	18.24	
t=8㎜	天井控除	- (0.40　× 1.65　) × 1	-0.66	
		- (1.00　× 0.60　) × 1	-0.60	
		- (0.50　× 0.75　) × 1	-0.38	
		- (0.30　× 0.30　× 3.14　) × 2	-0.57	
	天井首	(0.40　+ 1.65　) × 2 × 0.2　× 1	0.82	
		(1.00　+ 0.60　) × 2 × 0.2　× 1	0.64	
		(0.50　+ 0.75　) × 2 × 0.2　× 1	0.50	
		0.60　× 3.14　× 0.2　× 2	0.75	
			合計	18.74　㎡
残塊処分工	【液相部】			
	無筋Co	(　88.78　+　18.74　) × 0.008	0.86	
残塊処分工	無筋Co		合計	0.90　㎥

名　称	部　位	算　式	小　計	計
防水1種	【液相部】			
下地処理なし	床	3.20　× 4.20　× 1	13.44	
			合計	13.44　㎡

名　称	部　位	算　式	小　計	計
防食2種	【気相部】			
下地処理なし	壁	(　3.80　+ 3.20　) × √ (　0.30　^2 + 0.30　^2) ÷ 2 × 2	2.97	
		(　4.80　+ 4.20　) × √ (　0.30　^2 + 0.30　^2) ÷ 2 × 2	3.82	
		3.80　× 4.80　× 2	36.48	
		4.80　× 4.80　× 2	46.08	
	開口控除	- (　1.50　× 0.30　) × 1	-0.45	
		- (　0.40　× 0.30　) × 1	-0.12	
			合計	88.78　㎡

名　称	部　位	算　式	小　計	計
防食2種	【気相部】			
下地処理なし	天井	3.80　× 4.80　× 1	18.24	
	天井控除	- (　0.40　× 1.65　) × 1	-0.66	
		- (　1.00　× 0.60　) × 1	-0.60	
		- (　0.50　× 0.75　) × 1	-0.38	
		- (　0.30　× 0.30　× 3.14　) × 2	-0.57	
	天井首	(　0.40　+ 1.65　) × 2 ×　0.2　× 1	0.82	
		(　1.00　+ 0.60　) × 2 ×　0.2　× 1	0.64	
		(　0.50　+ 0.75　) × 2 ×　0.2　× 1	0.50	
		0.60　× 3.14　×　0.2　× 2	0.75	
			合計	18.74　㎡

名　称	部　位	算　式	小　計	計
劣化部除去工	【液相部】			
+断面修復工	床	0.80 × 1.00 × 1	0.80	
t=3㎜				
			合計	0.80 ㎡
劣化部除去工	【液相部】			
+断面修復工	壁	(3.50 + 0.80) × √ (1.90 ^2 + 1.10 ^2) ÷ 2 × 2	9.44	
t=3㎜		(4.80 + 1.00) × √ (1.35 ^2 + 1.10 ^2) ÷ 2 × 2	10.10	
		3.50 × 4.00 × 2	28.00	
		4.80 × 4.00 × 2	38.40	
			合計	85.94 ㎡
残塊処分工	【液相部】			
	無筋Co	(0.80 + 85.94) × 0.003	0.26	

名　称	部　位	算　式	小　計	計
劣化部除去工	【気相部】			
+断面修復工	壁	3.50 × 1.10 × 2	7.70	
t=9㎜		4.80 × 1.10 × 2	10.56	
	壁控除	- (1.50 × 0.30) × 1	-0.45	
		- (0.30 × 0.30) × 1	-0.09	
	開口壁	(1.50 + 0.30) × 2 × 0.3 × 1	1.08	
		(0.30 + 0.30) × 2 × 0.3 × 1	0.36	
			合計	19.16 ㎡
劣化部除去工	【気相部】			
+断面修復工	天井	3.50 × 4.80 × 1	16.80	
t=9㎜	天井控除	- (3.50 × 0.60) × 3	-6.30	
	天井首	(3.50 + 0.60) × 2 × 0.2 × 3	4.92	
			合計	15.42 ㎡
残塊処分工	【液相部】			
	無筋Co	(19.16 + 15.42) × 0.009	0.311	
残塊処分工	無筋Co		合計	0.57 ㎥

名　称	部　位	算　式	小　計	計
防水2種	【液相部】			
下地処理なし	床	0.80　× 1.00　× 1	0.80	
			合計	0.80　m2
防水2種	【液相部】			
下地処理なし	壁	(　3.50　+ 0.80　) × √ (　1.90　^2 + 1.10　^2) ÷ 2 × 2	9.44	
		(　4.80　+ 1.00　) × √ (　1.35　^2 + 1.10　^2) ÷ 2 × 2	10.10	
		3.50　× 4.00　× 2	28.00	
		4.80　× 4.00　× 2	38.40	
			合計	85.94　m2

名　称	部　位	算　式	小　計	計
防食3種	【気相部】			
下地処理なし	壁	3.50　× 1.10　× 2	7.70	
		4.80　× 1.10　× 2	10.56	
	壁控除	-　(　1.50　× 0.30　) × 1	-0.45	
		-　(　0.30　× 0.30　) × 1	-0.09	
	開口壁	(　1.50　+ 0.30　) × 2 ×　0.3　× 1	1.08	
		(　0.30　+ 0.30　) × 2 ×　0.3　× 1	0.36	
			合計	19.16　m2
防食3種	【気相部】			
下地処理なし	天井	3.50　× 4.80　× 1	16.80	
	天井控除	-　(　3.50　× 0.60　) × 3	-6.30	
	天井首	(　3.50　+ 0.60　) × 2 ×　0.2　× 3	4.92	
			合計	15.42　m2

名　称	部　位	算　式	小　計	計
劣化部除去工	【液相部】			
+断面修復工	床	0.80 × 1.00 × 1	0.80	
t=3㎜				
			合計	0.80 ㎡
劣化部除去工	【液相部】			
+断面修復工	壁	(3.50 + 0.80) × √ (1.90 ^2 + 1.10 ^2) ÷ 2 × 2	9.44	
t=3㎜		(4.80 + 1.00) × √ (1.35 ^2 + 1.10 ^2) ÷ 2 × 2	10.10	
		3.50 × 4.00 × 2	28.00	
		4.80 × 4.00 × 2	38.40	
			合計	85.94 ㎡
残塊処分工	【液相部】			
	無筋Co	(0.80 + 85.94) × 0.003	0.26	

名　称	部　位	算　式	小　計	計
劣化部除去工	【気相部】			
+断面修復工	壁	3.50 × 1.10 × 2	7.70	
t=9㎜		4.80 × 1.10 × 2	10.56	
	壁控除	- (0.30 × 0.30) × 2	-0.18	
	開口壁	(0.30 ＋ 0.30) × 2 × 0.3 × 1	0.36	
			合計	18.44 ㎡
劣化部除去工	【気相部】			
+断面修復工	天井	3.50 × 4.80 × 1	16.80	
t=9㎜	天井控除	- (3.50 × 0.60) × 3	-6.30	
	天井首	(3.50 + 0.60) × 2 × 0.2 × 3	4.92	
			合計	15.42 ㎡
残塊処分工	【液相部】			
	無筋Co	(18.44 + 15.42) × 0.009	0.305	
残塊処分工	無筋Co		合計	0.57 ㎥

名　称	部　位	算　式	小　計	計
防水2種	【液相部】			
下地処理なし	床	0.80　× 1.00　× 1	0.80	
			合計	0.80　m2
防水2種	【液相部】			
下地処理なし	壁	(　3.50　+ 0.80　) × √ (　1.90　^2 + 1.10　^2) ÷ 2 × 2	9.44	
		(　4.80　+ 1.00　) × √ (　1.35　^2 + 1.10　^2) ÷ 2 × 2	10.10	
		3.50　× 4.00　× 2	28.00	
		4.80　× 4.00　× 2	38.40	
			合計	85.94　m2

名　称	部　位	算　式	小　計	計
防食3種	【気相部】			
下地処理なし	壁	3.50　× 1.10　× 2	7.70	
		4.80　× 1.10　× 2	10.56	
	壁控除	-　(　0.30　× 0.30　) × 2	-0.18	
	開口壁	(　0.30　＋ 0.30　) × 2 ×　0.3　× 1	0.36	
			合計	18.44　m2
防食3種	【気相部】			
下地処理なし	天井	3.50　× 4.80　× 1	16.80	
	天井控除	-　(　3.50　× 0.60　) × 3	-6.30	
	天井首	(　3.50　+ 0.60　) × 2 ×　0.2　× 3	4.92	
			合計	15.42　m2

名　称	部　位	算　式	小　計	計
劣化部除去工	【液相部】			
+断面修復工	床	0.80 × 1.00 × 1	0.80	
t=4mm				
			合計	0.80 m2
劣化部除去工	【液相部】			
+断面修復工	壁	(3.50 + 0.80) × √ (1.90 ^2 + 1.10 ^2) ÷ 2 × 2	9.44	
t=4mm		(4.80 + 1.00) × √ (1.35 ^2 + 1.10 ^2) ÷ 2 × 2	10.10	
		3.50 × 4.00 × 2	28.00	
		4.80 × 4.00 × 2	38.40	
			合計	85.94 m2
残塊処分工	【液相部】			
	無筋Co	(0.80 + 85.94) × 0.004	0.347	

名　称	部　位	算　式	小　計	計
劣化部除去工	【気相部】			
+断面修復工	壁	3.50 × 1.10 × 2	7.70	
t=12mm		4.80 × 1.10 × 2	10.56	
	壁控除	- (0.30 × 0.30) × 2	-0.18	
	開口壁	(0.30 × 0.30) × 2 × 0.3 × 1	0.36	
			合計	18.44 m2
劣化部除去工	【気相部】			
+断面修復工	天井	3.50 × 4.80 × 1	16.80	
t=12mm	天井控除	- (3.50 × 0.60) × 3	-6.30	
	天井首	(3.50 + 0.60) × 2 × 0.2 × 3	4.92	
			合計	15.42 m2
残塊処分工	【液相部】			
	無筋Co	(18.44 + 15.42) × 0.012	0.406	
残塊処分工	無筋Co		合計	0.75 m3

名　称	部　位	算　式	小　計	計
防水2種	【液相部】			
下地処理なし	床	0.80　× 1.00　× 1	0.80	
			合計	0.80　m2
防水2種	【液相部】			
下地処理なし	壁	(　3.50　+ 0.80　) × √ (　1.90　^2 + 1.10　^2) ÷ 2 × 2	9.44	
		(　4.80　+ 1.00　) × √ (　1.35　^2 + 1.10　^2) ÷ 2 × 2	10.10	
		3.50　× 4.00　× 2	28.00	
		4.80　× 4.00　× 2	38.40	
			合計	85.94　m2

名　称	部　位	算　式	小　計	計
防食3種	【気相部】			
下地処理なし	壁	3.50　× 1.10　× 2	7.70	
		4.80　× 1.10　× 2	10.56	
	壁控除	-　(　0.30　× 0.30　) × 2	-0.18	
	開口壁	(　0.30　× 0.30　) × 2 × 0.3　× 1	0.36	
			合計	18.44　m2
防食3種	【気相部】			
下地処理なし	天井	3.50　× 4.80　× 1	16.80	
	天井控除	-　(　3.50　× 0.60　) × 3	-6.30	
	天井首	(　3.50　+ 0.60　) × 2 × 0.2　× 3	4.92	
			合計	15.42　m2

名　称	部　位	算　式	小　計	計
劣化部除去工	【液相部】			
+断面修復工	床	3.00 × 4.20 × 1	12.60	
t=3㎜				
			合計	12.60 ㎡
劣化部除去工	【液相部】			
+断面修復工	壁	√ (0.30 ^2 + 0.30 ^2) × 3.00 × 2	2.55	
t=3㎜		3.00 × 3.60 × 2	21.60	
		((4.80 + 4.20) × 0.3 ÷ 2 + 4.80 × 3.60) × 2	37.26	
			合計	61.41 ㎡
残塊処分工	【液相部】			
	無筋Co	(12.60 + 61.41) × 0.003	0.222	

名　称	部　位	算　式	小　計	計
劣化部除去工	【気相部】			
+断面修復工	壁	3.00 × 1.20 × 2	7.20	
t=6㎜		4.80 × 1.20 × 2	11.52	
	壁控除	- (0.30 × 0.30) × 1	-0.09	
		- (0.30 × 0.30) × 1	-0.09	
	開口壁	(0.30 + 0.30) × 2 × 0.30 × 1	0.36	
			合計	18.90 ㎡
劣化部除去工	【気相部】			
+断面修復工	天井	3.00 × 4.80 × 1	14.40	
t=6㎜	天井控除	- (3.00 × 0.60) × 3	-5.40	
	天井首	(3.00 + 0.60) × 2 × 0.20 × 3	4.32	
			合計	13.32 ㎥
残塊処分工	【液相部】			
	無筋Co	(18.90 + 13.32) × 0.006	0.193	
残塊処分工	無筋Co		合計	0.42 ㎥

名　称	部　位	算　式	小　計	計
防水2種	【液相部】			
下地処理なし	床	3.00　× 4.20　× 1	12.60	
			合計	12.60　㎡
防水2種	【液相部】			
下地処理なし	壁	√（ 0.30　^2 + 0.30　^2 ）× 3.00　× 2	2.55	
		3.00　× 3.60　× 2	21.60	
		((　4.80　+ 4.20　)×　0.3　÷ 2 ＋ 4.80　× 3.60　) × 2	37.26	
			合計	61.41　㎡

名　称	部　位	算　式	小　計	計
防食3種	【気相部】			
下地処理なし	壁	3.00　× 1.20　× 2	7.20	
		4.80　× 1.20　× 2	11.52	
	壁控除	-（ 0.30　× 0.30　）× 1	-0.09	
		-（ 0.30　× 0.30　）× 1	-0.09	
	開口壁	（ 0.30　＋ 0.30　）× 2 × 0.30　× 1	0.36	
			合計	18.90　㎡
防食3種	【気相部】			
下地処理なし	天井	3.00　× 4.80　× 1	14.40	
	天井控除	-（ 3.00　× 0.60　）× 3	-5.40	
	天井首	（ 3.00　+ 0.60　）× 2 × 0.20　× 3	4.32	
			合計	13.32　㎥

名　称	部　位	算　式	小　計	計
劣化部除去工	【液相部】			
+断面修復工	床	1.50　× 4.20　× 1	6.30	
t=3㎜				
			合計	6.30　㎡2
劣化部除去工	【液相部】			
+断面修復工	壁	√（ 0.30　^2 + 0.30　^2 ）× 1.50　× 2	1.27	
t=3㎜		1.50　× 3.60　× 2	10.80	
		((　4.80　+ 4.20　）×　0.3　÷ 2 ＋ 4.80　× 3.60　）× 2	37.26	
			合計	49.33　㎡2
残塊処分工	【液相部】			
	無筋Co	（　6.30　+　49.33　）× 0.003	0.167	

名　称	部　位	算　式	小　計	計
劣化部除去工	【気相部】			
+断面修復工	壁	1.50　× 1.20　× 2	3.60	
t=6㎜		4.80　× 1.20　× 2	11.52	
	壁控除	-（ 0.30　× 0.30　）× 1	-0.09	
	開口壁	（ 0.30　＋ 0.30　）× 2 ×　0.3　× 1	0.36	
			合計	15.39　㎡2
劣化部除去工	【気相部】			
+断面修復工	天井	1.50　× 4.80　× 1	7.20	
t=6㎜	天井控除	-（ 1.50　× 1.00　）× 1	-1.50	
		-（ 1.50　× 0.80　）× 1	-1.20	
		-（ 1.50　× 0.60　）× 1	-0.90	
	天井首	（ 1.50　+ 1.00　）× 2 ×　0.2　× 1	1.00	
		（ 1.50　+ 0.80　）× 2 ×　0.2　× 1	0.92	
		（ 1.50　+ 0.60　）× 2 ×　0.2　× 1	0.84	
			合計	6.36　㎡3
残塊処分工	【液相部】			
	無筋Co	（　15.39　+　6.36　）× 0.006	0.131	
残塊処分工	無筋Co		合計	0.30　㎡3

名　称	部　位	算　式	小　計	計
防水1種	【液相部】			
下地処理なし	床	1.50 × 4.20 × 1	6.30	
			合計	6.30 m2
防水1種	【液相部】			
下地処理なし	壁	√ (0.30 ^2 + 0.30 ^2) × 1.50 × 2	1.27	
		1.50 × 3.60 × 2	10.80	
		((4.80 + 4.20) × 0.3 ÷ 2 + 4.80 × 3.60) × 2	37.26	
			合計	49.33 m2

名　称	部　位	算　式	小　計	計
防食2種	【気相部】			
下地処理なし	壁	1.50 × 1.20 × 2	3.60	
		4.80 × 1.20 × 2	11.52	
	壁控除	- (0.30 × 0.30) × 1	-0.09	
	開口壁	(0.30 + 0.30) × 2 × 0.3 × 1	0.36	
			合計	15.39 m2
防食2種	【気相部】			
下地処理なし	天井	1.50 × 4.80 × 1	7.20	
	天井控除	- (1.50 × 1.00) × 1	-1.50	
		- (1.50 × 0.80) × 1	-1.20	
		- (1.50 × 0.60) × 1	-0.90	
	天井首	(1.50 + 1.00) × 2 × 0.2 × 1	1.00	
		(1.50 + 0.80) × 2 × 0.2 × 1	0.92	
		(1.50 + 0.60) × 2 × 0.2 × 1	0.84	
			合計	6.36 m3

名　称	部　位	算　式	小　計	計
劣化部除去工	【液相部】			
+断面修復工	床	2.00 × 0.50 × 1	1.00	
t=3㎜				
			合計	1.00 ㎡
劣化部除去工	【液相部】			
+断面修復工	壁	(3.00 + 2.00) × √ (0.50 ^2 + 0.60 ^2) ÷ 2 × 2	3.91	
t=3㎜		(1.50 + 0.50) × √ (0.50 ^2 + 0.60 ^2) ÷ 2 × 2	1.56	
		3.00 × 3.30 × 2	19.80	
		1.50 × 3.30 × 2	9.90	
			合計	35.17 ㎡
残塊処分工	【液相部】			
	無筋Co	(1.00 + 35.17) × 0.003	0.109	

名　称	部　位	算　式	小　計	計
劣化部除去工	【気相部】			
+断面修復工	壁	3.00 × 0.90 × 2	5.40	
t=12㎜		1.50 × 0.90 × 2	2.70	
			合計	8.10 ㎡
劣化部除去工	【気相部】			
+断面修復工	天井	3.00 × 1.50 × 1	4.50	
t=12㎜	天井控除	- (1.20 × 0.60) × 1	-0.72	
		- (0.30 × 0.30 × 3.14) × 2	-0.57	
	天井首	(1.20 + 0.60) × 2 × 0.20 × 1	0.72	
		0.60 × 3.14 × 0.2 × 2	0.75	
			合計	4.68 ㎡
残塊処分工	【液相部】			
	無筋Co	(8.10 + 4.68) × 0.012	0.153	
残塊処分工	無筋Co		合計	0.26 ㎥

名　称	部　位	算　式	小　計	計
防水2種	【液相部】			
下地処理なし	床	2.00　× 0.50　× 1	1.00	
			合計	1.00　m2
防水2種	【液相部】			
下地処理なし	壁	(　3.00　+ 2.00　) × √ (　0.50　^2 + 0.60　^2) ÷ 2 × 2	3.91	
		(　1.50　+ 0.50　) × √ (　0.50　^2 + 0.60　^2) ÷ 2 × 2	1.56	
		3.00　× 3.30　× 2	19.80	
		1.50　× 3.30　× 2	9.90	
			合計	35.17　m2

名　称	部　位	算　式	小　計	計
防食3種	【気相部】			
下地処理なし	壁	3.00　× 0.90　× 2	5.40	
		1.50　× 0.90　× 2	2.70	
			合計	8.10　m2
防食3種	【気相部】			
下地処理なし	天井	3.00　× 1.50　× 1	4.50	
	天井控除	-　(　1.20　× 0.60　) × 1	-0.72	
		-　(　0.30　× 0.30　× 3.14　) × 2	-0.57	
	天井首	(　1.20　+ 0.60　) × 2 × 0.20　× 1	0.72	
		0.60　× 3.14　×　0.2　× 2	0.75	
			合計	4.68　m2

名　称	部　位	算　式	小　計	計
劣化部除去工	【液相部】			
+断面修復工	床	2.40　× 2.40　× 1	5.76	
t=4㎜				
			合計	5.76　㎡2
残塊処分工	【液相部】			
	無筋Co	5.76　× 0.004	0.023	

名　称	部　位	算　式	小　計	計
劣化部除去工	【気相部】			
+断面修復工	壁	(　3.00　+ 2.40　) × √ (　0.30　^2 + 0.30　^2) ÷ 2 × 4	4.58	
t=6㎜		3.00　× 4.80　× 4	57.60	
			合計	62.18　㎡2
劣化部除去工	【気相部】			
+断面修復工	天井	3.00　× 3.00　× 1	9.00	
t=6㎜	天井控除	-　(　3.00　× 0.60　) × 3	-5.40	
	天井首	(　3.00　+ 0.60　) × 2 × 0.20　× 3	4.32	
			合計	7.920　㎥3
残塊処分工	【液相部】			
	無筋Co	(　62.18　+　7.92　) × 0.006	0.421	
残塊処分工	無筋Co		合計	0.44　㎥3

名　称	部　位	算　式	小　計	計
防水2種	【液相部】			
下地処理なし	床	2.40　× 2.40　× 1	5.76	
			合計	5.76 ㎡2

名　称	部　位	算　式	小　計	計
防食3種	【気相部】			
下地処理なし	壁	(3.00　+ 2.40　) × √ (0.30　^2 + 0.30　^2) ÷ 2 × 4	4.58	
		3.00　× 4.80　× 4	57.60	
			合計	62.18 ㎡2
防食3種	【気相部】			
下地処理なし	天井	3.00　× 3.00　× 1	9.00	
	天井控除	- (3.00　× 0.60　) × 3	-5.40	
	天井首	(3.00　+ 0.60　) × 2 × 0.20　× 3	4.32	
			合計	7.920 ㎡3

名　称	部　位	算　式	小　計	計
開口部ｼｰﾘﾝｸﾞ	蓋			
切込み作業込み	15×15			
流入水路		((2.28 ＋ 0.45) × 2 - 0.45) × 1	5.01	
ばっ気沈砂槽		((1.00 ＋ 1.00) × 2 - 0.45) × 1	3.55	
砂溜槽		(0.45 ＋ 1.20 ＋ 1.00 ＋ 1.20 ＋ 0.45		
		＋ 0.80 ＋ 0.10 ＋ 0.80) × 1	6.00	
破砕機移行水路		(0.30 ＋ 0.55) × 2 × 1	1.70	
ﾊﾞｲﾊﾟｽ水路		(1.35 ＋ 0.40) × 2 × 1	3.50	
流量調整槽		(1.00 ＋ 0.60) × 2 × 1	3.20	
		(0.50 ＋ 0.75) × 2 × 1	2.50	
		(0.40 ＋ 1.65) × 2 × 1	4.10	
		0.6 × 3.14 × 2	3.77	
嫌気性ろ床槽(第1室)		(3.50 ＋ 0.60) × 2 × 3	24.60	
嫌気性ろ床槽(第2室)		(3.50 ＋ 0.60) × 2 × 3	24.60	
嫌気性ろ床槽(第3室)		(3.50 ＋ 0.60) × 2 × 3	24.60	
接触ばっ気槽(第1室)		(3.00 ＋ 0.60) × 2 × 3	21.60	
接触ばっ気槽(第2室)		(1.50 ＋ 1.00) × 2 × 1	5.00	
		(1.50 ＋ 0.80) × 2 × 1	4.60	
		(1.50 ＋ 0.60) × 2 × 1	4.20	
汚泥濃縮貯留槽		(1.20 ＋ 0.60) × 2 × 1	3.60	
		0.6 × 3.14 × 2	3.77	
汚泥貯留槽		(3.00 ＋ 0.60) × 2 × 3	21.60	
			合計	171.50 m

名　称	部　位	算　式	小　計	計

別府中地区

部　　位		小　計	計	単位
仮設工事				
内部足場工	※床面積を計上			
H＜4.000			1.00	床m2
ばっ気沈砂槽	1.00　×　1.00	1.00		

2. 機 械 設 備 工 事（補助）

更 新 機 器 集 計 表 （1／2）

加西市 別府中地区【更新】(補助)　　機械設備工事

名称及び規格	数量	単位	備考	名称及び規格	数量	単位	備考
【新設】							
破砕機（220～1440m3／日×0.2kW）	1	基					
自動微細目ｽｸﾘｰﾝ（目幅2mm×45m3／時×0.025kW）	2	台					
流量調整ﾎﾟﾝﾌﾟ(本体のみ)（50A×0.14m3／分×9m×0.75kW）	1	台	ﾉﾝｸﾛｯｸﾞﾀｲﾌﾟ				
ばっ気ﾌﾞﾛﾜ(ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ対応)（65A×1.7m3／分×46.1kPa×3.7kW）	3	台					
汚泥引抜ﾎﾟﾝﾌﾟ（65／50A×0.15m3／分×10m×2.2kW）	1	台					
局所排気ﾌｧﾝ（4.3m3／分×177Pa×0.08kW）	1	台					
仮設水処理装置（123m3/日）	1	式					

更 新 機 器 集 計 表 （2／2）

加西市 別府中地区【更新】(補助)　　機械設備工事

名称及び規格	数量	単位	備考	名称及び規格	数量	単位	備考
【再利用据付】							
自動荒目ｽｸﾘｰﾝ（目幅50㎜×70m3／時×0.025kW）	1	台					
沈砂排出ﾎﾟﾝﾌﾟ（ｴｱﾘﾌﾄﾎﾟﾝﾌﾟ）	1	台					
ばっ気沈砂槽散気装置（定置式散気管）	1	台	散気管 1個/台				
細目ｽｸﾘｰﾝ（20㎜）	1	台					
流量調整ﾎﾟﾝﾌﾟ（50A×0.14m3／分×9m×0.75kW）	1	台	ﾉﾝｸﾛｯｸﾞﾀｲﾌﾟ				
流量調整ﾎﾟﾝﾌﾟ(本体以外)（50A×0.14m3／分×9m×0.75kW）	1	台	ﾉﾝｸﾛｯｸﾞﾀｲﾌﾟ				
調整槽水中撹拌ﾎﾟﾝﾌﾟ（51.0m3×2.2kW）	1	台					
嫌気性ろ床槽(第1室)接触材（ひも状　3.5×4.8×2.6）	1	式	43.68m3				
嫌気性ろ床槽(第2室)接触材（ボール状　3.5×4.8×3.4）	1	式	57.12m3				
嫌気性ろ床槽(第3室)接触材（ボール状　3.5×4.8×3.4）	1	式	57.12m3				
嫌気性ろ床槽(第1室)接触材架台（ｽﾃﾝﾚｽ製　3.5×4.8×2.6）	1	式	43.68m3				
嫌気性ろ床槽(第2室)接触材架台（ｽﾃﾝﾚｽ製　3.5×4.8×3.4）	1	式	57.12m3				
嫌気性ろ床槽(第3室)接触材架台（ｽﾃﾝﾚｽ製　3.5×4.8×3.4）	1	式	57.12m3				
嫌気性ろ床槽(第1室)ﾊﾞｯﾌﾙ板（PVC　0.3×0.3×4.2）	1	台					
嫌気性ろ床槽(第2室)ﾊﾞｯﾌﾙ板（PVC　0.3×0.3×4.4）	1	台					
嫌気性ろ床槽(第3室)ﾊﾞｯﾌﾙ板（PVC　0.3×0.3×4.4）	1	台					
嫌気性ろ床槽(第1室)撹拌装置（定置式撹拌管）	4	台					
嫌気性ろ床槽(第2室)撹拌装置（定置式撹拌管）	4	台					
嫌気性ろ床槽(第3室)撹拌装置（定置式撹拌管）	4	台					
接触ばっ気槽(第1室)接触材（ひも状　4.2×3.0×3.3）	1	式	41.58m3				
接触ばっ気槽(第2室)接触材（ひも状　4.2×1.5×3.3）	1	式	20.79m3				
接触ばっ気槽(第1室)接触材架台（ｽﾃﾝﾚｽ製　4.2×3.0×3.3）	1	式	41.58m3				
接触ばっ気槽(第2室)接触材架台（ｽﾃﾝﾚｽ製　4.2×1.5×3.3）	1	式	20.79m3				
接触ばっ気槽(第1室)散気装置（定置式散気管）	4	台	散気筒 2個/台				
接触ばっ気槽(第2室)散気装置（定置式散気管）	2	台	散気筒 2個/台				
接触ばっ気槽(第1室)逆洗装置（定置式逆洗管）	8	台					
接触ばっ気槽(第2室)逆洗装置（定置式逆洗管）	4	台					
汚泥濃縮貯留槽散気装置（定置式散気管）	1	台	散気筒 2個/台				
汚泥貯留槽散気装置（定置式散気管）	2	台	散気筒 2個/台				

小 配 管 材 料 ・ 据 付 集 計 表

加西市 別府中地区【更新】(補助)　　機械設備工事

管種			NO																			
		ｽｹﾙﾄﾝNO	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	計
SUS 15		設計数量																					
	据	屋内																					
		屋外																					
	付	埋設																					
SUS 20		設計数量																					
	据	屋内																					
		屋外																					
	付	埋設																					
SUS 25		設計数量																					
	据	屋内																					
		屋外																					
	付	埋設																					
SUS 32		設計数量	0.33	0.33																			0.66
	据	屋内	0.33	0.33																			0.66
		屋外																					
	付	埋設																					
SUS 40		設計数量																					
	据	屋内																					
		屋外																					
	付	埋設																					
SUS 50		設計数量	77.7	26																			103.70
	据	屋内	77.7	26																			103.70
		屋外																					
	付	埋設																					
SUS 65		設計数量		1.32																			1.32
	据	屋内		1.32																			1.32
		屋外																					
	付	埋設																					
SUS 80		設計数量																					
	据	屋内																					
		屋外																					
	付	埋設																					

小 配 管 数 量 計 算 書

加西市 別府中地区【更新】(補助)　　機械設備工事

ｽｹﾙﾄﾝ№	管 種	口 径	種 別				実 数 量		実数量x1.1 (65以下)
			屋内	屋外	埋設	排水気			
1	SUS	32	1				0.300	0.300	0.33
1	SUS	50	1				0.650 ＋ 0.800 ＋ 0.600 ＋ 0.400 ＋ 0.400 ＋ 0.325 ＋ 0.325 ＋ 1.300 ＋ 0.350 ＋ 7.250 ＋ 0.700 ＋ 5.050 ＋ 1.300 ＋ 1.350 ＋ 6.850 ＋ 1.300 ＋ 5.050 ＋ 1.300 ＋ 0.200 ＋ 0.650 ＋ 7.050 ＋ 4.200 ＋ 5.050 ＋ 1.300 ＋ 0.400 ＋ 0.750 ＋ 6.250 ＋ 3.200 ＋ 5.050 ＋ 1.275	70.675	77.7
2	SUS	32	1				0.300	0.300	0.33
2	SUS	50	1				0.600 ＋ 3.150 ＋ 0.600 ＋ 1.150 ＋ 4.000 ＋ 0.450 ＋ 0.300 ＋ 0.550 ＋ 0.300 ＋ 0.500 ＋ 1.775 ＋ 0.600 ＋ 2.050 ＋ 2.150 ＋ 0.950 ＋ 4.500	23.625	26
2	SUS	65	1				0.200 ＋ 0.215 ＋ 0.400 ＋ 0.385	1.200	1.32

弁・その他物品集計

加西市 別府中地区【更新】(補助)　　機械設備工事

	仕切弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ねじ込み 32A	仕切弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ﾌﾗﾝｼﾞ 50A	仕切弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ﾌﾗﾝｼﾞ 65A	仕切弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ﾌﾗﾝｼﾞ 100A	逆止弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ﾌﾗﾝｼﾞ 50A	ﾎﾞｰﾙ弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ねじ込み 20A	ﾎﾞｰﾙ弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ねじ込み 25A	ﾎﾞｰﾙ弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ねじ込み 32A	ﾎﾞｰﾙ弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ねじ込み 40A	ﾎﾞｰﾙ弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ﾌﾗﾝｼﾞ 50A	ﾎﾞｰﾙ弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ﾌﾗﾝｼﾞ 65A	ﾎﾞｰﾙ弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ﾌﾗﾝｼﾞ 80A	電動ﾎﾞｰﾙ弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ﾌﾗﾝｼﾞ 50A
ｽｹﾙﾄﾝ1	1	1											7
ｽｹﾙﾄﾝ2	1	1	1										
その他		4	2	1	2	6	1	5	24	2	1	1	
合　計	2	6	3	1	2	6	1	5	24	2	1	1	7

弁・その他物品集計

加西市 別府中地区【更新】(補助)　　機械設備工事

	電動三方ﾎﾞｰﾙ弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ﾌﾗﾝｼﾞ 50A	玉形弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ねじ込み 20A	玉形弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ねじ込み 25A	玉形弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ねじ込み 32A	玉形弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ﾌﾗﾝｼﾞ 50A	玉形弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ﾌﾗﾝｼﾞ 65A	電磁弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ねじ込み 20A	電磁弁 ｽﾃﾝﾚｽ製 ねじ込み 32A	ｺｱ抜き 床 φ100 厚=200	ｺｱ抜き 壁 φ100 厚=300			
ｽｹﾙﾄﾝ1									5	10			
ｽｹﾙﾄﾝ2	1								1	4			
その他		4	1	11	1	1	2	1					
合　計	1	4	1	11	1	1	2	1	6	14			

コア抜き残塊処分集計

加西市 別府中地区【更新】(補助)

機械設備工事

名　称	部　位	算　　式	数量
鉄筋Co 残塊処分工	床部 φ100 L=200	(π×　0.05 ^2)　×　0.2　×　6　ヵ所	0.009 m3
		小計	0.009 m3
鉄筋Co 残塊処分工	壁部 φ100 L=300	(π×　0.05 ^2)　×　0.3　×　14　ヵ所	0.033 m3
		小計	0.033 m3

名　称	部　位	算　　式	数量
			小計
			小計
			合計　0.04 m3

撤 去 機 器 集 計 表 （1／2）

加西市 別府中地区【撤去】(補助)　　機械設備工事

名称及び規格	数量	単位	備考	名称及び規格	数量	単位	備考
【撤去処分】							
破砕機（220～1440m3／日×0.2kW）	1	基		機器処分(金属くず)	1	式	0.977t
自動微細目ｽｸﾘｰﾝ（目幅2mm×45m3／時×0.025kW）	2	台		弁処分（金属くず）	1	式	0.292t
流量調整ﾎﾟﾝﾌﾟ(本体のみ)（50A×0.14m3／分×9m×0.75kW）	1	台	ﾉﾝｸﾛｯｸﾞﾀｲﾌﾟ	配管処分（金属くず）	1	式	0.034t
ばっ気ﾌﾞﾛﾜ(常用)（65A×1.7m3／分×46.1kPa×3.7kW）	2	台					
ばっ気ﾌﾞﾛﾜ(予備)（50A×0.85m3／分×46.1kPa×2.2kW）	2	台		金属くず　合計	1	式	1.303t
汚泥引抜ﾎﾟﾝﾌﾟ（65／50A×0.15m3／分×10m×2.2kW）	1	台					
局所排気ﾌｧﾝ（4.3m3／分×177Pa×0.08kW）	1	台		汚泥処分　合計	1	式	48m3

撤 去 機 器 集 計 表 （2／2）

加西市 別府中地区【撤去】(補助)　　機械設備工事

名称及び規格	数量	単位	備考	名称及び規格	数量		備考
【撤去再利用】							
自動荒目ｽｸﾘｰﾝ（目幅50㎜×70m3／時×0.025kW）	1	台					
沈砂排出ﾎﾟﾝﾌﾟ（ｴｱﾘﾌﾄﾎﾟﾝﾌﾟ）	1	台					
ばっ気沈砂槽散気装置（定置式散気管）	1	台	散気管 1個/台				
細目ｽｸﾘｰﾝ（20㎜）	1	台					
流量調整ﾎﾟﾝﾌﾟ（50A×0.14m3／分×9m×0.75kW）	1	台	ﾉﾝｸﾛｯｸﾞﾀｲﾌﾟ				
流量調整ﾎﾟﾝﾌﾟ(本体以外)（50A×0.14m3／分×9m×0.75kW）	1	台	ﾉﾝｸﾛｯｸﾞﾀｲﾌﾟ				
調整槽水中撹拌ﾎﾟﾝﾌﾟ（51.0m3×2.2kW）	1	台					
嫌気性ろ床槽(第1室)接触材（ひも状　3.5×4.8×2.6）	1	式	43.68m3				
嫌気性ろ床槽(第2室)接触材（ボール状　3.5×4.8×3.4）	1	式	57.12m3				
嫌気性ろ床槽(第3室)接触材（ボール状　3.5×4.8×3.4）	1	式	57.12m3				
嫌気性ろ床槽(第1室)接触材架台（ｽﾃﾝﾚｽ製　3.5×4.8×2.6）	1	式	43.68m3				
嫌気性ろ床槽(第2室)接触材架台（ｽﾃﾝﾚｽ製　3.5×4.8×3.4）	1	式	57.12m3				
嫌気性ろ床槽(第3室)接触材架台（ｽﾃﾝﾚｽ製　3.5×4.8×3.4）	1	式	57.12m3				
嫌気性ろ床槽(第1室)ﾊﾞｯﾌﾙ板（PVC　0.3×0.3×4.2）	1	台					
嫌気性ろ床槽(第2室)ﾊﾞｯﾌﾙ板（PVC　0.3×0.3×4.4）	1	台					
嫌気性ろ床槽(第3室)ﾊﾞｯﾌﾙ板（PVC　0.3×0.3×4.4）	1	台					
嫌気性ろ床槽(第1室)撹拌装置（定置式撹拌管）	4	台					
嫌気性ろ床槽(第2室)撹拌装置（定置式撹拌管）	4	台					
嫌気性ろ床槽(第3室)撹拌装置（定置式撹拌管）	4	台					
接触ばっ気槽(第1室)接触材（ひも状　4.2×3.0×3.3）	1	式	41.58m3				
接触ばっ気槽(第2室)接触材（ひも状　4.2×1.5×3.3）	1	式	20.79m3				
接触ばっ気槽(第1室)接触材架台（ｽﾃﾝﾚｽ製　4.2×3.0×3.3）	1	式	41.58m3				
接触ばっ気槽(第2室)接触材架台（ｽﾃﾝﾚｽ製　4.2×1.5×3.3）	1	式	20.79m3				
接触ばっ気槽(第1室)散気装置（定置式散気管）	4	台	散気筒 2個/台				
接触ばっ気槽(第2室)散気装置（定置式散気管）	2	台	散気筒 2個/台				
接触ばっ気槽(第1室)逆洗装置（定置式逆洗管）	8	台					
接触ばっ気槽(第2室)逆洗装置（定置式逆洗管）	4	台					
汚泥濃縮貯留槽散気装置（定置式散気管）	1	台	散気筒 2個/台				
汚泥貯留槽散気装置（定置式散気管）	2	台	散気筒 2個/台				

小 配 管 材 料 ・ 据 付 集 計 表

加西市 別府中地区【撤去】(補助)　　機械設備工事

管種		スケルトンNO	NO 01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	計
SUS 15		設計数量																					
	据	屋内																					
		屋外																					
	付	埋設																					
SUS 20		設計数量																					
	据	屋内																					
		屋外																					
	付	埋設																					
SUS 25		設計数量																					
	据	屋内																					
		屋外																					
	付	埋設																					
SUS 32		設計数量	0.55																				0.55
	据	屋内	0.55																				0.55
		屋外																					
	付	埋設																					
SUS 40		設計数量																					
	据	屋内																					
		屋外																					
	付	埋設																					
SUS 50		設計数量	5.96																				5.96
	据	屋内	5.96																				5.96
		屋外																					
	付	埋設																					
SUS 65		設計数量																					
	据	屋内																					
		屋外																					
	付	埋設																					
SUS 80		設計数量																					
	据	屋内																					
		屋外																					
	付	埋設																					

小 配 管 数 量 計 算 書

加西市 別府中地区【撤去】(補助)　　機械設備工事

ｽｹﾙﾄﾝNo	管 種	口 径	種 別 屋内	屋外	埋設	排水気	実 数 量		実数量x1.1 (65以下)
1	SUS	32	1				0.250 ＋ 0.250	0.500	0.55
1	SUS	50	1				0.325 ＋ 0.325 ＋ 0.500 ＋ 0.380 ＋ 0.925 ＋ 0.550 ＋ 0.325 ＋ 0.200 ＋ 0.250 ＋ 0.400 ＋ 0.385 ＋ 0.250 ＋ 0.400 ＋ 0.200	5.415	5.96

小配管重量計算書（ステンレス鋼鋼管）

加西市 別府中地区【撤去】(補助)　　機械設備工事

	口　径	屋内配管			屋外配管			埋設配管		
		設計数量	重　量		設計数量	重　量		設計数量	重　量	
	(mm)	(m)	単重(kg/m)	重量（kg）	(m)	単重(kg/m)	重量（kg）	(m)	単重(kg/m)	重量（kg）
鋼管・小配管ＶＬＰ・ＳＵＳ含む	15									
	20									
	25									
	32	0.55	3.51	1.93						
	40									
	50	5.96	5.50	32.78						
	65									
	80									
	100									
	125									
	150									
	200									
	250									
	300									
	350									
	計			34.71						
合計								34.71kg	＝	34kg

弁・その他物品重量集計

加西市 別府中地区【撤去】(補助)　　機械設備工事

	仕切弁 ﾌﾗﾝｼﾞ 50A	仕切弁 ﾌﾗﾝｼﾞ 65A	仕切弁 ﾌﾗﾝｼﾞ 100A	逆止弁 ﾌﾗﾝｼﾞ 50A	ﾎﾞｰﾙ弁 ねじ込み 20A	ﾎﾞｰﾙ弁 ねじ込み 25A	ﾎﾞｰﾙ弁 ねじ込み 32A	ﾎﾞｰﾙ弁 ねじ込み 40A	ﾎﾞｰﾙ弁 ﾌﾗﾝｼﾞ 50A	ﾎﾞｰﾙ弁 ﾌﾗﾝｼﾞ 65A	ﾎﾞｰﾙ弁 ﾌﾗﾝｼﾞ 80A	電動三方ﾎﾞｰﾙ弁 ﾌﾗﾝｼﾞ 50A	玉形弁 ねじ込み 20A
単位重量(kg)	11	14	25.5	6.4	0.26	0.4	0.68	0.83	8.5	15.5	19.9	24	0.93
ｽｹﾙﾄﾝ1	2						1					1	
その他	4	2	1	2	6	1	5	24	2	1	1		4
合　計	6	2	1	2	6	1	6	24	2	1	1	1	4
重量(kg)	66.00	28.00	25.50	12.80	1.56	0.40	4.08	19.92	17.00	15.50	19.90	24.00	3.72

弁・その他物品重量集計

加西市 別府中地区【撤去】(補助)　　機械設備工事

	玉形弁 ねじ込み 25A	玉形弁 ねじ込み 32A	玉形弁 ﾌﾗﾝｼﾞ 50A	玉形弁 ﾌﾗﾝｼﾞ 65A	電磁弁 ねじ込み 20A	電磁弁 ねじ込み 32A							
単位重量(kg)	1.5	1.97	10.5	14.3	1.6	2.8							
ｽｹﾙﾄﾝ1													
その他	1	11	1	1	2	1							
合　計	1	11	1	1	2	1							
重量(kg)	1.50	21.67	10.50	14.30	3.20	2.80							

撤去費（弁のみ撤去）
20A　12 = 6+4+2
25A　2 = 1+1
32A　17 = 5+11+1
40A　24
50A　9 = 4+2+2+1
65A　4 = 2+1+1
80A　1
100A　1

重量合計	292kg

数 量 集 計 表

機械設備工事(汚泥処分)

加西市 別府中地区【撤去】(補助)

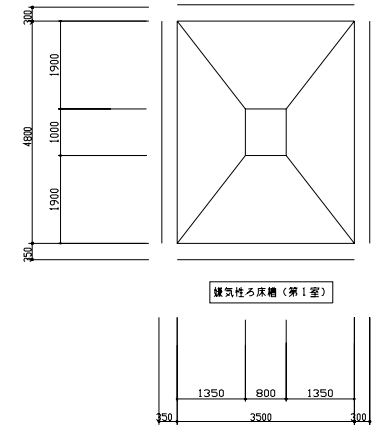
名　称	規格．区分	数量	単位	計算書No
【汚泥処分】				
嫌気性ろ床槽（第1室）		16	m3	S-1
嫌気性ろ床槽（第2室）		16	m3	S-2
嫌気性ろ床槽（第3室）		16	m3	S-3

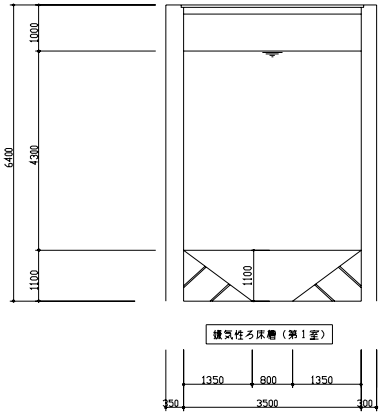
汚泥処分計算書

加西市 別府中地区【撤去】(補助)

No. S-1

項　　目	嫌気性ろ床槽（第1室）	数量	1





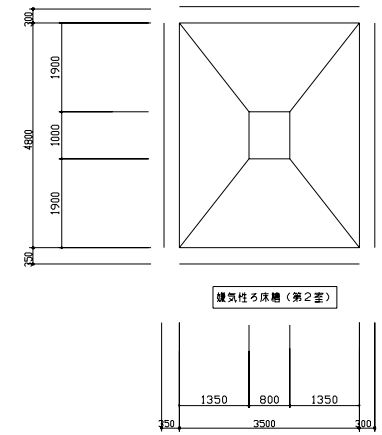
名　　称	規格	数量	計　　算	単位	計
汚泥処分		1	(1.1÷6×((3.5×1.0＋0.8×4.8)		
			＋2×(0.8×1.0＋3.5×4.8))		
			＋(3.5×4.8×4.3))×0.2	m3	16

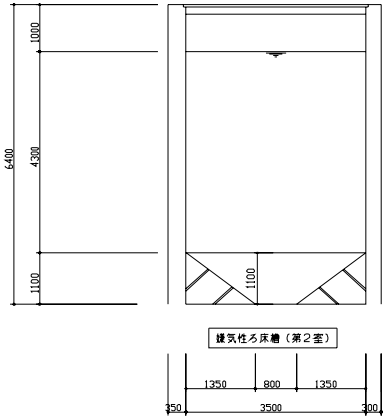
汚泥処分計算書

加西市 別府中地区【撤去】(補助)

No. S-2

項　　目	嫌気性ろ床槽（第2室）	数量	1





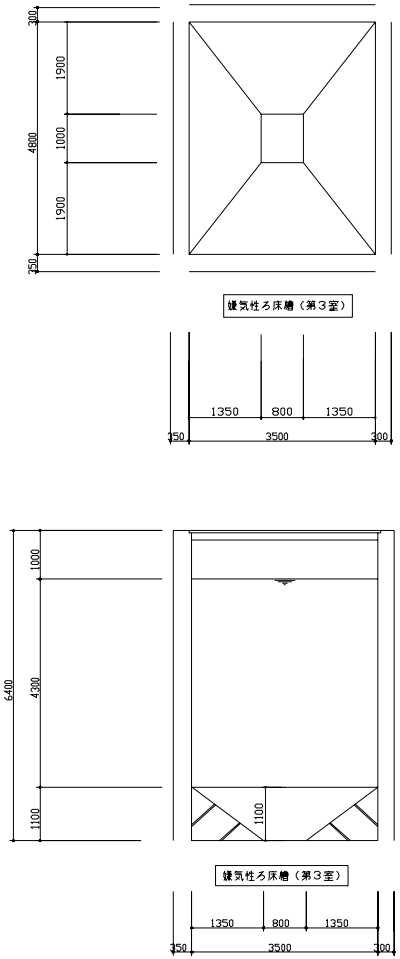
名　　称	規格	数量	計　　算	単位	計
汚泥処分		1	(1.1÷6×((3.5×1.0＋0.8×4.8)		
			＋2×(0.8×1.0＋3.5×4.8))		
			＋(3.5×4.8×4.3))×0.2	m3	16

汚泥処分計算書

加西市 別府中地区【撤去】(補助)

No. S-3

項　　目	嫌気性ろ床槽（第3室）	数量	1



名　　称	規格	数量	計　　算	単位	計
汚泥処分		1	(1.1÷6×((3.5×1.0+0.8×4.8)		
			+2×(0.8×1.0+3.5×4.8))		
			+(3.5×4.8×4.3))×0.2	m3	16

撤 去 機 器 集 計 表 （1／1）

加西市 別府中地区【撤去】(非補助)　　機械設備工事

名称及び規格	数量	単位	備考	名称及び規格	数量	単位	備考
【撤去処分】							
汚泥処分　合計	1	式	192m3				

数 量 集 計 表

機械設備工事(汚泥処分)

加西市 別府中地区【撤去】(非補助)

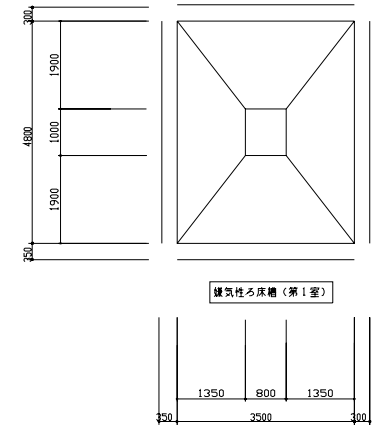
名　称	規格．区分	数量	単位	計算書No
【汚泥処分】				
嫌気性ろ床槽（第1室）		64	m3	S-1
嫌気性ろ床槽（第2室）		64	m3	S-2
嫌気性ろ床槽（第3室）		64	m3	S-3

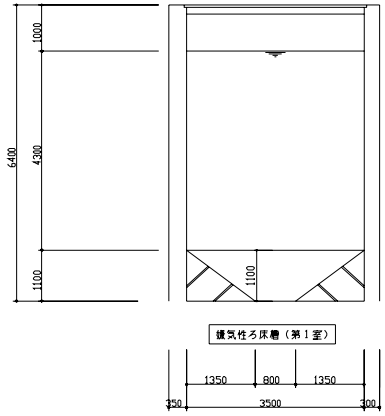
汚泥処分計算書

加西市 別府中地区【撤去】(非補助)

No. S-1

項　　目	嫌気性ろ床槽（第1室）	数量	1





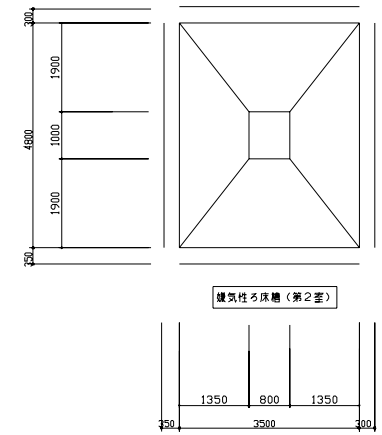
名　　称	規格	数量	計　　算	単位	計
汚泥処分		1	(1.1÷6×((3.5×1.0＋0.8×4.8)		
			＋2×(0.8×1.0＋3.5×4.8))		
			＋(3.5×4.8×4.3))×0.8	m3	64

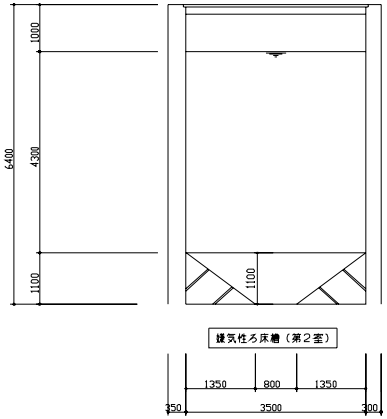
汚泥処分計算書

加西市 別府中地区【撤去】(非補助)

No. S-2

項　　目	嫌気性ろ床槽（第2室）	数量	1





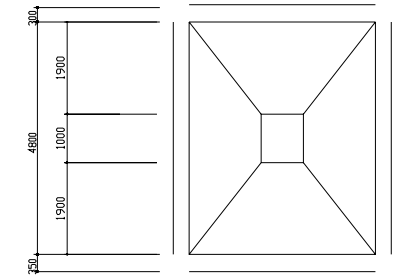
名　　称	規格	数量	計　　算	単位	計
汚泥処分		1	(1.1÷6×((3.5×1.0＋0.8×4.8)		
			＋2×(0.8×1.0＋3.5×4.8))		
			＋(3.5×4.8×4.3))×0.8	m3	64

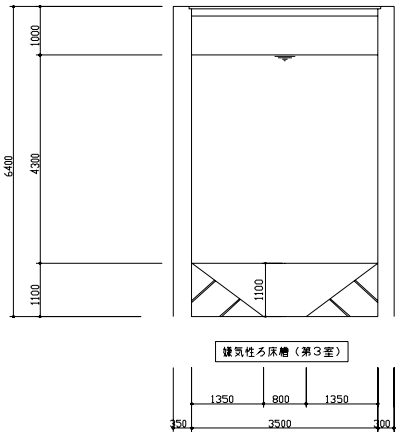
汚泥処分計算書

加西市 別府中地区【撤去】(非補助)

No. S-3

項　　目	嫌気性ろ床槽（第3室）	数量	1





名　　称	規格	数量	計　　算	単位	計
汚泥処分		1	(1.1÷6×((3.5×1.0＋0.8×4.8)		
			＋2×(0.8×1.0＋3.5×4.8))		
			＋(3.5×4.8×4.3))×0.8	m3	64

3. 電 気 設 備 工 事（補助）

更 新 機 器 集 計 表 （1／2）

加西市　別府中地区【更新】（補助）　　電気設備工事

名 称 及 び 規 格	数量	単位	備 考	名 称 及 び 規 格	数 量	備 考
【新設】						
引込開閉器盤(W500×H1100×D250)	1	面				
汚水処理制御盤・計装盤(改修)	1	式				
遠方監視装置(処理場)	1	台				
電動弁制御盤(W700×H1750×D440)	1	面				

更 新 機 器 集 計 表 （2／2）

加西市　別府中地区【更新】（補助）　　電気設備工事

名 称 及 び 規 格	数量	単位	備 考	名 称 及 び 規 格	数 量	備 考
中継ポンプ場【新設】						
中継ﾎﾟﾝﾌﾟ盤(改修)	3	式				
遠方監視装置(中継ﾎﾟﾝﾌﾟ場)	3	式				
投込式水位計(投込圧力式・中継ﾎﾟﾝﾌﾟ場用)	3	個	専用ｹｰﾌﾞﾙ20m			

撤 去 機 器 集 計 表 （1／2）

加西市　別府中地区【撤去】（補助）　　電気設備工事

名 称 及 び 規 格	数量	単位	備 考	名 称 及 び 規 格	数量	単位	備 考
【撤去】　補助							
引込開閉器盤(W500×H1100×D250)	1	面		機器処分(金属くず)	1	式	0.06t
動力設備　材料撤去工	1	式					

撤 去 機 器 集 計 表 （2／2）

加西市　別府中地区【撤去】（補助）　　電気設備工事

名 称 及 び 規 格	数量	単位	備 考	名 称 及 び 規 格	数量	単位	備 考
中継ポンプ場　【撤去】							
【撤去処分】				機器処分(金属くず)	1	式	0.036t
ﾌﾛｰﾄ式水位計	9	個					
動力設備　材料据付工	1	式					

電気設備工事(土木附帯工事)　　数 量 集 計 表

電気設備工事

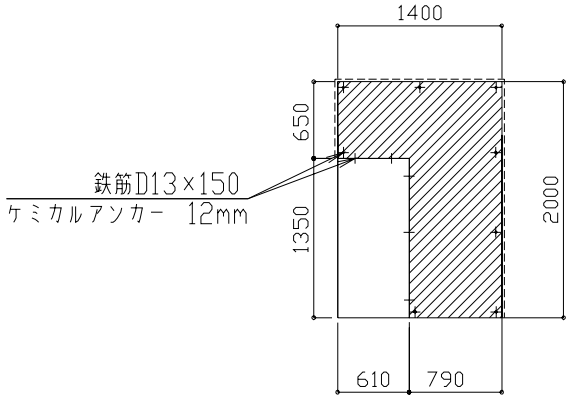
名　称	規格．区分	数量	単位	計算書No
(更新)				
自動窒素りん測定装置・UV計基礎				
無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	18-12-25、生ｺﾝｸﾘｰﾄ(高炉B)、小型構造物	0.2	m3	S-1
型枠工	小型構造物	0.41	m2	S-1
鉄筋	D13×150L	13	本	S-1
ｹﾐｶﾙｱﾝｶｰ	12mm	13	本	S-1
防塵塗装	ｳﾚﾀﾝ系　下地処理共	2.19	m2	S-1
既設UV計基礎撤去部補修				
防塵塗装	ｳﾚﾀﾝ系　下地処理共	0.49	m2	S-2
ﾓﾙﾀﾙ仕上	1：3	0.49	m2	S-2

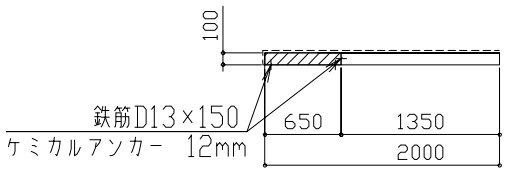
複合工計算書

電気設備工事

No. S-1

項　目	自動窒素りん測定装置・UV計基礎	数量	1





凡　例

--------- 防塵塗装

▨ 機械基礎打設

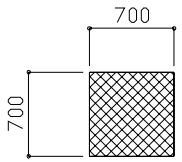
名　称	規格	数量	計　算	単位	計
無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	18-12-25	1	((0.65×0.61)＋(2.0×0.79))×0.1	m3	0.2
型枠工	小型構造物	1	(0.65＋1.4+2.0)×0.1	m2	0.41
鉄筋	D13×150L	13	1×13	本	13
ｹﾐｶﾙｱﾝｶｰ	12mm	13	1×13	本	13
防塵塗装	ｳﾚﾀﾝ系	1	(0.65×0.61)＋(2.0×0.79) ＋((0.65＋1.4+2.0)×0.1)	m2	2.19

複合工計算書

電気設備工事

No. S-2

項　目	既設UV計基礎撤去部補修	数量	1



凡　例

▨ モルタル仕上・防塵塗装

名　称	規格	数量	計　算	単位	計
防塵塗装	ｳﾚﾀﾝ系	1	0.7×0.7	m2	0.49
ﾓﾙﾀﾙ仕上	1：3	1	0.7×0.7	m2	0.49

電気設備工事(土木附帯工事)　　数 量 集 計 表

電気設備工事

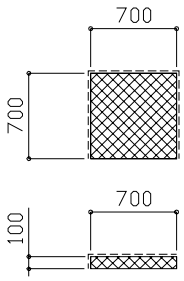
名　称	規格．区分	数量	単位	計算書No
（撤去）				
UV計基礎				
機械基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ取り壊し	無筋,3m3未満	0.05	m3	S-1
防塵塗装剥離工		0.7	m2	S-1

複合工計算書

電気設備工事

No. S-1

項　目	UV計基礎	数量	1



凡　例

--------- 防塵塗装剥離

機械基礎【撤去】

名　称	規格	数量	計　算	単位	計
機械基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ取り壊し	無筋,3m3未満	1	(0.7×0.7)×0.1	m3	0.05
防塵塗装剥離工		1	(0.7×0.7)＋(0.7×3×0.1)	m2	0.7

加西市　別府中地区【改修】（補助）
動力設備工事

配　線　材　料　集　計　表

配線材料内訳番号	CVV2cq-8C										水中ﾎﾟﾝﾌﾟ専用ｹｰﾌﾞﾙ 600V CV3.5sq-4C相当									
	地中	屋外	屋内	屋内							地中	屋外	屋内	屋内						
	地中管	管・ﾀﾞｸﾄ	管・ﾀﾞｸﾄ	ﾗｯｸ							地中管	管・ﾀﾞｸﾄ	管・ﾀﾞｸﾄ	ﾗｯｸ						
第　線1-1号			106.0										1.7							
合計数量(A)			106.0										1.7							
補完率(B)			1.1										1.1							
(A)×(B)=(C)			116.60										1.87							
設計数量(m)			116.6										1.9							
設計数量合計(m)				116.6										1.9						

加西市　別府中地区【改修】（補助）
動力設備工事

配　線　材　料　集　計　表

配線材料内訳番号	破砕機専用ｹｰﾌﾞﾙ 600V CV3.5sq-4C相当																			
	地中	屋外	屋内	屋内							地中	屋外	屋内	屋内						
	地中管	管・ﾀﾞｸﾄ	管・ﾀﾞｸﾄ	ﾗｯｸ							地中管	管・ﾀﾞｸﾄ	管・ﾀﾞｸﾄ	ﾗｯｸ						
第　線2-1号			0.6																	
合計数量(A)			0.6																	
補完率(B)			1.1																	
(A)×(B)=(C)			0.66																	
設計数量(m)			0.7																	
設計数量合計(m)				0.7																

加西市　別府中地区【改修】（補助）
動力設備工事

配　管　材　料　集　計　表

配管材料内訳番号	GP28										GP70									
	地中槽内	屋外埋設	屋外露出	屋内埋設	屋内露出						地中槽内	屋外埋設	屋外露出	屋内埋設	屋内露出					
第　管1-1号					18.0										11.0					
合計数量(A)					18.0										11.0					
補完率(B)					1.1										1.1					
(A)×(B)=(C)					19.80										12.10					
設計数量(m)					19.8										12.1					
設計数量合計(m)					19.8										12.1					

加西市　別府中地区【改修】（補助）
動力設備工事

材 料 集 計 表

材料内訳番号	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ 300×300×300 PVC製	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ 600×600×300 PVC製	ｺｱ抜き φ100 壁 厚=150							
第 物1-1号	2	1	1							
合計数量(A)	2	1	1							
補完率(B)	1	1	1							
(A)×(B)=(C)	2	1	1							
設計数量合計(m)	2	1	1							

加西市　別府中地区【改修】（補助）
動力設備工事

配　線　材　料　内　訳　表

配線区間			CVV2cq-8C										水中ﾎﾟﾝﾌﾟ専用ｹｰﾌﾞﾙ 600V CV3.5sq-4C相当									
NO.	自	至	地中	屋外	屋内	屋内							地中	屋外	屋内	屋内						
			地中管	管・ﾀﾞｸﾄ	管・ﾀﾞｸﾄ	ﾗｯｸ							地中管	管・ﾀﾞｸﾄ	管・ﾀﾞｸﾄ	ﾗｯｸ						
1001	電動弁制御盤	PB-101～PB-102			7.2																	
1002	PB-102	PB-103			80.8																	
1003	PB-103	MV-1-1			2.3																	
1004	PB-103	MV-1-2			2.8																	
1005	PB-103	MV-2-1			3.0																	
1006	PB-103	MV-2-2			2.0																	
1007	PB-103	MV-3-1			2.5																	
1008	PB-103	MV-3-2			2.2																	
1009	PB-103	MV-4			1.8																	
1010	PB-103	MV-5			1.4																	
1011	PB-12	P-4													1.7							
1012	PB-1	M-2																				
1013																						
1014																						
1015																						
1016																						
1017																						
1018																						
1019																						
1020																						
1021																						
1022																						
1023																						
1024																						
1025																						
1026																						
1027																						
1028																						
1029																						
1030																						
1031																						
1032																						
1033																						
1034																						
1035																						
1036																						
1037																						
1038																						
1039																						
1040																						
1041																						
1042																						
1043																						
1044																						
（第　線1-1号）					106.0										1.7							

加西市　別府中地区【改修】（補助）
動力設備工事

配　線　材　料　内　訳　表

配線区間			破砕機専用ｹｰﾌﾞﾙ 600V CV3.5sq-4C相当																					
NO.	自	至	地中	屋外	屋内	屋内							地中	屋外	屋内	屋内								
			地中管	管・ﾀﾞｸﾄ	管・ﾀﾞｸﾄ	ﾗｯｸ							地中管	管・ﾀﾞｸﾄ	管・ﾀﾞｸﾄ	ﾗｯｸ								
1001	電動弁制御盤	PB-101～PB-102																						
1002	PB-102	PB-103																						
1003	PB-103	MV-1-1																						
1004	PB-103	MV-1-2																						
1005	PB-103	MV-2-1																						
1006	PB-103	MV-2-2																						
1007	PB-103	MV-3-1																						
1008	PB-103	MV-3-2																						
1009	PB-103	MV-4																						
1010	PB-103	MV-5																						
1011	PB-12	P-4																						
1012	PB-1	M-2			0.6																			
1013																								
1014																								
1015																								
1016																								
1017																								
1018																								
1019																								
1020																								
1021																								
1022																								
1023																								
1024																								
1025																								
1026																								
1027																								
1028																								
1029																								
1030																								
1031																								
1032																								
1033																								
1034																								
1035																								
1036																								
1037																								
1038																								
1039																								
1040																								
1041																								
1042																								
1043																								
1044																								
（第　線2-1号）					0.6																			

加西市　別府中地区【改修】（補助）
動力設備工事

配　管　材　料　内　訳　表

配　管　区　間			GP28										GP70									
NO.	自	至	地中 槽内	屋外 埋設	屋外 露出	屋内 埋設	屋内 露出						地中 槽内	屋外 埋設	屋外 露出	屋内 埋設	屋内 露出					
1001	電動弁制御盤	PB-101～PB-102															0.9					
1002	PB-102	PB-103															10.1					
1003	PB-103	MV-1-1					2.3															
1004	PB-103	MV-1-2					2.8															
1005	PB-103	MV-2-1					3.0															
1006	PB-103	MV-2-2					2.0															
1007	PB-103	MV-3-1					2.5															
1008	PB-103	MV-3-2					2.2															
1009	PB-103	MV-4					1.8															
1010	PB-103	MV-5					1.4															
1011	PB-12	P-4																				
1012	PB-1	M-2																				
1013																						
1014																						
1015																						
1016																						
1017																						
1018																						
1019																						
1020																						
1021																						
1022																						
1023																						
1024																						
1025																						
1026																						
1027																						
1028																						
1029																						
1030																						
1031																						
1032																						
1033																						
1034																						
1035																						
1036																						
1037																						
1038																						
1039																						
1040																						
1041																						
1042																						
1043																						
1044																						
（第　管1-1号）							18.0										11.0					

加西市　別府中地区【改修】（補助）
動力設備工事

材　料　内　訳　表

配線区間			プルボックス 300×300×300 PVC製	プルボックス 600×600×300 PVC製	コア抜き φ100 壁 厚=150							
NO.	自	至										
1001	電動弁制御盤	PB-101～PB-102	2		1							
1002	PB-102	PB-103		1								
1003	PB-103	MV-1-1										
1004	PB-103	MV-1-2										
1005	PB-103	MV-2-1										
1006	PB-103	MV-2-2										
1007	PB-103	MV-3-1										
1008	PB-103	MV-3-2										
1009	PB-103	MV-4										
1010	PB-103	MV-5										
1011	PB-12	P-4										
1012	PB-1	M-2										
1013												
1014												
1015												
1016												
1017												
1018												
1019												
1020												
1021												
1022												
1023												
1024												
1025												
1026												
1027												
1028												
1029												
1030												
1031												
1032												
1033												
1034												
1035												
1036												
1037												
1038												
1039												
1040												
1041												
1042												
1043												
1044												
（第　物1-1号）			2	1	1							

コア抜き残塊処分集計
加西市　別府中地区【改修】(補助)

名　称	部　位	算　　式	数量
鉄筋Co 残塊処分工	壁部 φ100 L=150	(π×　0.05 ^2)　×　0.15 ×　1　ヵ所	0.001　m3
		小計	0.001　m3
		小計	

名　称	部　位	算　　式	数量
			小計
			小計
			合計　0.01　m3

加西市　別府中地区【改修】（補助）
動力設備工事

拾　出　根　拠　表

NO.	自	至	種別・ｻｲｽﾞ	本数	経　路		合計	計　算　根　拠
1001	電動弁 制御盤	PB-101 ～PB-102	CVV2cq-8C	8	地中	地中管		
					屋外	管・ﾀﾞｸﾄ		
					屋内	管・ﾀﾞｸﾄ	7.2	0.4 ＋ 0.5
					屋内	ﾗｯｸ		
			GP70	1	地中	構内		
					屋外	埋設		
					屋外	露出		
					屋内	埋設		
					屋内	露出	0.9	0.4 ＋ 0.5
1002	PB-102	PB-103	CVV2cq-8C	8	地中	地中管		
					屋外	管・ﾀﾞｸﾄ		
					屋内	管・ﾀﾞｸﾄ	80.8	2.7 ＋ 5.7 ＋ 1.7
					屋内	ﾗｯｸ		
			GP70	1	地中	構内		
					屋外	埋設		
					屋外	露出		
					屋内	埋設		
					屋内	露出	10.1	2.7 ＋ 5.7 ＋ 1.7

加西市　別府中地区【改修】（補助）
動力設備工事

拾　出　根　拠　表

NO.	自	至	種別・ｻｲｽﾞ	本数	経　路		合計	計　算　根　拠
1003	PB-103	MV-1-1	CVV2cq-8C	1	地中	地中管		
					屋外	管・ﾀﾞｸﾄ		
					屋内	管・ﾀﾞｸﾄ	2.3	1.6 ＋ 0.3 ＋ 0.4
					屋内	ﾗｯｸ		
			GP28	1	地中	構内		
					屋外	埋設		
					屋外	露出		
					屋内	埋設		
					屋内	露出	2.3	1.6 ＋ 0.3 ＋ 0.4
1004	PB-103	MV-1-2	CVV2cq-8C	1	地中	地中管		
					屋外	管・ﾀﾞｸﾄ		
					屋内	管・ﾀﾞｸﾄ	2.8	1.6 ＋ 0.8 ＋ 0.4
					屋内	ﾗｯｸ		
			GP28	1	地中	構内		
					屋外	埋設		
					屋外	露出		
					屋内	埋設		
					屋内	露出	2.8	1.6 ＋ 0.8 ＋ 0.4

加西市　別府中地区【改修】（補助）
動力設備工事

拾　出　根　拠　表

NO.	自	至	種別・ｻｲｽﾞ	本数	経　路		合計	計　算　根　拠
1005	PB-103	MV-2-1	CVV2cq-8C	1	地中	地中管		
					屋外	管・ﾀﾞｸﾄ		
					屋内	管・ﾀﾞｸﾄ	3.0	1.8 ＋ 0.8 ＋ 0.4
					屋内	ﾗｯｸ		
			GP28	1	地中	構内		
					屋外	埋設		
					屋外	露出		
					屋内	埋設		
					屋内	露出	3.0	1.8 ＋ 0.8 ＋ 0.4
1006	PB-103	MV-2-2	CVV2cq-8C	1	地中	地中管		
					屋外	管・ﾀﾞｸﾄ		
					屋内	管・ﾀﾞｸﾄ	2.0	1.6 ＋ 0.4
					屋内	ﾗｯｸ		
			GP28	1	地中	構内		
					屋外	埋設		
					屋外	露出		
					屋内	埋設		
					屋内	露出	2.0	1.6 ＋ 0.4

加西市　別府中地区【改修】（補助）
動力設備工事

拾　出　根　拠　表

NO.	自	至	種別・ｻｲｽﾞ	本数	経　路		合計	計　算　根　拠
1007	PB-103	MV-3-1	CVV2cq-8C	1	地中	地中管		
					屋外	管・ﾀﾞｸﾄ		
					屋内	管・ﾀﾞｸﾄ	2.5	1.8 ＋ 0.3 ＋ 0.4
					屋内	ﾗｯｸ		
			GP28	1	地中	構内		
					屋外	埋設		
					屋外	露出		
					屋内	埋設		
					屋内	露出	2.5	1.8 ＋ 0.3 ＋ 0.4
1008	PB-103	MV-3-2	CVV2cq-8C	1	地中	地中管		
					屋外	管・ﾀﾞｸﾄ		
					屋内	管・ﾀﾞｸﾄ	2.2	1.8 ＋ 0.4
					屋内	ﾗｯｸ		
			GP28	1	地中	構内		
					屋外	埋設		
					屋外	露出		
					屋内	埋設		
					屋内	露出	2.2	1.8 ＋ 0.4

加西市　別府中地区【改修】（補助）
動力設備工事

拾　出　根　拠　表

NO.	自	至	種別・ｻｲｽﾞ	本数	経　路		合計	計　算　根　拠
1009	PB-103	MV-4	CVV2cq-8C	1	地中	地中管		
					屋外	管・ﾀﾞｸﾄ		
					屋内	管・ﾀﾞｸﾄ	1.8	1.4 ＋ 0.4
					屋内	ﾗｯｸ		
			GP28	1	地中	構内		
					屋外	埋設		
					屋外	露出		
					屋内	埋設		
					屋内	露出	1.8	1.4 ＋ 0.4
1010	PB-103	MV-5	CVV2cq-8C	1	地中	地中管		
					屋外	管・ﾀﾞｸﾄ		
					屋内	管・ﾀﾞｸﾄ	1.4	0.8 ＋ 0.6
					屋内	ﾗｯｸ		
			GP28	1	地中	構内		
					屋外	埋設		
					屋外	露出		
					屋内	埋設		
					屋内	露出	1.4	0.8 ＋ 0.6

加西市　別府中地区【改修】（補助）
動力設備工事

拾　出　根　拠　表

NO.	自	至	種別・ｻｲｽﾞ	本数	経　路		合計	計　算　根　拠
1011	PB-12	P-4	水中ﾎﾟﾝﾌﾟ専用ｹｰﾌﾞﾙ 600V CV3.5sq-4C相当	1	地中	地中管		
					屋外	管・ﾀﾞｸﾄ		
					屋内	管・ﾀﾞｸﾄ	1.7	0.3 ＋　0.9 ＋　0.5
					屋内	ﾗｯｸ		
					地中	構内		
					屋外	埋設		
					屋外	露出		
					屋内	埋設		
					屋内	露出		
1012	PB-1	M-2	破砕機専用ｹｰﾌﾞﾙ 600V CV3.5sq-4C相当	1	地中	地中管		
					屋外	管・ﾀﾞｸﾄ		
					屋内	管・ﾀﾞｸﾄ	0.6	0.2 ＋　0.4
					屋内	ﾗｯｸ		
					地中	構内		
					屋外	埋設		
					屋外	露出		
					屋内	埋設		
					屋内	露出		

加西市　別府中地区【撤去】(補助)
動力設備工事

配 線 材 料 集 計 表

配線材料内訳番号	水中ﾎﾟﾝﾌﾟ専用ｹｰﾌﾞﾙ 600V CV3.5sq-4C相当										破砕機専用ｹｰﾌﾞﾙ 600V CV3.5sq-4C相当									
	地中	屋外	屋内	屋内							地中	屋外	屋内	屋内						
	地中管	管・ﾀﾞｸﾄ	管・ﾀﾞｸﾄ	ﾗｯｸ							地中管	管・ﾀﾞｸﾄ	管・ﾀﾞｸﾄ	ﾗｯｸ						
第　線1-1号			1.7										0.6							
合計数量(A)			1.7										0.6							
補完率(B)			1.1										1.1							
(A)×(B)=(C)			1.87										0.66							
設計数量(m)			1.9										0.7							
設計数量合計(m)				1.9										0.7						

加西市　別府中地区【撤去】(補助)
動力設備工事

配 線 材 料 集 計 表

配線材料内訳番号	600V CV3.5sq-2C										CVV2.0sq-6C									
	地中 地中管	屋外 管・ﾀﾞｸﾄ	屋内 管・ﾀﾞｸﾄ	屋内 ﾗｯｸ							地中 地中管	屋外 管・ﾀﾞｸﾄ	屋内 管・ﾀﾞｸﾄ	屋内 ﾗｯｸ						
第　線2-1号			12.4										12.4							
合計数量(A)			12.4										12.4							
補完率(B)			1.1										1.1							
(A)×(B)=(C)			13.64										13.64							
設計数量(m)			13.6										13.6							
設計数量合計(m)				13.6										13.6						

加西市　別府中地区【撤去】(補助)
動力設備工事

配 線 材 料 集 計 表

配線材料内訳番号	600V CV3.5sq-3C										600V IV 2sq									
	地中 地中管	屋外 管・ﾀﾞｸﾄ	屋内 管・ﾀﾞｸﾄ	屋内 ﾗｯｸ							地中 地中管	屋外 管・ﾀﾞｸﾄ	屋内 管・ﾀﾞｸﾄ	屋内 ﾗｯｸ						
第　線3-1号			5.3										5.3							
合計数量(A)			5.3										5.3							
補完率(B)			1.1										1.1							
(A)×(B)=(C)			5.83										5.83							
設計数量(m)			5.8										5.8							
設計数量合計(m)				5.8										5.8						

加西市　別府中地区【撤去】(補助)
動力設備工事

材 料 集 計 表

材料内訳番号	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ 150×150×100 SUS製									
第 物1-1号	1									
合計数量(A)	1									
補完率(B)	1									
(A)×(B)=(C)	1									
設計数量合計(m)	1									

加西市　別府中地区【撤去】(補助)
動力設備工事

配　線　材　料　内　訳　表

配線区間			水中ﾎﾟﾝﾌﾟ専用ｹｰﾌﾞﾙ 600V CV3.5sq-4C相当										破砕機専用ｹｰﾌﾞﾙ 600V CV3.5sq-4C相当									
NO.	自	至	地中 地中管	屋外 管・ﾀﾞｸﾄ	屋内 管・ﾀﾞｸﾄ	屋内 ﾗｯｸ							地中 地中管	屋外 管・ﾀﾞｸﾄ	屋内 管・ﾀﾞｸﾄ	屋内 ﾗｯｸ						
1001	PB-12	P-4			1.7																	
1002	PB-1	M-2													0.6							
1003	汚水処理制御盤	PB-2～MV-1																				
1004	汚水処理制御盤	PB-2～MV-1																				
1005	汚水処理制御盤	B-4																				
1006	汚水処理制御盤	B-4																				
1007																						
1008																						
1009																						
1010																						
1011																						
1012																						
1013																						
1014																						
1015																						
1016																						
1017																						
1018																						
1019																						
1020																						
1021																						
1022																						
1023																						
1024																						
1025																						
1026																						
1027																						
1028																						
1029																						
1030																						
1031																						
1032																						
1033																						
1034																						
1035																						
1036																						
1037																						
1038																						
1039																						
1040																						
1041																						
1042																						
1043																						
1044																						
（第　線1-1号）					1.7										0.6							

加西市　別府中地区【撤去】(補助)
動力設備工事

配 線 材 料 内 訳 表

配線区間			600V CV3.5sq-2C										CVV2.0sq-6C									
NO.	自	至	地中 地中管	屋外 管・ﾀﾞｸﾄ	屋内 管・ﾀﾞｸﾄ	屋内 ﾗｯｸ							地中 地中管	屋外 管・ﾀﾞｸﾄ	屋内 管・ﾀﾞｸﾄ	屋内 ﾗｯｸ						
1001	PB-12	P-4																				
1002	PB-1	M-2																				
1003	汚水処理制御盤	PB-2～MV-1			12.4																	
1004	汚水処理制御盤	PB-2～MV-1													12.4							
1005	汚水処理制御盤	B-4																				
1006	汚水処理制御盤	B-4																				
1007																						
1008																						
1009																						
1010																						
1011																						
1012																						
1013																						
1014																						
1015																						
1016																						
1017																						
1018																						
1019																						
1020																						
1021																						
1022																						
1023																						
1024																						
1025																						
1026																						
1027																						
1028																						
1029																						
1030																						
1031																						
1032																						
1033																						
1034																						
1035																						
1036																						
1037																						
1038																						
1039																						
1040																						
1041																						
1042																						
1043																						
1044																						
(第　線2-1号)					12.4										12.4							

加西市　別府中地区【撤去】(補助)
動力設備工事

配 線 材 料 内 訳 表

配線区間			600V CV3.5sq-3C										600V IV 2sq									
NO.	自	至	地中 地中管	屋外 管・ﾀﾞｸﾄ	屋内 管・ﾀﾞｸﾄ	屋内 ﾗｯｸ							地中 地中管	屋外 管・ﾀﾞｸﾄ	屋内 管・ﾀﾞｸﾄ	屋内 ﾗｯｸ						
1001	PB-12	P-4																				
1002	PB-1	M-2																				
1003	汚水処理制御盤	PB-2～MV-1																				
1004	汚水処理制御盤	PB-2～MV-1																				
1005	汚水処理制御盤	B-4			5.3																	
1006	汚水処理制御盤	B-4													5.3							
1007																						
1008																						
1009																						
1010																						
1011																						
1012																						
1013																						
1014																						
1015																						
1016																						
1017																						
1018																						
1019																						
1020																						
1021																						
1022																						
1023																						
1024																						
1025																						
1026																						
1027																						
1028																						
1029																						
1030																						
1031																						
1032																						
1033																						
1034																						
1035																						
1036																						
1037																						
1038																						
1039																						
1040																						
1041																						
1042																						
1043																						
1044																						
(第　線3-1号)					5.3										5.3							

加西市　別府中地区【撤去】(補助)
動力設備工事

材　料　内　訳　表

配線区間			プルボックス 150×150×100 SUS製									
NO.	自	至										
1001	PB-12	P-4										
1002	PB-1	M-2										
1003	汚水処理制御盤	PB-2～MV-1										
1004	汚水処理制御盤	PB-2～MV-1										
1005	汚水処理制御盤	B-4	1									
1006	汚水処理制御盤	B-4										
1007												
1008												
1009												
1010												
1011												
1012												
1013												
1014												
1015												
1016												
1017												
1018												
1019												
1020												
1021												
1022												
1023												
1024												
1025												
1026												
1027												
1028												
1029												
1030												
1031												
1032												
1033												
1034												
1035												
1036												
1037												
1038												
1039												
1040												
1041												
1042												
1043												
1044												
（第　物1-1号）			1									

加西市　別府中地区【撤去】(補助)
動力設備工事

拾　出　根　拠　表

NO.	自	至	種別・ｻｲｽﾞ	本数	経　路		合計	計　算　根　拠
1001	PB-12	P-4	水中ﾎﾟﾝﾌﾟ専用ｹｰﾌﾞﾙ 600V CV3.5sq-4C相当	1	地中	地中管		
					屋外	管・ﾀﾞｸﾄ		
					屋内	管・ﾀﾞｸﾄ	1.7	0.3 ＋　0.9 ＋　0.5
					屋内	ﾗｯｸ		
					地中	構内		
					屋外	埋設		
					屋外	露出		
					屋内	埋設		
					屋内	露出		
1002	PB-1	M-2	破砕機専用ｹｰﾌﾞﾙ 600V CV3.5sq-4C相当	1	地中	地中管		
					屋外	管・ﾀﾞｸﾄ		
					屋内	管・ﾀﾞｸﾄ	0.6	0.2 ＋　0.4
					屋内	ﾗｯｸ		
					地中	構内		
					屋外	埋設		
					屋外	露出		
					屋内	埋設		
					屋内	露出		

加西市　別府中地区【撤去】(補助)
動力設備工事

拾　出　根　拠　表

NO.	自	至	種別・ｻｲｽﾞ	本数	経　路		合計	計　算　根　拠
1003	汚水処理制御盤	PB-2～MV-1	600V CV3.5sq-2C	1	地中	地中管		
					屋外	管・ﾀﾞｸﾄ		
					屋内	管・ﾀﾞｸﾄ	12.4	0.2 ＋ 1.1 ＋ 7.3 ＋ 3.3 ＋ 0.3 ＋ 0.2
					屋内	ﾗｯｸ		
					地中	構内		
					屋外	埋設		
					屋外	露出		
					屋内	埋設		
					屋内	露出		
1004	汚水処理制御盤	PB-2～MV-1	CVV2.0sq-6C	1	地中	地中管		
					屋外	管・ﾀﾞｸﾄ		
					屋内	管・ﾀﾞｸﾄ	12.4	0.2 ＋ 1.1 ＋ 7.3 ＋ 3.3 ＋ 0.3 ＋ 0.2
					屋内	ﾗｯｸ		
					地中	構内		
					屋外	埋設		
					屋外	露出		
					屋内	埋設		
					屋内	露出		

加西市　別府中地区【撤去】(補助)
動力設備工事

拾　出　根　拠　表

NO.	自	至	種別・ｻｲｽﾞ	本数	経　路		合計	計　算　根　拠
1005	汚水処理 制御盤	B-4	600V CV3.5sq-3C	1	地中	地中管		
					屋外	管・ﾀﾞｸﾄ		
					屋内	管・ﾀﾞｸﾄ	5.3	0.2 ＋ 1.7 ＋ 2.8 ＋ 0.4 ＋ 0.2
					屋内	ﾗｯｸ		
					地中	構内		
					屋外	埋設		
					屋外	露出		
					屋内	埋設		
					屋内	露出		
1006	汚水処理 制御盤	B-4	600V IV 2sq	1	地中	地中管		
					屋外	管・ﾀﾞｸﾄ		
					屋内	管・ﾀﾞｸﾄ	5.3	0.2 ＋ 1.7 ＋ 2.8 ＋ 0.4 ＋ 0.2
					屋内	ﾗｯｸ		
					地中	構内		
					屋外	埋設		
					屋外	露出		
					屋内	埋設		
					屋内	露出		

加西市　別府中地区【改修】(補助)
動力設備工事　中継ﾎﾟﾝﾌﾟ場

配 線 材 料 集 計 表

配線材料内訳番号	投込式水位計専用ケーブル CVVS 2sq-4C相当																			
	地中	屋外	屋内	屋内							地中	屋外	屋内	屋内						
	地中管	管・ﾀﾞｸﾄ	管・ﾀﾞｸﾄ	ﾗｯｸ							地中管	管・ﾀﾞｸﾄ	管・ﾀﾞｸﾄ	ﾗｯｸ						
第　線1-1号	12.1	2.3																		
合計数量(A)	12.1	2.3																		
補完率(B)	1.1	1.1																		
(A)×(B)=(C)	13.31	2.53																		
設計数量(m)	13.3	2.5																		
設計数量合計(m)				15.8																

加西市　別府中地区【改修】(補助)
動力設備工事　中継ﾎﾟﾝﾌﾟ場

配　線　材　料　内　訳　表

配線区間			投込式水位計専用ケーブル CVVS　2sq-4C相当																			
NO.	自	至	地中	屋外	屋内	屋内							地中	屋外	屋内	屋内						
			地中管	管・ﾀﾞｸﾄ	管・ﾀﾞｸﾄ	ﾗｯｸ							地中管	管・ﾀﾞｸﾄ	管・ﾀﾞｸﾄ	ﾗｯｸ						
1001	第1中継ポンプ盤	LIA	3.7	0.7																		
1002	第2中継ポンプ盤	LIA	6.3	0.9																		
1003	第3中継ポンプ盤	LIA	2.1	0.7																		
1004																						
1005																						
1006																						
1007																						
1008																						
1009																						
1010																						
1011																						
1012																						
1013																						
1014																						
1015																						
1016																						
1017																						
1018																						
1019																						
1020																						
1021																						
1022																						
1023																						
1024																						
1025																						
1026																						
1027																						
1028																						
1029																						
1030																						
1031																						
1032																						
1033																						
1034																						
1035																						
1036																						
1037																						
1038																						
1039																						
1040																						
1041																						
1042																						
1043																						
1044																						
（第　線1-1号）			12.1	2.3																		

加西市　別府中地区【改修】(補助)
動力設備工事　中継ﾎﾟﾝﾌﾟ場

拾　出　根　拠　表

NO.	自	至	種別・ｻｲｽﾞ	本数	経路		合計	計算根拠
1001	第1中継ポンプ盤	LIA	投込式水位計専用ケーブル CVVS 2sq-4C相当	1	地中	地中管	3.7	0.6 ＋ 3.1
					屋外	管・ﾀﾞｸﾄ	0.7	0.7
					屋内	管・ﾀﾞｸﾄ		
					屋内	ﾗｯｸ		
			投込式水位計専用ケーブル CVVS 2sq-4C相当	1	地中	構内		
					屋外	埋設		
					屋外	露出		
					屋内	埋設		
					屋内	露出		
1002	第2中継ポンプ盤	LIA	投込式水位計専用ケーブル CVVS 2sq-4C相当	1	地中	地中管	6.3	0.6 ＋ 5.7
					屋外	管・ﾀﾞｸﾄ	0.9	0.9
					屋内	管・ﾀﾞｸﾄ		
					屋内	ﾗｯｸ		
			投込式水位計専用ケーブル CVVS 2sq-4C相当	1	地中	構内		
					屋外	埋設		
					屋外	露出		
					屋内	埋設		
					屋内	露出		

加西市　別府中地区【改修】(補助)
動力設備工事　中継ﾎﾟﾝﾌﾟ場

拾　出　根　拠　表

NO.	自	至	種別・ｻｲｽﾞ	本数	経路		合計	計算根拠
1003	第3中継ポンプ盤	LIA	投込式水位計専用ケーブル CVVS 2sq-4C相当	1	地中	地中管	2.1	0.6 ＋ 1.5
					屋外	管・ﾀﾞｸﾄ	0.7	0.7
					屋内	管・ﾀﾞｸﾄ		
					屋内	ﾗｯｸ		
					地中	構内		
					屋外	埋設		
					屋外	露出		
					屋内	埋設		
					屋内	露出		
1004					地中	地中管		
					屋外	管・ﾀﾞｸﾄ		
					屋内	管・ﾀﾞｸﾄ		
					屋内	ﾗｯｸ		
					地中	構内		
					屋外	埋設		
					屋外	露出		
					屋内	埋設		
					屋内	露出		

加西市　別府中地区【撤去】（補助）
動力設備工事　中継ﾎﾟﾝﾌﾟ場

配 線 材 料 集 計 表

配線材料内訳番号	フロート式水位計専用ケーブル CVVS 2sq-2C相当																			
	地中	屋外	屋内	屋内							地中	屋外	屋内	屋内						
	地中管	管・ﾀﾞｸﾄ	管・ﾀﾞｸﾄ	ﾗｯｸ							地中管	管・ﾀﾞｸﾄ	管・ﾀﾞｸﾄ	ﾗｯｸ						
第　線1-1号	36.3	6.9																		
合計数量(A)	36.3	6.9																		
補完率(B)	1.1	1.1																		
(A)×(B)=(C)	39.93	7.59																		
設計数量(m)	39.9	7.6																		
設計数量合計(m)				47.5																

加西市　別府中地区【撤去】（補助）
動力設備工事　中継ﾎﾟﾝﾌﾟ場

配　線　材　料　内　訳　表

配線区間			フロート式水位計専用ケーブル CVVS　2sq-2C相当																			
NO.	自	至	地中	屋外	屋内	屋内							地中	屋外	屋内	屋内						
			地中管	管・ﾀﾞｸﾄ	管・ﾀﾞｸﾄ	ﾗｯｸ							地中管	管・ﾀﾞｸﾄ	管・ﾀﾞｸﾄ	ﾗｯｸ						
1001	第1中継ポンプ盤	LS	11.1	2.1																		
1002	第2中継ポンプ盤	LS	18.9	2.7																		
1003	第3中継ポンプ盤	LS	6.3	2.1																		
1004																						
1005																						
1006																						
1007																						
1008																						
1009																						
1010																						
1011																						
1012																						
1013																						
1014																						
1015																						
1016																						
1017																						
1018																						
1019																						
1020																						
1021																						
1022																						
1023																						
1024																						
1025																						
1026																						
1027																						
1028																						
1029																						
1030																						
1031																						
1032																						
1033																						
1034																						
1035																						
1036																						
1037																						
1038																						
1039																						
1040																						
1041																						
1042																						
1043																						
1044																						
（第　線1-1号）			36.3	6.9																		

加西市　別府中地区【撤去】（補助）
動力設備工事　中継ﾎﾟﾝﾌﾟ場

拾　出　根　拠　表

NO.	自	至	種別・ｻｲｽﾞ	本数	経　路		合計	計　算　根　拠
1001	第1中継ポンプ盤	LS	ﾌﾛｰﾄ式水位計専用ｹｰﾌﾞﾙ CVVS　2sq-2C相当	3	地中	地中管	11.1	0.6 ＋　3.1
					屋外	管・ﾀﾞｸﾄ	2.1	0.7
					屋内	管・ﾀﾞｸﾄ		
					屋内	ﾗｯｸ		
					地中	構内		
					屋外	埋設		
					屋外	露出		
					屋内	埋設		
					屋内	露出		
1002	第2中継ポンプ盤	LS	ﾌﾛｰﾄ式水位計専用ｹｰﾌﾞﾙ CVVS　2sq-2C相当	3	地中	地中管	18.9	0.6 ＋　5.7
					屋外	管・ﾀﾞｸﾄ	2.7	0.9
					屋内	管・ﾀﾞｸﾄ		
					屋内	ﾗｯｸ		
					地中	構内		
					屋外	埋設		
					屋外	露出		
					屋内	埋設		
					屋内	露出		

加西市　別府中地区【撤去】（補助）
動力設備工事　中継ﾎﾟﾝﾌﾟ場

拾　出　根　拠　表

NO.	自	至	種別・ｻｲｽﾞ	本数	経　路		合計	計　算　根　拠
1003	第3中継ポンプ盤	LS	ﾌﾛｰﾄ式水位計専用ｹｰﾌﾞﾙ CVVS　2sq-2C相当	3	地中	地中管	6.3	0.6 ＋　1.5
					屋外	管・ﾀﾞｸﾄ	2.1	0.7
					屋内	管・ﾀﾞｸﾄ		
					屋内	ﾗｯｸ		
					地中	構内		
					屋外	埋設		
					屋外	露出		
					屋内	埋設		
					屋内	露出		
1004					地中	地中管		
					屋外	管・ﾀﾞｸﾄ		
					屋内	管・ﾀﾞｸﾄ		
					屋内	ﾗｯｸ		
					地中	構内		
					屋外	埋設		
					屋外	露出		
					屋内	埋設		
					屋内	露出		